SONY

SONY

PCS-TL50

3-857-209-**31** (1)

Supplement for Video Communication System

操作ガイド JP
最初にお読みください！

Operation Guide GB
Please read it before proceeding!

Guide d'utilisation FR
Lisez-le avant de continuer!

Bedienanleitung DE
Lesen Sie sie bitte, bevor Sie fortfahren!

Guía de functionamiento ES
Léalo antes de continuar!

Guida per l'uso IT
Leggere attentamente prima di procedere!

操作指南 CS
敬请操作之前阅读！

Guia de Operação PT
Leia antes de continuar!

PCS-TL50

MEMORY STICK ™

© 2004 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5 ～ 8 ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。
点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたりキャビネットを破損したときは

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ 買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

⚠警告 4
⚠注意 6
はじめてお使いになるときに 9
　取扱説明書について 9
電池についての安全上のご注意 .. 10
本機の性能を保持するために 10
電源を入れる 12
会議の相手をワンタッチダイヤルに登録する 13
ワンタッチダイヤルで相手を呼び出す 17
ワンタッチダイヤルに登録していない相手を呼び出す 18
映像や音声を調節する 20
　ズームとカメラアングルを調節する 20
　音量を調節する 21
　画質を調節する 22
会議を終了する 23
　回線を切る 23
ヘルプを表示する 24
システムの接続 25
　接続端子の使いかた 25
　接続上のご注意 26
　接続例（LAN 接続）..... 26
　接続例（ISDN 接続）..... 27
コンピューターディスプレイ / ビデオモニターとして使う 28
　コンピューターと接続する 28
　ビデオ機器と接続する 28
　コンピューターやビデオ機器の映像を見る 29
仕様 31

この操作ガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この操作ガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

また、付属の CD-ROM には、本機のより詳しい情報を記載した取扱説明書が収録されています。操作ガイドと併せてお読みください。

JP

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけない

AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、ほこりの多い場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにネットワークケーブルや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴りだしたら、本機には触らないでください。

たこ足配線をしない

配線器具をたこ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。

AC アダプターの AC プラグ、DC プラグは根元まで差し込む

しっかり根元まで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

⚠警告 火災 感電 下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

ネットワークコネクターに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機のネットワークコネクターに次のネットワークや回線を接続すると、コネクターに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。

特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T と 100BASE-TX タイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、ネットワークコネクターをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

通気孔をふさがない

禁止

通気孔をふさぐと、本機内部に熱がこもり、発煙、発火などが起こり、やけどの原因になることがあります。

接続の際は電源を切る

注意

電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

付属の AC アダプターや電源コード、接続コードを使う

指示

付属の AC アダプターや電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因になることがあります。

付属の AC アダプターは指定された製品以外には使用しない

禁止

指定された製品以外に使用すると、故障の原因になることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

ぬれた手で AC アダプターにさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

指示

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

禁止

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となります。特に窓際に置くときなどはご注意ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください

リモコン装着部に磁気記録メディアを近づけない

禁止

本機のリモコン装着部には磁石を内蔵しています。フロッピーディスク、磁気カードなどの磁気記録メディアを近づけないようにご注意ください。近づけた場合は記録内容が破壊されます。

通電中の本体や AC アダプターに長時間触れない。

禁止

温度が相当上がることがあります。
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

排気口からの排気に長時間あたらない

注意

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

長時間使用しないときは電源ケーブルや AC アダプターのプラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本システムの使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診察を受けてください。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

禁止

液晶画面はガラスでできています。
重い物をのせたり、落としたり、画面を強打したりしないでください。
強い衝撃を与えると液晶が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する

禁止

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかかったりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置をしてください。

転倒、移動防止の処理をする

注意

本製品をラックに取り付けたり、取り外すときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を十分にお確かめください。

はじめてお使いになるときに

この操作マニュアルは、2 地点間のビデオ会議で、日常の会議を始めるところから終了するまでの操作を簡単に説明しています。より詳しい操作方法や会議に必要なさまざまな設定については、付属の CD-ROM の取扱説明書をご覧ください。

取扱説明書について

本機の取扱説明書は付属の CD-ROM に PDF 形式で入っています。取扱説明書をお読みになるには、Adobe® Acrobat®* Reader または Adobe Reader が必要です。
パソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、4 ページに示したホームページからダウンロードしてください。

取扱説明書の見かた

1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM「Manuals for Video Communication System」を挿入する。

しばらくすると、画面に CD-ROM の内容が表示されます。

2 「Japanese」というファイル名の PDF をダブルクリックする。

Adobe Reader が起動し、本機の取扱説明書の表紙が画面に表示されます。

「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

Adobe Reader6.0J のインストール

Adobe Reader6.0J をインストールするために必要なハードウェア、ソフトウェアは以下のとおりです。

- Intel® Pentium® または 100 パーセント互換のプロセッサを搭載したパソコン
- Microsoft® Windows®** 98 SE、Windows Millennium、Windows NT®** 4.0 Service Pack 5 または Windows 2000 以降
- 64MB 以上の RAM
- 70MB 以上のハードディスクの空き容量

Adobe Reader は下記のホームページから最新版が無料で入手できます。

日本向け http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html
北米向け http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html
欧州向け http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html

* Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
** Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機を廃棄する場合は、内蔵の電池を小型化学廃棄物として処理する必要がありますので、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

本機の性能を保持するために

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に寒いところや暑いところ。
- 湿気、ほこりの多いところ。
- 激しく振動するところ。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生する機器やラジオの送信所の近く。
- 雑音が多いところ。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元にもどります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶ディスプレイパネルについて

本機の液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのムラが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。

内蔵スピーカーについて

スピーカーからは磁気が発生していますので、磁気テープや磁気ディスクなどはスピーカー開口部から離しておいてください。データが破損するおそれがあります。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

電源を入れる

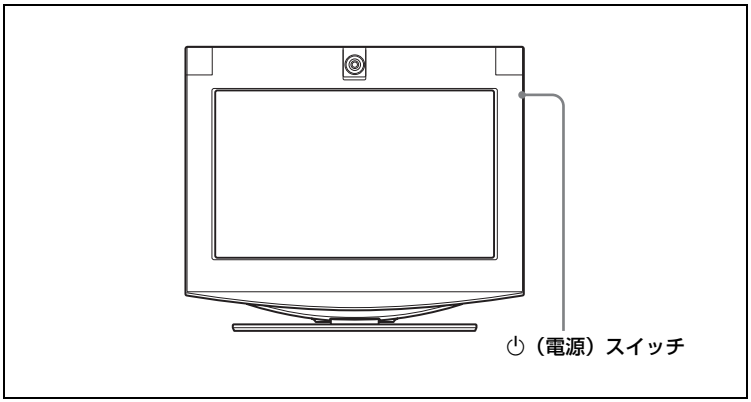
本機の電源を入れる前に、システム全体を正しく接続してください。

◆接続のしかたは、25 ページの「システムの接続」をご覧ください。

1 会議で使用する機器の電源を入れる。

2 本機の右側面の ⏻（電源）スイッチを押す。

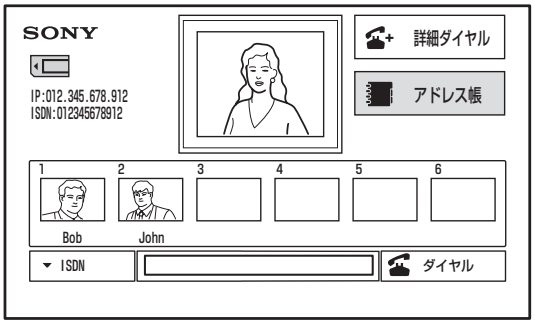
スイッチのインジケーターが緑色に点灯し、本機の電源が入ります。



3 カメラのシャッターが開いていることを確認する。

閉じている場合は上面のシャッタースイッチを右へスライドさせて開いてください。

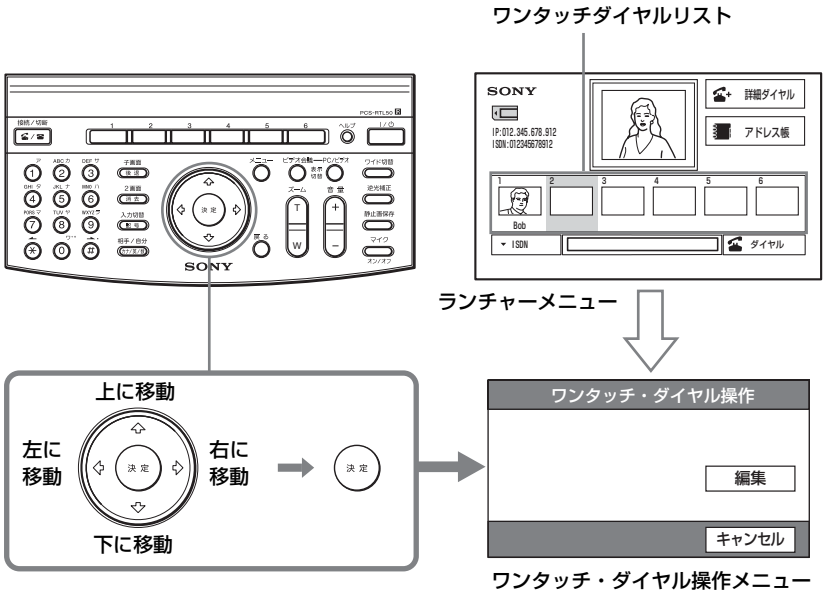
4 リモコンのビデオ会議ボタンを押してランチャーメニューを表示する。



会議の相手をワンタッチダイヤルに登録する

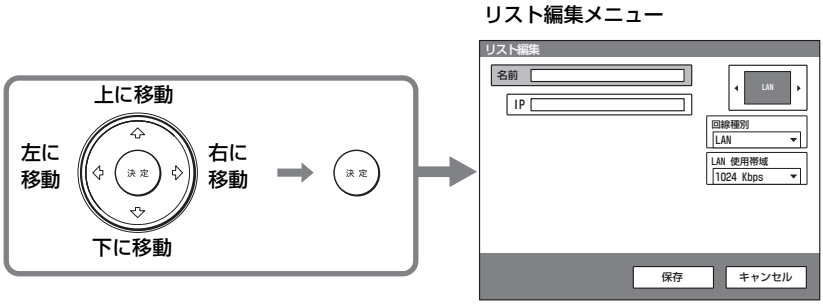
ランチャーメニューのワンタッチダイヤルリストに会議の相手を登録しておくと、リモコンのワンタッチダイヤルボタンを使って、簡単に会議の相手を選ぶことができます。
ここではランチャーメニューからワンタッチダイヤルを登録する方法を説明します。

1 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンを押して、ランチャーメニュー上で相手を登録したいワンタッチダイヤルを選び、決定ボタンを押す。
ワンタッチ・ダイヤル操作メニューが表示されます。



2 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「編集」を選び、決定ボタンを押す。

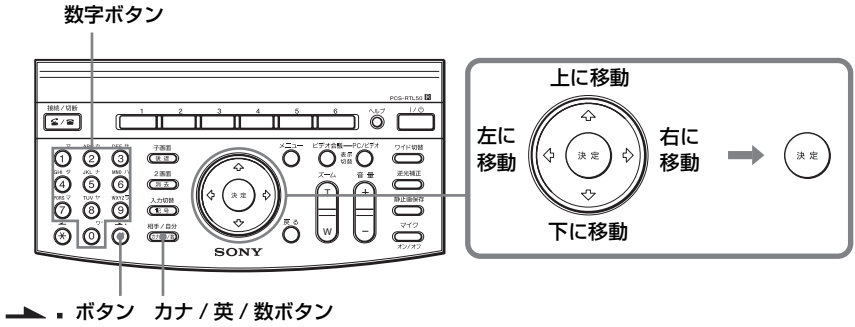
リスト編集メニューが表示されます。



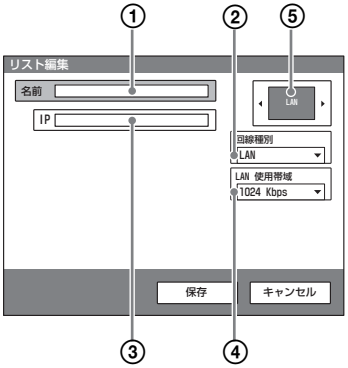
3 ワンタッチダイヤルの登録内容を設定する。

リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押して決定します。

数字ボタンと .@ ボタンで数値を入力します。数字ボタンの入力モードを切り換えるにはカナ / 英 / 数ボタンを押します。



LAN を使用する場合



① 相手の名前を入力する。

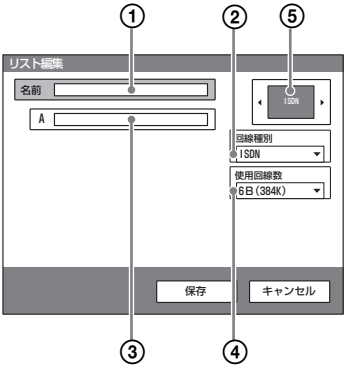
②「回線種別」を選び、表示される項目から LAN を選ぶ。

③ IP アドレス入力欄を選び、リモコンの数字ボタンと .ボタン（ピリオド）で相手の IP アドレスを入力する。

④「LAN 使用帯域」を選び、使用する帯域幅を選ぶ。

⑤ ワンタッチダイヤルリストに表示する静止画を選ぶ。

ISDN 回線を使用する場合



① 相手の名前を入力する。

②「回線種別」を選び、表示される項目から ISDN を選ぶ。

③ 電話番号入力欄を選び、リモコンの数字ボタンで相手の回線番号を入力する。

④「使用回線数」を選び、使用する ISDN 回線のチャンネル数を選ぶ。

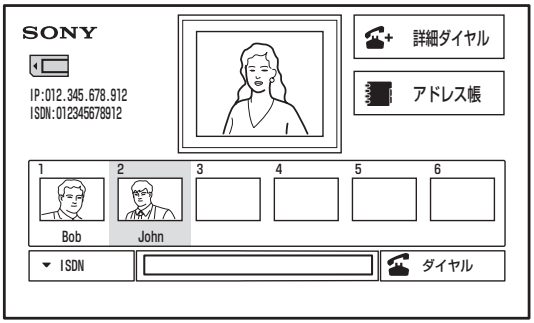
⑤ ワンタッチダイヤルリストに表示する静止画を選ぶ。

リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

アドレス帳メニューが表示されます。

これで、設定した内容がランチャーメニューのワンタッチダイヤルリストとアドレス帳へ同時に登録されます。

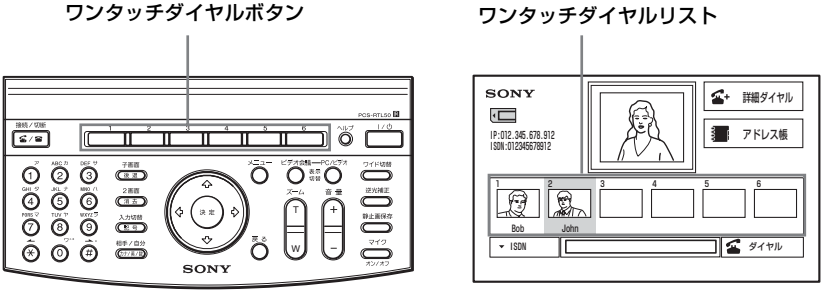
ランチャーメニュー



ワンタッチダイヤルで相手を呼び出す

あらかじめワンタッチダイヤルリストに登録してある相手を呼び出す場合です。

呼び出したい相手が登録してあるリモコンのワンタッチダイヤルボタン (1 ～ 6) を押す。

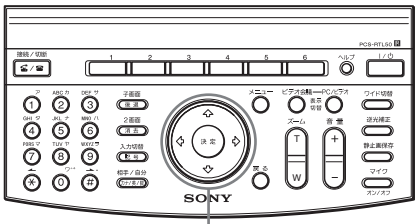


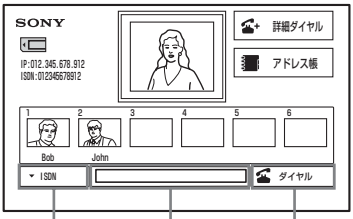
選択した相手にダイヤルが始まります。ディスプレイに「発信中(LAN)」または「発信中（ISDN)」と表示されます。
相手とつながると「ミーティングを始めます。」と表示されます。
これで会議を始めることができます。

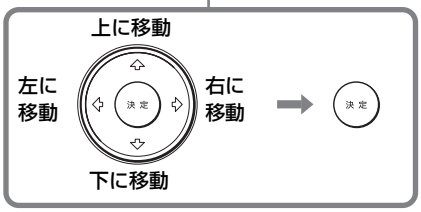
ワンタッチダイヤルに登録していない相手を呼び出す

ランチャーメニュー下部のドロップダウンリストから回線インターフェースを選ぶ。

リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンでランチャーメニュー下部の「回線種別」選択部を選び、決定ボタンを押すとドロップダウンリストが表示されます。↑ または ↓ ボタンで使用する回線インターフェースを選び、決定ボタンを押してください。







LAN: LAN を使ってビデオ会議システムと接続する場合。

音声電話 : ISDN 回線で音声のみの電話と接続する場合。(ボイスミーティング)

ISDN: ISDN 回線でビデオ会議システムと接続する場合。

相手の IP アドレス (LAN のとき) または電話番号 (ISDN または音声電話のとき) を番号入力欄に入力する。

リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで番号入力欄を選び、決定ボタンを押します。その後、リモコンの数字ボタンで数字を入力します。

リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンを押して、「ダイヤル」を選び、決定ボタンを押す、またはリモコンの接続 / 切断（ / ）ボタンを押す。

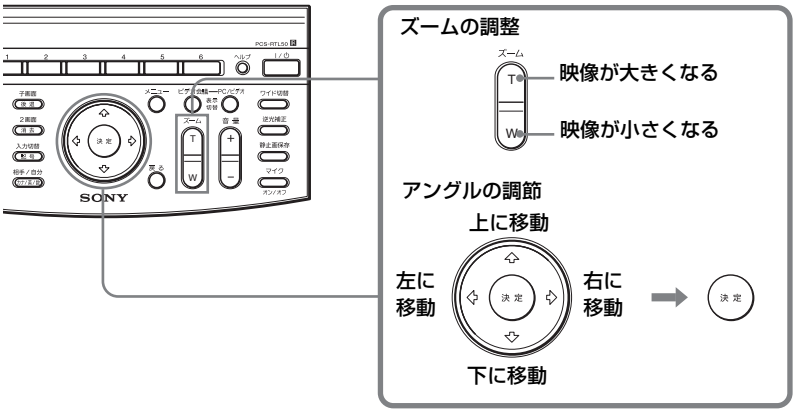
選択した相手にダイヤルが始まります。ディスプレイに「発信中（LAN）」または「発信中（ISDN）」と表示されます。
相手とつながると「ミーティングを始めます。」と表示されます。
これで会議を始めることができます。

映像や音声を調節する

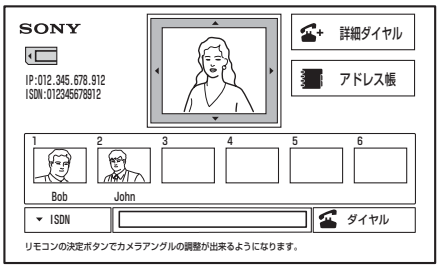
ズームとカメラアングルを調節する

通信していないとき

リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンを押してランチャーメニューの映像を選び、決定ボタンを押します。ズームボタンを押してズームを調節し、その後、↑/↓/←/→ ボタンを押してカメラアングルを調節します。調節し終ったら決定ボタンを押します。



通信していないときは…



通信中は…

通信しているとき

リモコンのズームボタンと ↑/↓/←/→ ボタンで、自分側の映像のズームとカメラアングルを調節できます。

相手側の映像のズームとカメラアングルを調整する場合は、取扱説明書をご覧ください。

音量を調節する

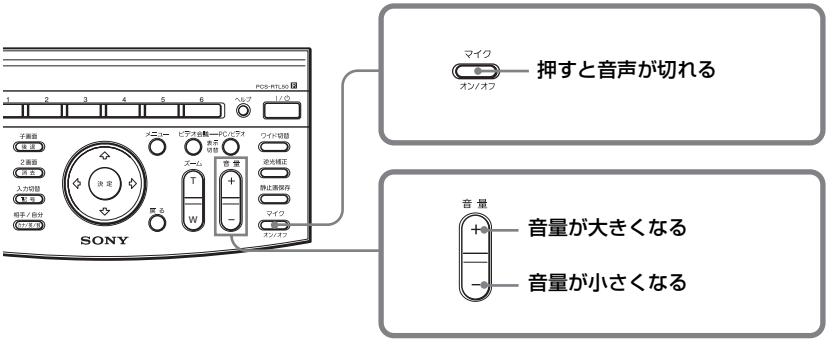
相手から送られてくる音声を調節するには

リモコンの音量＋ / －ボタンを押します。

自分側から相手に送られる音声を一時的に消すには

リモコンのマイクオン / オフボタンを押します。

ディスプレイに「MIC OFF」と表示されます。もう一度押すと音声が再び送られます。

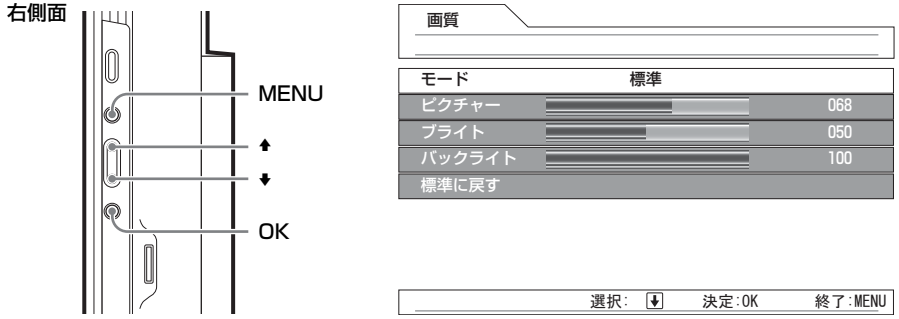


画質を調節する

本機の右側面の MENU、▲/▼、OK ボタンを使って画質調整を行います。

1 本機右側面の MENU ボタンを押す。

画質調整メニューが表示されます。



2 ▲/▼ ボタンを押して設定項目を選び、OK ボタンを押す。

選んだ設定項目の調整画面が表示されます。

3 ▲/▼ ボタンを押して調整し、OK ボタンを押す。

4 MENU ボタンを押してメニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

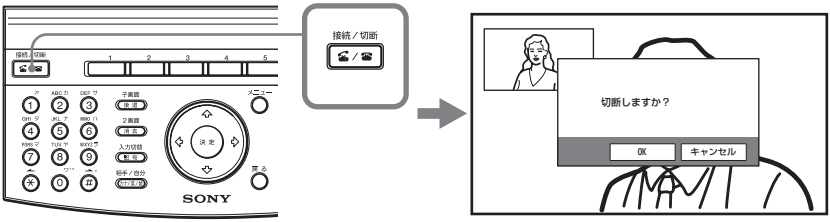
画質調整メニュー最下部の「標準に戻す」を選び、OK ボタンを押します。

会議を終了する

回線を切る

1 リモコンの接続／切断（ / ）ボタンを押す。

ディスプレイに「切断しますか？」と表示されます。



2 リモコンの ← または → ボタンを押して「OK」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの接続／切断（ / ）ボタンをもう一度押す。

これで相手との回線が切れ、ランチャーメニューに戻ります。

スタンバイ状態にするには

リモコンの I/⏻ ボタンを押します。「ディスプレイの電源を切って待機状態にしますか？」というメッセージが表示されたら、← または → ボタンを押して [OK] を選び、決定ボタンを押します。

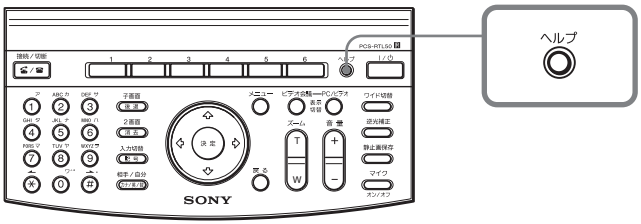
スタンバイ状態の場合は、相手からの呼び出しを受けることができます。

電源を切るには

本機の右側面の ⏻（電源）スイッチを 1 秒以上長く押して電源を切り、会議に使用したその他の機器の電源を切ります。

ヘルプを表示する

リモコンのヘルプボタンを押すと、操作案内用のバルーンヘルプまたはヘルプ画面が表示されます。



ヘルプ画面を消すには、もう一度ヘルプボタンを押します。

システムの接続

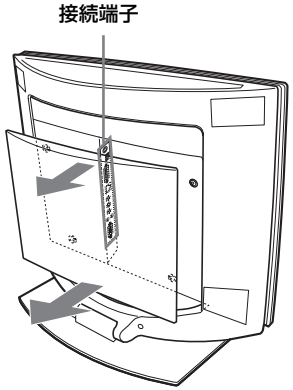
ここでは、代表的なシステムの接続のしかたを説明します。

接続端子の使いかた

接続端子はリアカバーの内側にあります。
リアカバーを外してケーブルを接続し、接続終了後に再びリアカバーを取り付けてください。

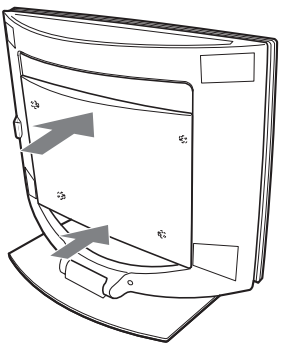
リアカバーを外すには

手前に引っぱります。



リアカバーを取り付けるには

4 か所の突起を合わせ、押し付けます。



接続上のご注意

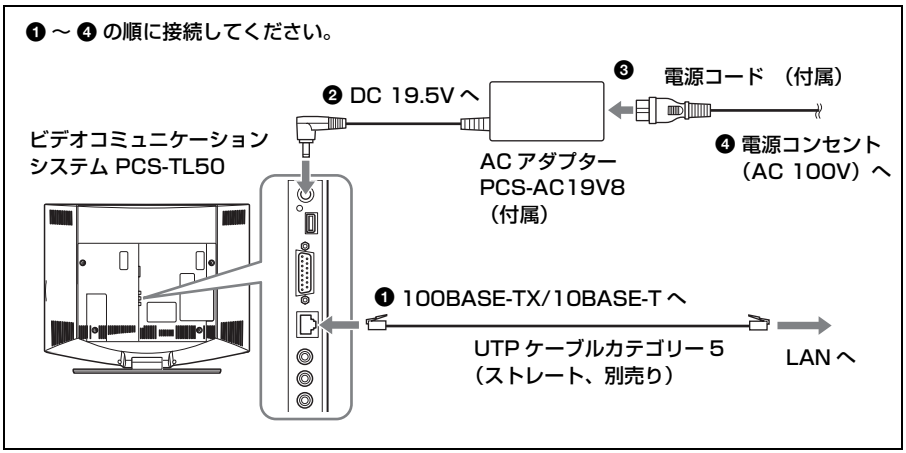
⚠警告

・必ず本機に付属の AC アダプターと電源コードをご使用ください。
・AC アダプターの AC プラグと DC プラグは根元までしっかり差し込んでください。
・安全のために、100BASE-TX/10BASE-T 端子を過電圧が加わるおそれのあるネットワークなどに接続しないでください。

⚠注意

・接続するときは、必ず各機器の電源を切ってから行ってください。
・本機が壊れますので、電源を入れたままケーブルを抜き差ししないでください。
・安全のために、100BASE-TX/10BASE-T 端子を過電圧が加わるおそれのあるネットワークなどに接続しないでください。

接続例（LAN 接続）

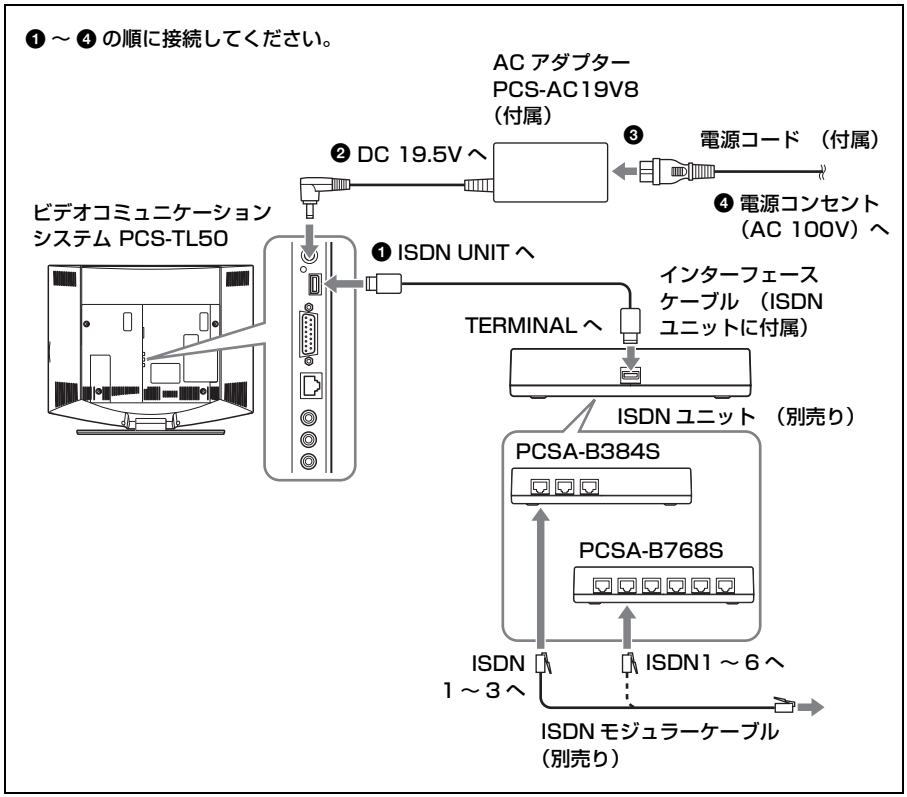


接続例（ISDN 接続）

⚠注意

・本機や、ISDN ユニットが壊れますので、電源を入れたままインターフェースケーブルを抜き差ししないでください。

・ISDN ユニットを初めて本機に接続して使用するとき、本機が自動的に ISDN ユニットのソフトウェアをバージョンアップすることがあります。画面にバージョンアップ中のメッセージが表示されている間は故障の原因となりますので、絶対に電源を切らないでください。



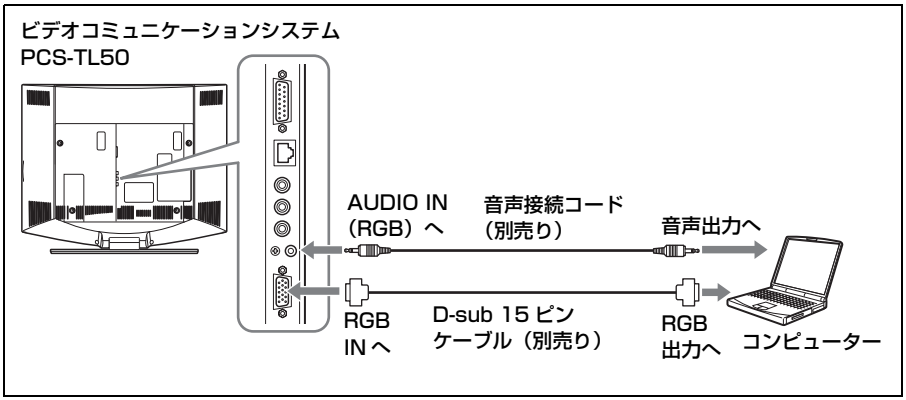
コンピューターディスプレイ / ビデオモニターとして使う

ビデオ会議をしていないとき、本機のディスプレイをコンピューターディスプレイやビデオモニターとして使用することができます。

コンピューターと接続する

本機のリアカバーを外し、コンピューターを接続します。

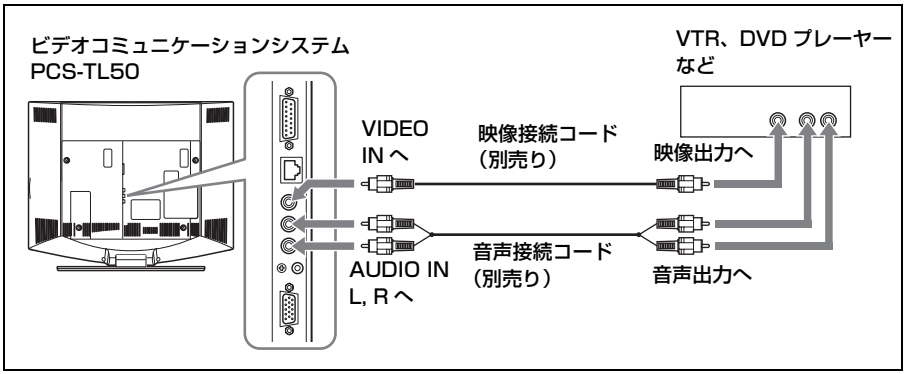
◆リアカバーの外しかたは、25 ページをご覧ください。



ビデオ機器と接続する

本機のリアカバーを外し、ビデオ機器を接続します。

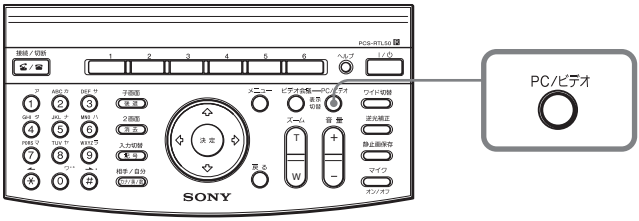
◆リアカバーの外しかたは、25 ページをご覧ください。



コンピューターやビデオ機器の映像を見る

1 リモコンの PC/ ビデオボタンを押して入力を選ぶ。

ボタンを押すたびに、本機の RGB IN 端子に接続したコンピューターの映像と、VIDEO IN 端子に接続したビデオ映像が交互に切り換わります。



本機のスピーカーから、選んだ入力の音声がステレオで聞こえます（音声接続をしている場合）。

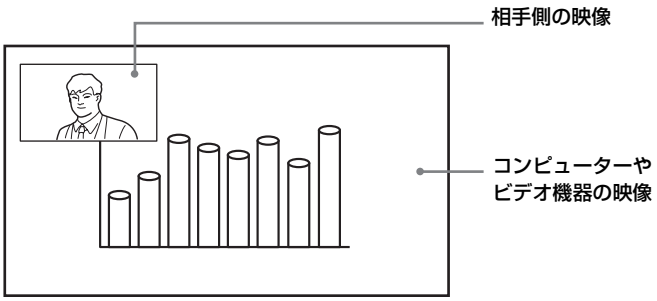
2 リモコンの音量＋ / －ボタンを押して、音量を調節する。

3 本機右側面の MENU、↑/↓、OK ボタンを使って、映像の画質調節をする。

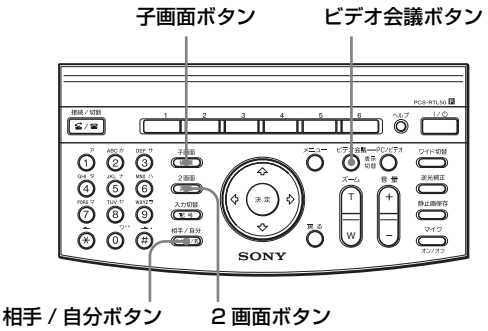
◆調節のしかたは、「画質を調節する」（22 ページ）をご覧ください。

ビデオ会議中にコンピューターやビデオ機器の映像を見る

本機のディスプレイでコンピューターやビデオ機器の映像を見ているとき、相手から会議に呼び出されると、自動的に子画面表示モードになり、相手側の映像が子画面に表示されます。



次の操作で、会議に適したディスプレイモードに切り換えることができます。



子画面のビデオ会議の映像位置を変えるには

リモコンの子画面ボタンを押します。

ビデオ会議の映像のみを表示するには

リモコンのビデオ会議ボタンを押します。
コンピューターやビデオ機器の映像に戻すには、再び PC/ ビデオボタンを押します。

ビデオ会議とコンピューターまたはビデオ機器の映像を 2 画面表示で見るには

リモコンの 2 画面ボタンを押します。
左側（メイン画面）にコンピューターまたはビデオ機器の映像、右側（サブ画面）にビデオ会議の映像が表示されます。

ビデオ会議の映像を相手側から自分側の映像に切り換えるには

リモコンの相手 / 自分ボタンを押し、表示制御メニューの「表示」の設定（相手側 / 自分側）を変更します。

ご注意

通信中でないときは、子画面や 2 画面表示はできません。

仕様

本機は ITU-T 勧告 H.320 と H.323 に準拠しています。

ビデオコミュニケーションシステム PCS-TL50

動画

動作帯域　64 Kbps ～ 1920 Kbps（標準、LAN による接続）
56 Kbps ～ 768 Kbps（PCSA-B768S 取り付け時、ISDN による接続）
56 Kbps ～ 384 Kbps (PCSA-B384S 取り付け時、ISDN による接続)

コーディング方式
H.261/H.263/H.263+/ H.263++/H.264/ インターレース SIF（ITU-T 勧告準拠）
MPEG4 Simple Profile（LAN による接続）

画素　CIF 352 ピクセル× 288 ライン
QCIF 176 ピクセル× 144 ライン

カラー方式　NTSC
ただし、PAL 方式と相互接続可能

静止画

画素　704 ピクセル× 480 ライン

圧縮方式　H.261（ITU-T 勧告準拠）Annex. D（4CIF）
H.263（独自方式）

音声

周波数帯域　14 kHz (MPEG4 Audio)
7 kHz（G.722/G.722.1 ITU-T 勧告準拠）
3.4 kHz（G.711/G.728/G.723.1/G729 ITU-T 勧告準拠）

伝送レート　56 Kbps、64 Kbps（G.711 ITU-T 勧告準拠）
48 Kbps、56 Kbps、64 Kbps（G.722　ITU-T 勧告準拠）
64 Kbps、96 Kbps（MPEG4 Audio）（LAN による接続）
24 Kbps、32 Kbps（G.722.1 ITU-T 勧告準拠）（LAN による接続）
16 Kbps（G.728　ITU-T 勧告準拠）
8 Kbps（G.729　ITU-T 勧告準拠）（LAN による接続）
5.3 Kbps、6.3 Kbps（G.723.1 ITU-T 勧告準拠）（LAN による接続）

ネットワーク

多重分離化　映像信号、音声信号、データを多重分離化

フレームフォーマット
H.221（ITU-T 勧告準拠）

回線　LAN（標準）、64 Kbps ～ 1920 Kbps
ISDN（BRI）、6 回線接続可能（PCSA-B768S 取り付け時）、3 回線接続可能 (PCSA-B384S 取り付け時)

データ伝送レート
LSD 1.2 Kbps、4.8 Kbps、6.4 Kbps
MLP 6.4 Kbps、24 Kbps、32 Kbps
HMLP 62.4 Kbps、64 Kbps、128 Kbps

サポート LAN プロトコル

HTTP

FTP

Telnet

RTP/RTCP

TCP/UDP

リモートコントロール

相手カメラコントロール

H.281（ITU-T 勧告準拠）

データ伝送　T.120（ITU-T 勧告準拠）

カメラ

映像方式　NTSC カラー EIAJ 標準方式

映像素子　1/3 型カラー CCD（総画素数 約 41 万画素、有効画素数 約 38 万画素）

レンズ　f = 4.0 mm、F2.0、水平画角 約 70°

最至近撮影距離

500 mm

最低被写体照度

1 ルクス（F2.0）/50 IRE

パン・チルト機能

デジタル方式

オートホワイトバランス機能搭載

電子アイリス機能搭載

ディスプレイ

サイズ　20 インチ

アスペクト比

16 : 9

解像度　1280 × 768

明るさ　400 Cd/m^2 以上

応答時間　15 ms 以内

コントラスト比

500 : 1

視野角　160° 以上

発色数　1670 万色

ディスプレイコントローラー

PinP　4 隅

P&P　2 画面表示

入力　内部：テレビ会議用

外部 RGB：コンピューター ディスプレイ

外部 Video：外部ビデオ入力（NTSC/PAL 自動認識）

ワイド切替　ノーマル、ズーム、ワイド、ワイドズーム

RGB 切替　640 × 480、800 × 600、1024 x 768、1280 x 768 など、拡大表示可能

音量調整　PCS 側は固定、ディスプレイ基板のアンプによる音量調整

OSD　輝度、色合い、位置、幅、高さ調整などが可能

スピーカー

スピーカー　3 W × 2

マイクロホン

周波数帯域　15 kHz

指向特性　単一指向性

その他

電源電圧　19.5V

消費電流　7.7A

動作温度　5° C ～ 35° C

動作湿度　20%～ 80%

保存温度　− 20° C ～ + 60° C

保存湿度　20%～ 80%（結露しないこと）

外形寸法　528 × 445 × 110 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（スタンド除く）

528 × 445 × 265 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（スタンド含む）

質量	約 10 kg
付属品	リモコン PCS-RTL50（1） リモコン用単 3 形乾電池（2） AC アダプター PCS-AC19V8（1） 電源コード（1） CD-ROM（1） 操作ガイド（1） 簡単接続ガイド／リモコン操作ガイド（1） B&P ワランティブックレット（1）

リモコン PCS-RTL50

信号方式	赤外線 SIRCS
制御	DC 3 V 単 3 形乾電池 2 本使用
外形寸法	168 × 19 × 88 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず）
質量	約 180 g（乾電池含む）

AC アダプター PCS-AC19V8

電源	AC 100 ～ 240V、50/60 Hz、2.2 A ～ 1.0 A
出力	19.5 V、7.7 A
動作温度	5° C ～ 35° C
動作湿度	20%～ 80%
保存温度	− 20° C ～+ 60° C
保存湿度	20%～ 80%（結露しないこと）
外形寸法	81 × 49 × 165 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	約 800 g

マイクロホン PCS-A1（別売り）

周波数帯域	13 kHz
指向特性	無指向性
外形寸法	74 × 16 × 93 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	約 170 g
電源	プラグインパワータイプ

マイクロホン PCS-A300（別売り）

周波数帯域	13 kHz
指向特性	単一指向性
外形寸法	68 × 16 × 96 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	約 200 g
電源	プラグインパワータイプ

ISDN ユニット PCSA-B384S/ PCS-B384（別売り）

電源電圧	19.5 V
消費電流	0.3 A
動作温度	5° C ～ 35° C
動作湿度	20%～ 80%
保存温度	− 20° C ～+ 60° C
保存湿度	20%～ 80%（結露しないこと）
外形寸法	PCSA-B384S: 165 × 34 × 127 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず） PCS-B384: 165 × 34 × 127 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず）
質量	PCSA-B384S: 約 400 g PCS-B384: 約 400 g
付属品	インターフェースケーブル（5 m）（1） 取扱説明書（1） B&P ワランティブックレット（1）

ISDN ユニット PCSA-B768S/ PCS-B768（別売り）

電源電圧	19.5 V
消費電流	0.5 A

動作温度　5° C ～ 35° C
動作湿度　20% ～ 80%
保存温度　− 20° C ～ + 60° C
保存湿度　20% ～ 80%（結露しないこと）
外形寸法　PCSA-B768S:
165 × 34 × 127 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず）
PCS-B768:
165 × 34 × 127 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず）
質量　PCSA-B768S: 約 400 g
PCS-B768: 約 400 g
付属品　インターフェースケーブル（5 m）（1）
取扱説明書（1）
B&P ワランティブックレット（1）

データソリューションボックス PCSA-DSB1S/PCS-DSB1（別売り）

電源電圧　19.5 V
消費電流　1.0 A
動作温度　5° C ～ 35° C
動作湿度　20% ～ 80%
保存温度　− 20° C ～ + 60° C
保存湿度　20% ～ 80%（結露しないこと）
外形寸法　PCSA-DSB1S:
240 × 37 × 180 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず）
PCS-DSB1:
240 × 33 × 160 mm（幅 / 高さ / 奥行き）（突起部含まず）
質量　PCSA-DSB1S: 約 1.1 kg
PCS-DSB1: 約 850 g
付属品　インターフェースケーブル（8 m）（1）
取扱説明書（1）
B&P ワランティブックレット（1）

H.320 MCU ソフトウェア PCS-320M1（別売り）

外形寸法　50 × 2.8 × 21.5 mm （幅 / 高さ / 奥行き）
質量　約 4 g
付属品　シリアル番号シール (1)
取扱説明書 (1)

H.323 MCU ソフトウェア PCS-323M1（別売り）

外形寸法　50 × 2.8 × 21.5 mm （幅 / 高さ / 奥行き）
質量　約 4 g
付属品　シリアル番号シール (1)
取扱説明書 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部 : 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Owner's Record

The model and the serial numbers are located at the rear. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. PCS-TL50
Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power cord to socket-outlet which must be provided near the unit and easily accessible.
If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power cord.

CAUTION for LAN port

For safety reason, do not connect the LAN port to any network devices that might have excessive voltage.

Installing batteries

Two R6 (size AA) batteries are supplied for Remote Commander.
To avoid risk of explosion, use R6 (size AA) manganese or alkaline batteries.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

For the customers in the USA

WARNING

Using this unit at a voltage other than 120 V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

The shielded interface cable recommended in this manual must be used with this equipment in order to comply with the limits for a computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This manual focuses on using ISDN lines to conduct a videoconference, but it also covers non-ISDN lines. If you use ISDN lines, consult your Sony dealer for more information.

- The ISDN service may not be available in some areas.

For the customers in Europe

Warning

This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.
In the case that interference should occur, consult your nearest authorized Sony service facility.

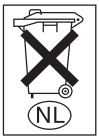
Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.
De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



If you dispose the unit, consult your nearest Sony Service Center. The built-in battery must be treated as a chemical waste.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For Customers in Taiwan only

廢電池請回收

GB

Precautions

Operating or storage location

Avoid operating or storing the system in the following locations:

- Extremely hot or cold places
- Humid or dusty places
- Places exposed to strong vibration
- Close to sources of strong magnetism
- Close to sources of powerful electromagnetic radiation, such as radios or TV transmitters
- Noisy places

LCD screen

- Do not expose the LCD screen surface to the sun. Doing so may damage the screen surface.
- Do not push or scratch the LCD screen, or place objects on top of the system. The image may become uneven or the LCD panel may be damaged.
- If the system is used in a cold place, a smear may occur in the picture or the picture may become dark. This does not indicate a failure. These phenomena improve as the temperature rises.
- Ghosting may occur when still pictures are displayed continuously. It may disappear after a few moments.
- The screen and cabinet get warm when the system is in use. This is not a malfunction.

LCD display panel

- Although the LCD display panel is made with high-precision technology, black dots may appear or bright points of light (red, blue, or green) may appear constantly on the LCD screen. Color stripes and uneven brightness may also appear when you view from specific viewing angles. This is a structural property of the LCD panel and is not a malfunction.

Built-in speakers

The speakers generate magnetism. To avoid damaging the data, keep magnetic tapes and disks away from the speakers.

Cleaning

- Before cleaning, disconnect the power cord from the AC outlet.
- The LCD screen surface is finished with a special coating. To remove dust from the screen surface, wipe gently with a soft, dry cloth.
- Do not use volatile solvents such as alcohol, benzene or thinners as they may damage the surface finishes.
- When you use chemical cleaning cloth, observe the instructions that come with it.
- Do not apply volatile solvents such as an insecticide to the screen, or allow rubber or plastic objects to touch to the screen for a long time, as they may damage the surface finishes.

Table of Contents

When Using the System for the First Time 6
Turning the System On 7
Registering a Remote Party for One Touch Dial 8
Calling a Remote Party Using One Touch Dial 12
Calling a Remote Party not Registered for One Touch Dial 13
Adjusting the Picture and Sound 15
- Adjusting the Zoom and Camera Angle 15
- Adjusting the Picture Quality 16
- Adjusting the Volume 16

Ending the Conference 18
- Disconnecting the Line 18

Displaying the Help 19
System Components 20
- Basic System Components 20
- Optional Equipment 21

System Connections 23
- Using the Connectors 23
- Notes on Connections 24
- System Connection via a LAN ... 24
- System Connection via an ISDN 25

Use as Computer Display or Video Monitor 26
- Connecting to a Computer 26
- Connecting to Video Equipment 26
- Displaying the Picture from the Computer or Video Equipment 27

Specifications 29

The supplied CD-ROM includes the Operating Instructions that describe more detailed information on this system. Please read the Operating Instructions as well as the Operation Guide.

When Using the System for the First Time

This guide briefly describes basic operations for a point-to-point videoconference using the PCS-TL50 Video Communication System. You will learn how to conduct a daily conference from start to finish. For more detailed operations and various settings required for conferencing, refer to the Operating Instructions stored in the supplied CD-ROM.

About the Operating Instructions

The Operating Instructions of the system is stored in the supplied CD-ROM in PDF format. You are prompted to use Adobe ® Acrobat ®* Reader 5.0 (E) or Adobe Reader 6.0 (E) to read it. If Adobe Reader is not installed in your computer, you can download its latest version from websites described below.

How to read the Operating Instructions

1 Insert the supplied CD-ROM entitled "Manuals for Video Communication System" into the CD-ROM drive of your computer.
After a short time a window will open displaying the files on the CD-ROM.

2 Double-click the PDF file named "English".
Adobe Reader will start, then display the cover page of the Operating Instructions.

Clicking an item in the Table of Contents allows you to jump to the relevant page.

To install Adobe Reader 6.0 (E)

To install Adobe Reader 6.0 (E) in your computer, you need the following hardware and software:

- A computer with an Intel ® Pentium ® or 100% compatible processor
- Microsoft ® Windows ®**98 SE, Windows Millennium, Windows NT ®** 4.0 Service Pack 5, or Windows 2000 and above
- 64 MB or more of RAM
- 70 MB or more of free disk space

You can obtain the latest version of Adobe Reader, free of charge, from the following websites.

North American version:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html
European Version:
http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html
Japanese version:
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

* Adobe and Acrobat are trademarks of Adobe Systems, Incorporated.
** Windows and Windows NT are registered trademarks of the U.S. Microsoft Corporation in the U.S. and other countries.

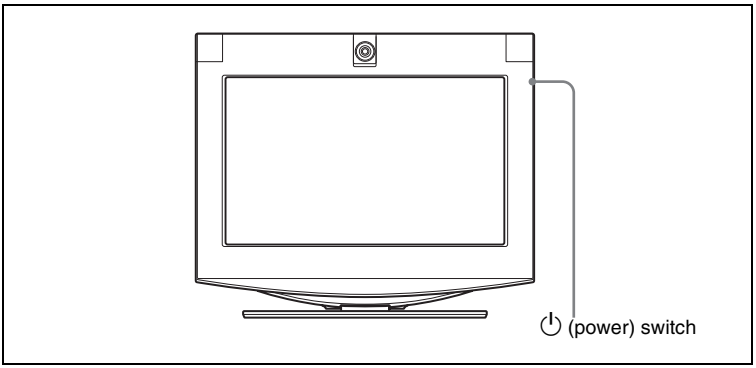
Turning the System On

Before turning on the system, make sure that the system connections have been completed correctly.

For connecting the system, see "System Connections" on page 23.

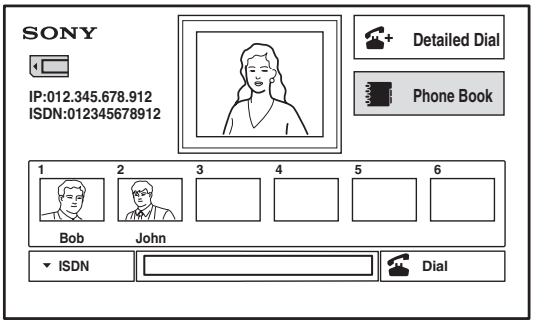
1 Turn on equipment you are using for the videoconference.

2 Press ⏻ (power) switch on the right side of the system.
The indicator of the switch lights in green and the system turns on.



3 Make sure that the shutter of the camera is open.
If it is closed, slide the shutter switch on the top of the system to open the shutter.

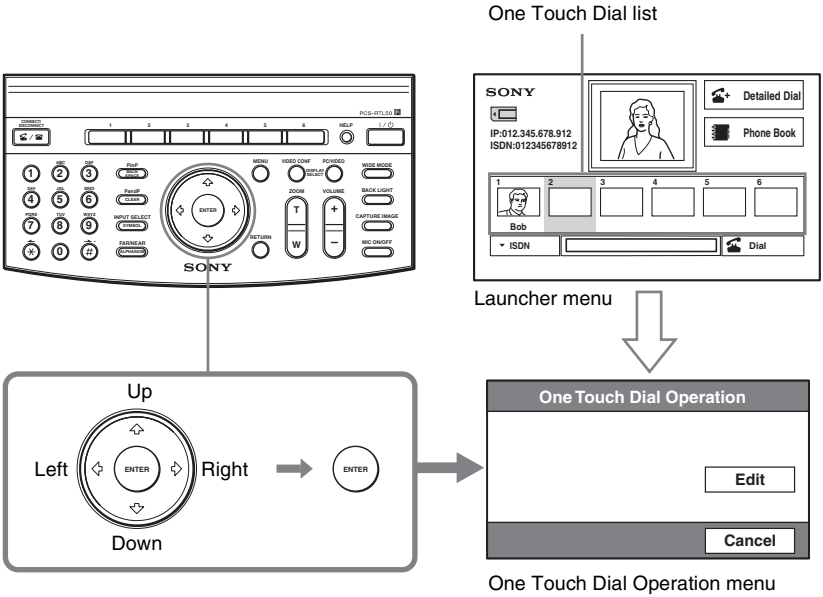
4 Press the VIDEO CONF button on the Remote Commander to display the launcher menu.



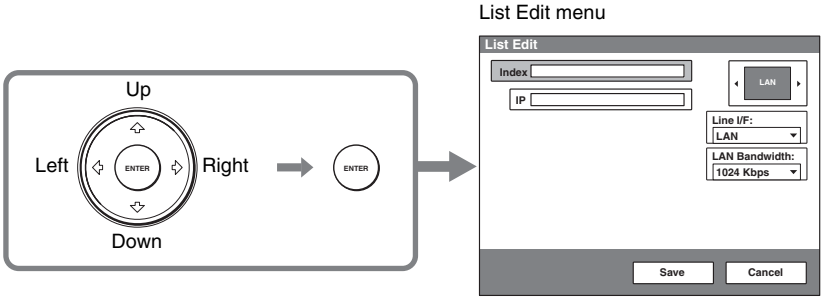
Registering a Remote Party for One Touch Dial

You can register remote parties in the One Touch Dial list in the launcher menu, allowing you to dial them easily using the One Touch Dial buttons on the Remote Commander.
This section shows you how to register remote parties for One Touch Dial in the launcher menu.

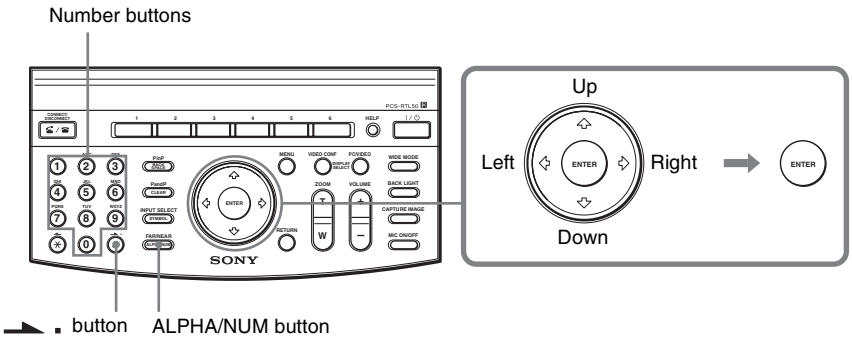
1 Use the ↑, ↓, ← or → button on the Remote Commander to select the One Touch Dial to register a remote party, then press the ENTER button.
The One Touch Dial Operation menu opens.



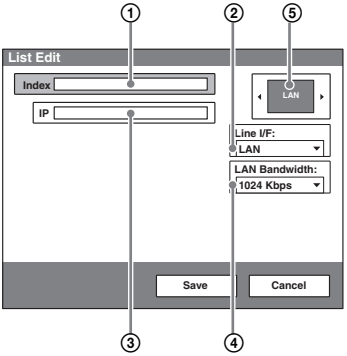
2 Use the ↑, ↓, ← or → button on the Remote Commander to select ”Edit”, then press the ENTER button.
The List Edit menu appears.



3 Set up the items for One Touch Dial.
Use the ↑, ↓, ← or → button to select the item to be set, then press the ENTER button.
You can use the number buttons and . (dot) button to input the numerals. Press the ALPHA/NUM (alphabet/numeral) button to select the input mode of the number buttons.



When you connect a remote party over LAN



① Enter the name of a remote party.

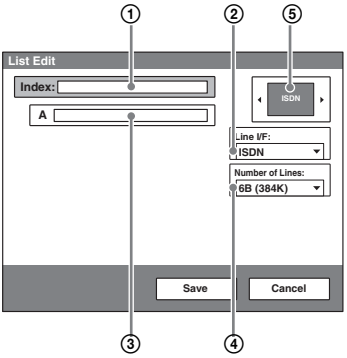
② Select “Line I/F”, then select “LAN” from the displayed submenu.

③ Select the IP text box, then enter the IP address of the remote party using the number buttons and . (dot) button on the Remote Commander.

④ Select “LAN Bandwidth”, then select the bandwidth you are using.

⑤ Select a still image to be displayed in the One Touch Dial list.

When you connect a remote party over ISDN



① Enter the name of a remote party.

② Select “Line I/F”, then select “ISDN” from the displayed submenu.

③ Select the telephone number text box, then enter the telephone number of the remote party with the number buttons on the Remote Commander.

④ Select “Number of Lines”, then select the number of channels to be used when dialing the remote party.

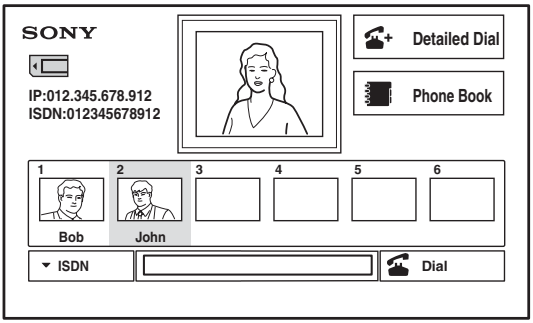
⑤ Select a still image to be displayed in the One Touch Dial list.

4 Use the ↑, ↓, ← or → button on the Remote Commander to select ”Save”, then press the ENTER button.

The Phone Book menu appears.

The set items are registered in the Phone Book at the same time as in the One Touch Dial list of the launcher menu.

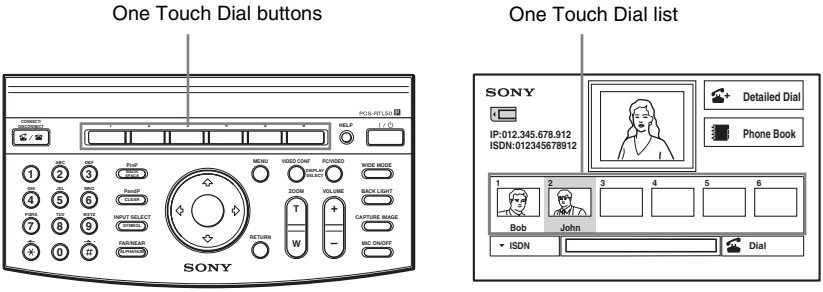
Launcher menu



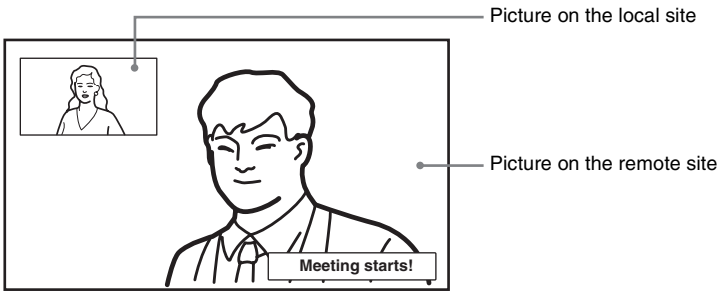
Calling a Remote Party Using One Touch Dial

When the remote party has been registered in the One Touch Dial list, you can call him or her using the One Touch Dial function.

1 Press One Touch Dial button 1 to 6 to which the remote party has been registered.



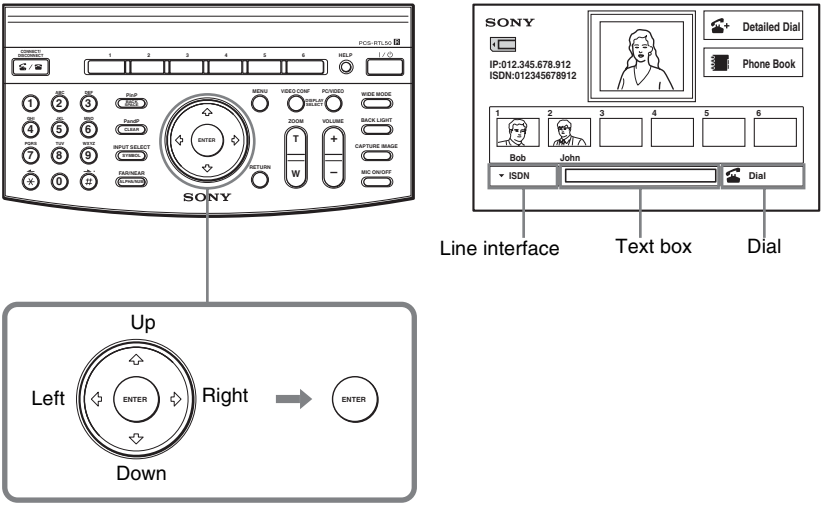
The system begins dialing the selected remote party. “Dialing (LAN)” or “Dialing (ISDN)” appears on the display.
When the system connects to the remote system, the message “Meeting starts!” appears on the display.
Now you can start a videoconference.



Calling a Remote Party not Registered for One Touch Dial

1 Select the line interface from the drop-down list at the bottom of the launcher menu.

Press the ↑, ↓, ← or → button to select the line interface button at the bottom of the launcher menu, then press the ENTER button to display the drop-down list. Select the line interface by pressing the ↑ or ↓ button, then press the ENTER button.



LAN: Connects to the videoconferencing system of a remote party via a LAN.

Telephone: Connects to the ISDN telephone of a remote party to conduct a voice meeting via the ISDN connection.

ISDN: Connects to the videoconferencing system of a remote party via an ISDN.

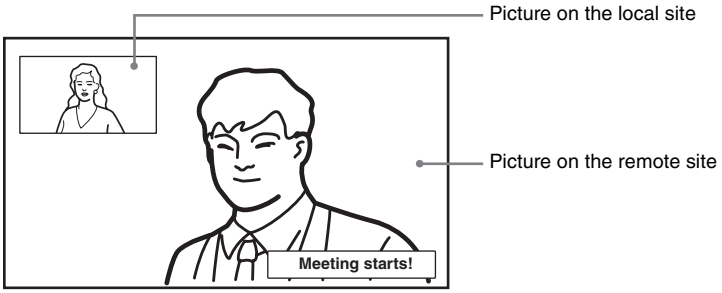
2 Enter the IP address (for LAN) or the ISDN telephone number (for ISDN or Telephone) of the remote party in the text box.

Press the ↑, ↓, ← or → button on the Remote Commander to select the text box, then press the ENTER button. Enter numerals using the number buttons on the Remote Commander.

3 Press the ↑, ↓, ← or → button on the Remote Commander to select "Dial", then press the ENTER button. Or press the CONNECT/DISCONNECT (/) button on the Remote Commander.

The system begins dialing the IP address or ISDN telephone number entered in step 2. "Dialing (LAN)" or "Dialing (ISDN)" appears on the display.

When the system connects to the remote system, the message “Meeting starts!” appears on the display.
Now you can start a videoconference.

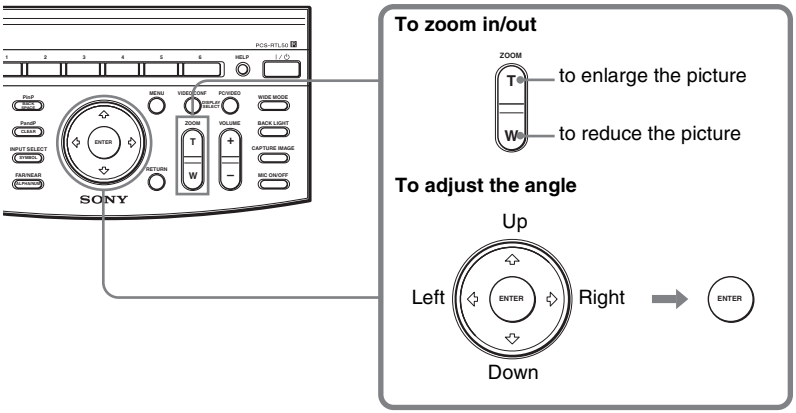


Adjusting the Picture and Sound

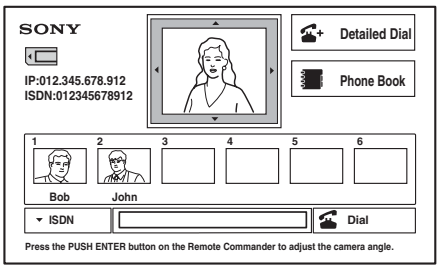
Adjusting the Zoom and Camera Angle

To adjust when not in communication

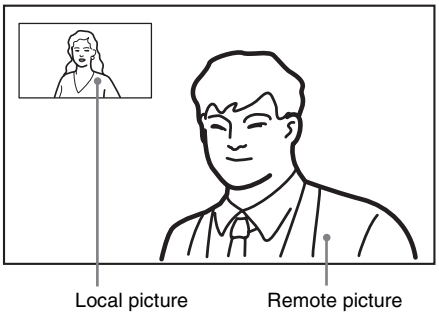
Use the ↑, ↓, ← or → button on the Remote Commander to select the picture in the launcher menu, then press the ENTER button.
Press the ZOOM T/W button to zoom in or out and the ↑, ↓, ← or → button to adjust the camera angle.
After the adjustment, press the ENTER button.



While not in communication



While in communication



To adjust when in communication

You can adjust the zoom and angle of the picture on the local site with the ZOOM T/W and ↑/↓/←/→ buttons on the Remote Commander.
Refer to the Operating Instructions to adjust the zoom and camera angle of the picture on the remote site.

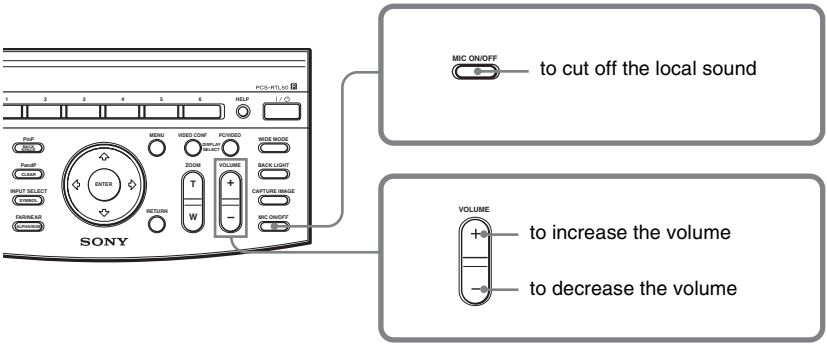
Adjusting the Volume

To adjust the volume of the sound received from the remote party

Press the VOLUME +/– button on the Remote Commander.

To cut off the sound of the local party sent to the remote party

Press the MIC ON/OFF button on the Remote Commander.
The "MIC OFF" indicator appears on the display. To restore the sound, press the MIC ON/OFF button again.

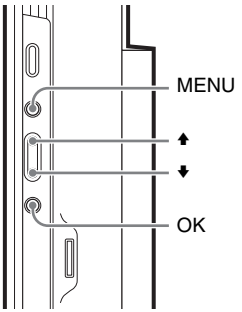


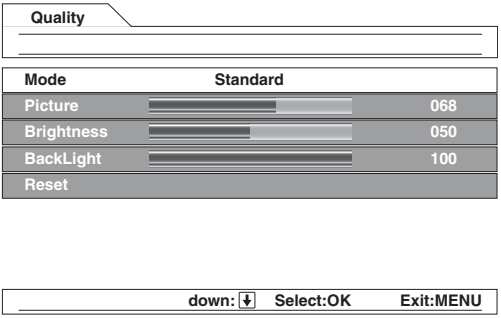
Adjusting the Picture Quality

You can adjust the picture quality on the display using the MENU, ↑/↓ and OK buttons on the right side of the Video Communication System.

1 Press the MENU button on the right side of the system.
The Picture Quality menu appears.

Right side





2 Press the ↑ or ↓ button to select the setting item, then press the OK button.
The adjustment menu of the selected item appears.

3 Press the ↑ or ↓ button on the right side of the system to adjust the picture quality, then press the OK button.

4 Press the MENU button to exit the menu.

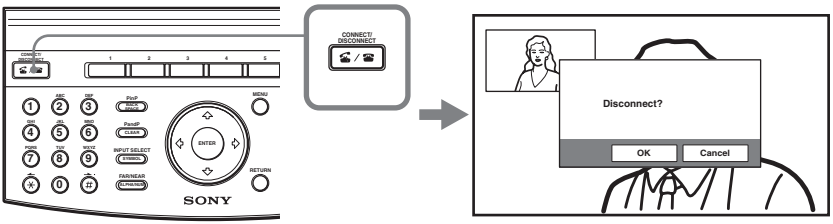
To reset to the default picture quality

Select “Reset”, the lowest setting item, then press the OK button.

Ending the Conference

Disconnecting the Line

1 Press the CONNECT/DISCONNECT (/) button on the Remote Commander.
The message “Disconnect?” appears on the display.



2 Press the ← or → button on the Remote Commander to select “OK”, then press the ENTER button, or press the CONNECT/DISCONNECT (/) button.
The line is disconnected and the launcher menu is restored.

To set the system to standby mode

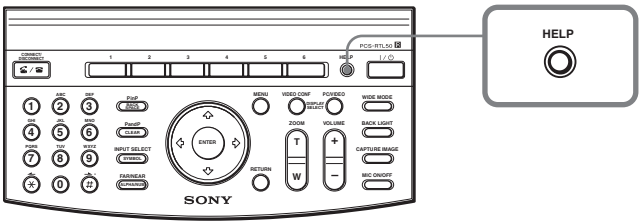
Press the I/⏻ button on the Remote Commander, and the message “Turn the display off, and set to standby mode?” appears. Press the ← or → button to select OK, then press the ENTER button.
You can receive a call from a remote party in the standby mode.

To turn off the power

Press the ⏻ (power) switch on the right side of the system for more the one second to turn the system off, and turn off other equipment used for the videoconference.

Displaying the Help

Pressing the HELP button on the Remote Commander displays a balloon help or a help screen to guide most operations on the display.



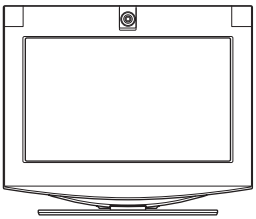
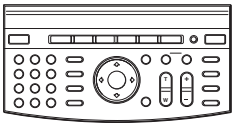
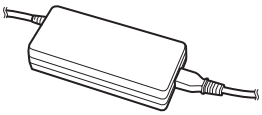
To hide the help guide, press the HELP button again.

System Components

The PCS-TL50 Video Communication System is composed of basic system components for a basic videoconference, and optional equipment for an enhanced videoconference.

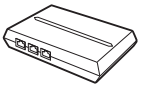
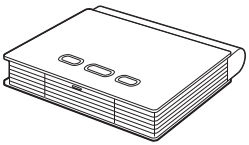
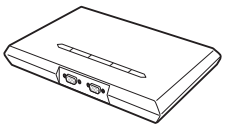
Basic System Components

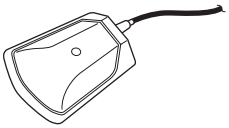
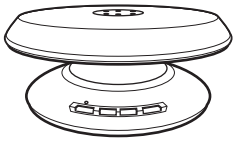
The PCS-TL50 Video Communication System is the basic system of the Videoconferencing System. It contains the following components:

Unit	Description
PCS-TL50 Video Communication System 	Contains the camera, display, video codec, audio codec, echo canceler, network interfaces and system controller.
PCS-RTL50 Remote Commander 	Used to operate the Video Communication System.
PCS-AC19V8 AC adaptor 	Supplies power to the Video Communication System.

Optional Equipment

The following optional devices are used to enhance your videoconference.

Unit	Description
ISDN Unit PCSA-B384S PCS-B384 	Used to connect to an ISDN line. Up to three ISDN lines; 6B channels usable. (The PCSA-B384S and PCS-B384 have the same functions. This manual uses the PCSA-B384S as a representative model.)
ISDN Unit PCSA-B768S PCS-B768 	Used to connect to an ISDN line. Up to six ISDN lines; 12B channels usable. (The PCSA-B768S and PCS-B768 have the same functions. This manual uses the PCSA- B768S as a representative model.)
Data Solution Box PCSA-DSB1S  PCS-DSB1 	Use of this device allows easy connection with a computer or projector for a data conference. (The PCSA-DSB1S and PCS-DSB1 have the same functions. This manual uses the PCSA- DSB1S as a representative model.)
PCS-A1 Microphone 	Omni-directional microphone that picks up sound relatively from all directions, allowing participants to speak from any location. It is recommended to use in a quiet situation.

Unit	Description
PCS-A300 Microphone 	Unidirectional microphone. It is recommended when you want to pick up the voice of a speaker directed toward the microphone.
CTE-600 Communication Transducer 	Integrated microphone/speaker system suitable for remote communication. The uni-directional microphones pick up clear voice with minimum background noise. Moreover, the omni-directional speaker outputs sound equally in all directions.
PCS-323M1 H.323 MCU Software	Allows use for a multipoint videoconference over LAN connection.
PCS-320M1 H.320 MCU Software	Allows use for a multipoint videoconference over ISDN connection.

System Connections

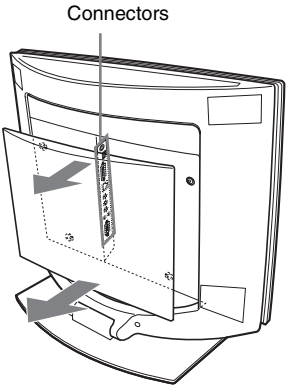
This section describes the typical system connections.

Using the Connectors

The connectors are in the inside of the rear cover.
When using the connectors, remove the rear cover, connect cables to the connectors, and replace the rear cover.

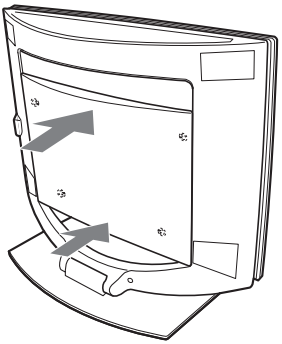
To remove the rear cover

Pull the rear cover toward you.



To replace the rear cover

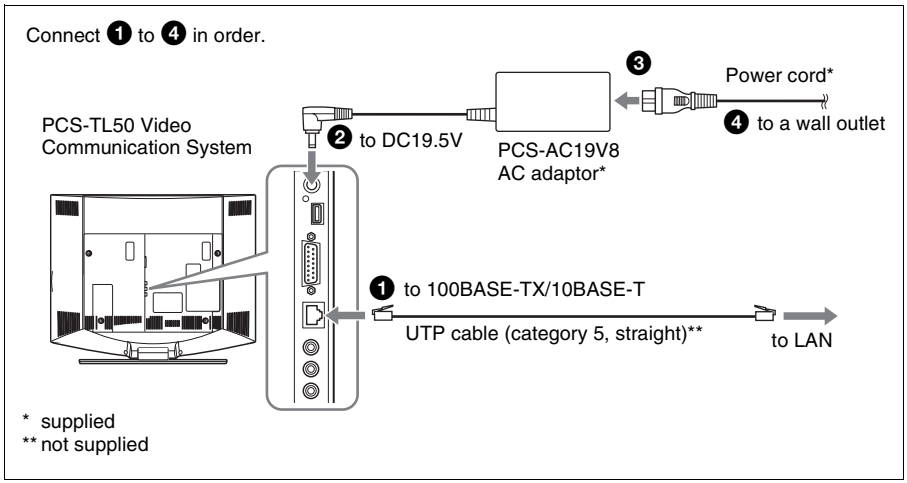
Align the four projections on the rear cover with the holes on the rear of the unit, and press the cover.



Notes on Connections

- Be sure to turn off all the equipment before making any connections.
- Use the AC adaptor and the power cord supplied with this system only. Never use the other AC adaptor or power cord.
- Insert the AC plug and DC plug of the AC adaptor securely as far as they will go.
- Do not connect/disconnect a cable with the power on. Doing so may damage the Video Communication System.
- For safety, do not connect the 100BASE-TX/10BASE-T connector to a network that applies an excess voltage via the 100BASE-TX/10BASE-T connector.

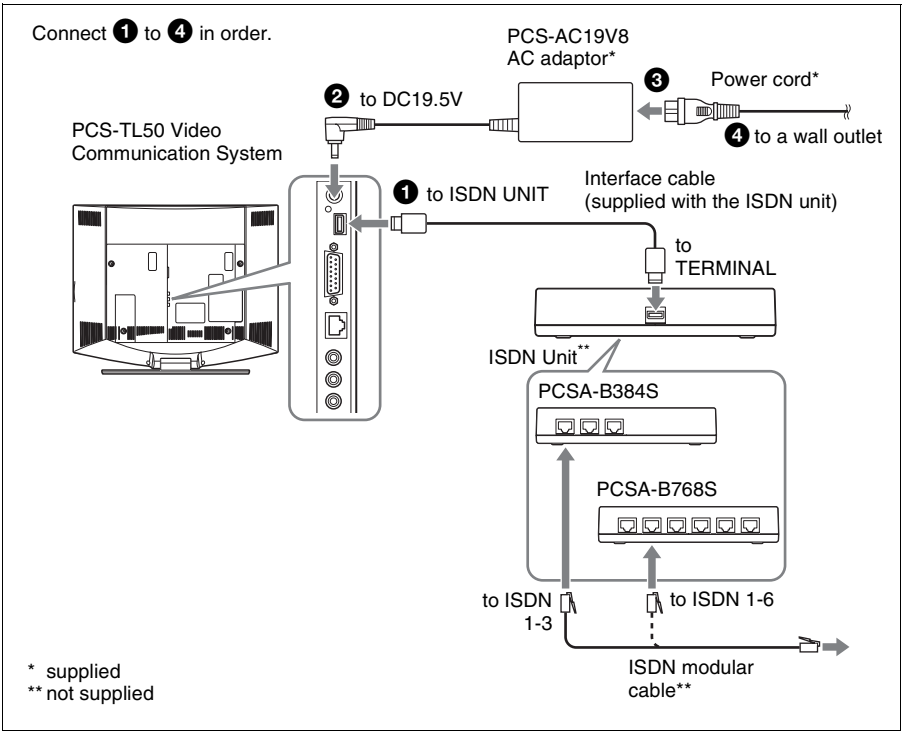
System Connection via a LAN



System Connection via an ISDN

Notes

- Do not connect/disconnect the interface cable with the power on. Doing so may damage the Video Communication System or ISDN Unit.
- Used with the ISDN Unit for the first time, the Video Communication System may automatically upgrade the software of the ISDN Unit. While the upgrading message appears on the display, be sure not to turn off the Video Communication System. Doing so may cause malfunction of the system.



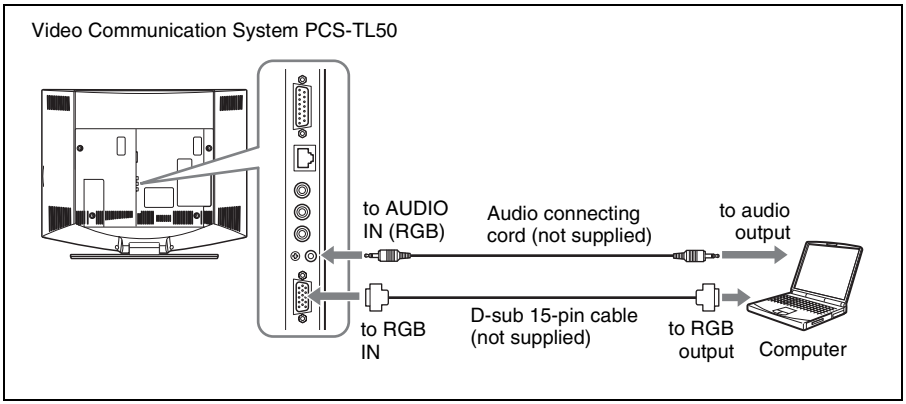
Use as Computer Display or Video Monitor

When you are not conducting a videoconference, you can use the display of the Video Communication System as a computer display or video monitor.

Connecting to a Computer

Remove the rear cover of the Video Communication System and connect a computer.

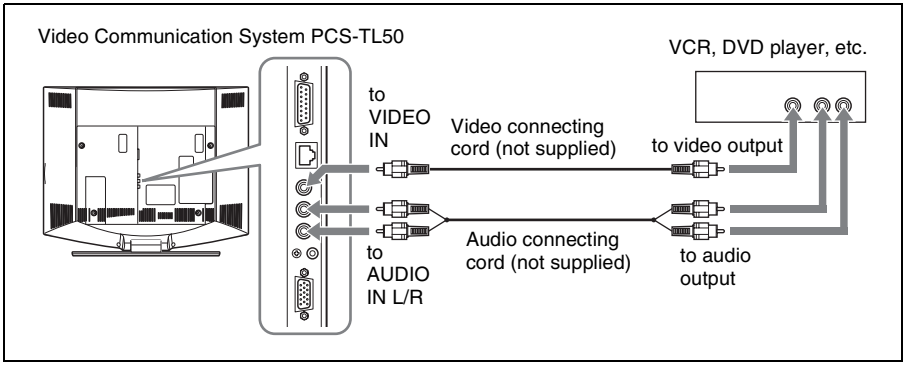
For removing the rear cover, see page 23.



Connecting to Video Equipment

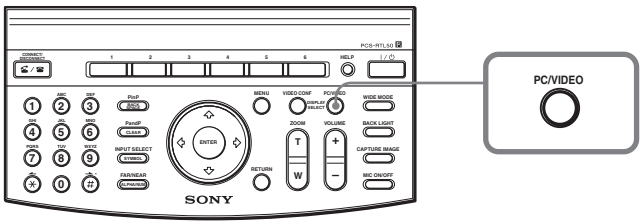
Remove the rear cover of the Video Communication System and connect video equipment.

For removing the rear cover, see page 23.



Displaying the Picture from the Computer or Video Equipment

1 Press the PC/VIDEO button on the Remote Commander to select the input.
Each time you press the button, the picture from the computer connected to the RGB IN connector of this system and the picture from the video equipment connected to the VIDEO IN jack is displayed alternately.



The sound from the selected input is heard from the speakers of the Video Communication System in stereo (when the audio cable is connected).

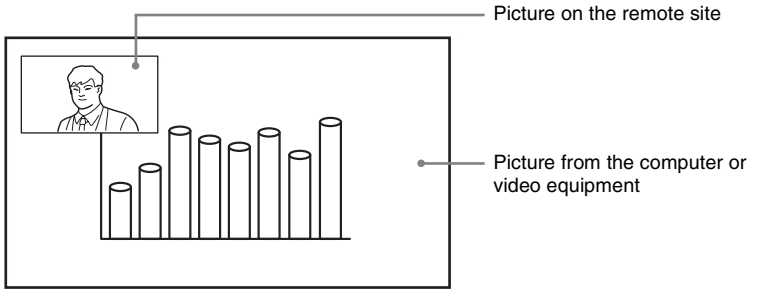
2 Adjust the sound volume using the VOLUME +/– buttons on the Remote Commander.

3 Adjust the picture quality using the MENU, ↑/↓ and OK buttons on the right side of the system.

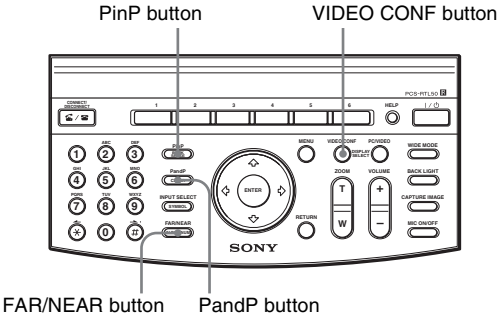
For the adjustments, see "Adjusting the Picture Quality" on page 16.

To display the picture from the computer or video equipment during videoconference

If you receive a call when you are viewing the picture from the computer or video equipment on the display, the system automatically enters the Picture-in-Picture mode and the picture of the remote party is displayed as a window picture.



You can change the display mode manually using the following buttons.



To change the location of the window picture of videoconference

Press the PinP button on the Remote Commander.

To display the picture of videoconference only

Press the VIDEO CONF button on the Remote Commander.
Press the PC/VIDEO button again to display the picture from the computer or video equipment only.

To display the picture of videoconference and the picture from the computer or video equipment simultaneously

Press the PandP button on the Remote Commander.
The picture from the computer or video equipment is displayed on the left (main picture) and the picture of the videoconference is displayed on the right (sub picture).

To change the remote picture of videoconference to the local picture

Press the FAR/NEAR button on the Remote Commander and change the "Display" setting ("Far" or "Near") in the Display Control menu.

Note

The Picture-in-Picture and Picture-and-Picture features are not available while not in communication with the remote party.

Specifications

PCS-TL50 Video Communication System

This unit is compliant with ITU-T Recommendations H.320 and H.323.

Motion picture

Operating bandwidth
- 64 Kbps to 1920 Kbps (standard, LAN connection)
- 56 Kbps to 768 Kbps (when installing the PCSA-B768S, ISDN connection)
- 56 Kbps to 384 Kbps (when installing the PCSA-B384S, ISDN connection)

Coding
- H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/Interlaced SIF (ITU-T Recommendation)
- MPEG4 Simple Profile (when using LAN)

Picture elements
- CIF: 352 pixels × 288 lines
- QCIF: 176 pixels × 144 lines

Color system
- NTSC

Still Picture

Pixels
- 704 pixels × 480 lines

Encoding
- H.261 (ITU-T Recommendation) Annex. D (4CIF)
- H.263 (special format of this system)

Sound

Bandwidth
- 14 kHz (MPEG4 Audio)
- 7 kHz (G.722/G.722.1 compliant with ITU-T Recommendation)
- 3.4 kHz (G.711/G.723.1/G.728/G.729 compliant with ITU-T Recommendation)

Transmission rate
- 56 Kbps, 64 Kbps (G.711 compliant with ITU-T Recommendation)
- 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 compliant with ITU-T Recommendation)
- 64 Kbps, 96 Kbps (MPEG4 Audio) (when using LAN)
- 24 Kbps, 32 Kbps (G.722.1 compliant with ITU-T Recommendation) (when using LAN)
- 16 Kbps (G.728 compliant with ITU-T Recommendation)
- 8 Kbps (G.729 compliant with ITU-T Recommendation) (when using LAN)
- 5.3 Kbps, 6.3 Kbps (G.723.1 compliant with ITU-T Recommendation) (when using LAN)

Network

Multiplexing
- Video, audio, data

Frame format
- H.221 (compliant with ITU-T Recommendation)

Interface
- LAN (standard), 64 Kbps to 1920 Kbps
- ISDN (BRI), up to 6 lines (when installing the PCSA-B768S) up to 3 lines (when installing the PCSA-B384S)

Data transmission rate
- LSD 1.2 Kbps, 4.8 Kbps, 6.4 Kbps
- MLP 6.4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
- HMLP 62.4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

LAN protocol supported
- HTTP
- FTP
- Telnet
- RTP/RTCP
- TCP/UDP

Remote control

Far end camera control
- H.281 (compliant with ITU-T Recommendation)

Data transfer
- T.120 (compliant with ITU-T Recommendation)

Camera

Video signal
- NTSC color, EIA standards

Image device
- 1/3 type CCD (Charge Coupled Device)
- Approx. 410 000 pixels (Effective: approx. 380 000 pixels)

Lens
- f = 4.0 mm, F 2.0, Horizontal angle Approx. 70°

Focal distance
- 500 mm

Minimum illumination
- 1 lux at F 2.0/50 IRE

Pan/tilt action
- Digital pan/tilt

Auto White Balance function built-in
Electronic iris function built-in

Display

Size 20 inches
Aspect ratio 16 : 9
Resolution 1280 × 768
Luminance 400 Cd/m^2 or more
Response time
15 ms or less
Contrast ratio 500 : 1
Angle of view 160 degrees or more
Number of colors
16,700,000 colors

Display controller

PinP 4 corners
PandP Two windows
Input Internal: Video Communication
External RGB: Computer display
External Video: External video input (automatic detection of NTSC/PAL)
Wide mode Normal, Zoom, Wide, Wide zoom
RGB mode 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, etc.
Display of zoomed picture is possible.
Volume adjustments
Fixed for Video Communication System
Adjustable by the amplifier on the display circuit board
OSD adjustments
Brightness, hue, shift, width, height, etc.

Speaker

Speaker 3 W × 2

Microphone

Frequency range
15 kHz
Directional characteristic
Narrow-angle directional

General

Power requirements
19.5 V
Power consumption
7.7 A
Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 94°F)
Operating humidity
20% to 80%
Storage temperature
–20°C to +60°C (–4°F to +140°F)
Storage humidity
20% to 80% (no condensation)
Dimensions 528 × 445 × 110 mm (w/h/d) (20 7/8 × 17 5/8 × 4 3/8 inches) (not including the stand)
528 × 445 × 265 mm (w/h/d) (20 7/8 × 17 5/8 × 10 1/2 inches) (including the stand)
Mass Approx. 10 kg (22 lb 7 oz)
Supplied accessories
Remote Commander PCS-RTL50 (1)
Size AA (R6) batteries for Remote Commander (2)
AC adaptor PCS-AC19V8 (1)
Power cord (1)
CD-ROM (1)
Operation Guide (1)
Quick Connection Guide/Remote Control Guide (1)
Warranty booklet (1)

PCS-RTL50 Remote Commander

Signal format
Infrared SIRCS
Control DC 3V using two size AA (R6) batteries
Dimensions 168 × 19 × 88 mm (w/h/d) (6 5/8 × 3/4 × 3 1/2 inches) (not including the projected parts)
Mass Approx. 180 g (6 oz) (including batteries)

PCS-AC19V8 Adaptor

Power requirements
100 to 240V AC, 50/60 Hz, 2.2 A to 1.0 A
Output 19.5 V, 7.7A
Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 94°F)
Operating humidity
20% to 80%
Storage temperature
–20°C to +60°C (–4°F to +140°F)
Storage humidity
20% to 80% (no condensation)
Dimensions 81 × 49 × 165 mm (w/h/d) (3 1/4 × 1 15/16 × 6 1/2 inches)
Mass Approx. 800 g (1 lb 12 oz)

PCS-A1 Microphone (optional)

Bandwidth 13 kHz
Directional characteristic
Omnidirectional
Dimensions 74 ×16 × 93 mm (w/h/d)
(3 × 21/32 × 3 3/4 inches)
Mass Approx. 170 g (6 oz)
Power Plug in power

PCS-A300 Microphone (optional)

Bandwidth 13 kHz
Directional characteristic
Unidirectional
Dimension 68 × 16 × 96 mm (w/h/d) (2 3/4 × 21/32 × 3 7/8 inches)
Mass Approx. 200 g (7 oz)
Power Plug in power

PCSA-B384S/PCS-B384 ISDN Unit (Optional)

Power requirements
19.5 V
Power consumption
0.3 A
Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 94°F)
Operating humidity
20% to 80%
Storage temperature
–20°C to +60°C (–4°F to +140°F)
Storage humidity
20% to 80% (no condensation)
Dimensions PCSA-B384S:
165 × 34 × 127 mm (w/h/d)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 inches) (not including the projected parts)
PCS-B384:
165 × 34 × 127 mm (w/h/d)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 inches) (not including the projected parts)
Mass PCSA-B384S: Approx. 400 g (14 oz)
PCS-B384: Approx. 400 g (14 oz)
Supplied accessories
Interface cable (5 m, 16.4 ft) (1)
Operating Instructions (1)
Warranty booklet (1)

PCSA-B768S/PCS-B768 ISDN Unit (optional)

Power requirements
19.5 V
Power consumption
0.5 A
Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 94°F)
Operating humidity
20% to 80%
Storage temperature
–20°C to +60°C (–4°F to +140°F)
Storage humidity
20% to 80% (no condensation)
Dimensions PCSA-B768S:
165 × 34 × 127 mm (w/h/d)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 inches) (not including the projected parts)
PCS-B768:
165 × 34 × 127 mm (w/h/d)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 inches) (not including the projected parts)
Mass PCSA-B768S: Approx. 400 g (14 oz)
PCS-B768: Approx. 400 g (14 oz)
Supplied accessories
Interface cable (5 m, 16.4 ft) (1)
Operating Instructions (1)
Warranty booklet (1)

PCSA-DSB1S/PCS-DSB1 Data Solution Box (optional)

Power requirements
19.5 V
Power consumption
1.0 A
Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 94°F)
Operating humidity
20% to 80%
Storage temperature
–20°C to +60°C (–4°F to +140°F)
Storage humidity
20% to 80% (no condensation)
Dimensions PCSA-DSB1S:
240 × 37 × 180 mm (w/h/d)
(9 1/2 × 1 1/2 × 7 1/8 inches) (not including the projected parts)
PCS-DSB1:
240 × 33 × 160 mm (w/h/d)
(9 1/2 × 1 5/16 × 6 3/8 inches) (not including the projected parts)
Mass PCSA-DSB1S: Approx. 1.1 kg (2 lb 7 oz)
PCS-DSB1: Approx. 850 g (1 lb 14 oz)
Supplied accessories
Interface cable (8 m, 26.2 ft) (1)
Operating Instructions (1)
Warranty booklet (1)

PCS-320M1 H.320 MCU Software (optional)

Dimensions 50 × 2.8 × 21.5 mm (w/h/d) (2 × 1/8 × 7/8 inches)
Mass Approx. 4 g (0.1 oz)
Supplied accessories
Serial Number seal (1)
Operating Instructions (1)

PCS-323M1 H.323 MCU Software (optional)

Dimensions 50 × 2.8 × 21.5 mm (w/h/d) (2 × 1/8 × 7/8 inches)
Mass Approx. 4 g (0.1 oz)
Supplied accessories
Serial Number seal (1)
Operating Instructions (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un technicien qualifié.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporez un dispositif de coupure facile d'accès dans le câblage fixe ou branchez le cordon d'alimentation dans une prise murale facilement accessible située à proximité de l'appareil.
En cas d'anomalie pendant le fonctionnement de l'appareil, mettez l'appareil hors tension au moyen du dispositif de coupure ou débranchez le cordon d'alimentation.

AVERTISSEMENT concernant le port LAN

Pour des raisons de sécurité, ne connectez pas le port LAN à un périphérique réseau dont la tension risque d'être excessive.

Mise en place des piles

Deux piles R6 (taille AA) sont fournies pour la télécommande.
Pour éviter tout risque d'explosion, utilisez des piles R6 (taille AA) au manganèse ou des piles alcalines.

ATTENTION

UNE EXPLOSION RISQUE DE SE PRODUIRE SI VOUS REMPLACEZ LA PILE PAR UNE PILE DE TYPE INCORRECT.
DEBARRASSEZ-VOUS DES PILES USAGEES EN SUIVANT LES INSTRUCTIONS.

Ce mode d'emploi part du principe que des lignes RNIS sont utilisées pour la vidéoconférence, mais il couvre également des lignes qui ne sont pas RNIS. Si vous utilisez des lignes RNIS, demandez des informations complémentaires à votre revendeur Sony.

- Le service RNIS n'est pas disponible dans certains pays.

Pour les utilisateurs en Europe

Avertissement

Il s'agit d'un produit Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.
Si des interférences se produisent, contactez votre service après-vente agréé Sony.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.
De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.

Si vous vous débarrassez de l'appareil, consultez votre revendeur Sony le plus proche. La batterie intégrée doit être traitée comme un déchet de l'industrie chimique.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Précautions

Emplacement de fonctionnement ou de stockage

Evitez de faire fonctionner ou de stocker le système dans les endroits suivants :

- Endroits très chauds ou très froids
- Endroits humides ou poussiéreux
- Endroits exposés à une forte vibration
- Près de sources de fort magnétisme telles que des radios ou des transmetteurs TV
- Endroits bruyants

Ecran LCD

- N'exposez pas la surface de l'écran LCD au soleil. Vous risquez de l'endommager.
- Ne poussez ni n'égratignez l'écran LCD. Ne placez pas d'objets au-dessus du système. L'image risque de devenir irrégulière ou l'écran LCD risque d'être endommagé.
- Si vous utilisez le système dans un endroit froid, une tache risque d'apparaître sur l'image ou l'image risque de devenir foncée. Ceci n'est pas un problème. Ces phénomènes s'améliorent au fur et à mesure que la température augmente.
- Des ombres risquent d'apparaître lorsque vous affichez des images fixes en continu. Elles peuvent disparaître au bout d'un moment.
- L'écran et l'armoire deviennent chauds lorsque vous utilisez le système. Il ne s'agit pas d'une anomalie.

Panneau d'affichage LCD

- Même si le panneau d'affichage LCD est fabriqué avec une technologie de haute précision, des points noirs ou des points brillants de lumière (rouge, bleu ou vert) peuvent apparaître en permanence sur l'écran LCD. Des bandes de couleur et un contraste irrégulier peuvent également apparaître lorsque vous visualisez à partir d'angles spécifiques. Il s'agit d'une propriété structurelle du panneau LCD. Il ne s'agit pas d'une anomalie

Haut-parleurs intégrés

- Les haut-parleurs génèrent du magnétisme. Pour éviter d'endommager les données, conservez les bandes magnétiques et les disques loin des haut-parleurs.

Nettoyage

- Avant le nettoyage, débranchez le cordon d'alimentation de la prise de courant alternatif.
- La surface de l'écran LCD est recouverte d'un revêtement spécial. Pour enlever la poussière de la surface de l'écran, utilisez un chiffon sec et doux.
- N'utilisez pas de solvants volatiles tels que l'alcool, le benzène ou des diluants car ils risquent d'abîmer le revêtement de la surface.
- Lorsque vous utilisez un chiffon de nettoyage chimique, lisez attentivement les instructions qui l'accompagnent.
- N'appliquez pas de solvants volatiles tels que des insecticides sur l'écran et ne le mettez pas en contact avec des objets en caoutchouc ou en plastique pendant longtemps car ils risquent d'abîmer le revêtement de la surface.

Table des matières

Lors de l'utilisation du système pour la première fois 5

Mise sous tension du système 6

Enregistrement d'un correspondant pour One Touch Dial 7

Appel d'un correspondant à l'aide de One Touch Dial 11

Appel d'un correspondant non enregistré pour One Touch Dial 12

Réglage de l'image et du son 14

- Réglage de l'angle de caméra et du zoom 14
- Réglage du volume 15
- Réglage de la qualité image 15

Pour terminer la conférence 17

- Déconnexion de la ligne 17

Affichage de l'aide 18

Composants du système 19

- Composants du système de base 19
- Equipement en option 20

Connexions du système 22

- Utilisation des connecteurs 22
- Remarques sur les connexions ... 23
- Connexion système via un réseau LAN 23
- Connexion système via un réseau RNIS 24

Utilisation comme écran d'ordinateur ou moniteur vidéo 25

- Raccordement à un ordinateur 25
- Connexion à un équipement vidéo 26
- Affichage de l'image à partir de l'ordinateur ou de l'équipement vidéo 26

Spécifications 29

Le CD-ROM fourni comprend le Mode d'emploi qui contient des informations plus détaillées sur ce système. Veuillez lire le Mode d'emploi ainsi que le Guide d'utilisation.

Lors de l'utilisation du système pour la première fois

Ce guide décrit brièvement les opérations de base à effectuer pour le démarrage d'une vidéoconférence point à point à l'aide du système de communication vidéo PCS-TL50. Vous apprendrez à effectuer une vidéoconférence quotidienne du début à la fin. Pour des opérations plus détaillées et divers réglages requis pour la conférence, reportez-vous au Mode d'emploi contenu dans le CD-ROM fourni.

A propos du Mode d'emploi

Le Mode d'emploi du système se trouve sur le CD-ROM fourni au format PDF. Vous devez utiliser Adobe® Acrobat®* Reader 5.0 (E) ou Adobe Reader 6.0 (E) pour le lire. Si Adobe Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger sa dernière version en accédant aux sites Web décrits ci-dessous.

Comment lire le Mode d'emploi

1 Insérez le CD-ROM fourni intitulé « Manuals for Video Communication System » dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur.

Une fenêtre s'ouvre. Elle affiche les fichiers contenus dans le CD-ROM.

2 Double-cliquez sur le fichier PDF appelé « Anglais ».

Adobe Reader démarre et affiche la page de garde du Mode d'emploi.

Cliquez sur un élément de la Table des matières pour y accéder.

Pour installer Adobe Reader 6.0 (E)

Pour installer Adobe Reader 6.0 (E) sur votre ordinateur, vous devez disposer du matériel et des logiciels suivants :

- Un ordinateur avec un processeur Intel® Pentium® ou 100 % compatible
- Microsoft® Windows®** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5, ou Windows 2000 et ultérieure
- 64 Mo ou plus de RAM
- 70 Mo ou plus d'espace disque disponible

Vous pouvez vous procurer gratuitement la dernière version d'Adobe Reader en accédant aux sites Web suivants.

Version nord américaine :
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

Version européenne :
http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html

Version japonaise :
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

* Adobe et Acrobat sont des marques commerciales d'Adobe Systems, Incorporated.

** Windows et Windows NT sont des marques déposées de U.S. Microsoft Corporation aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

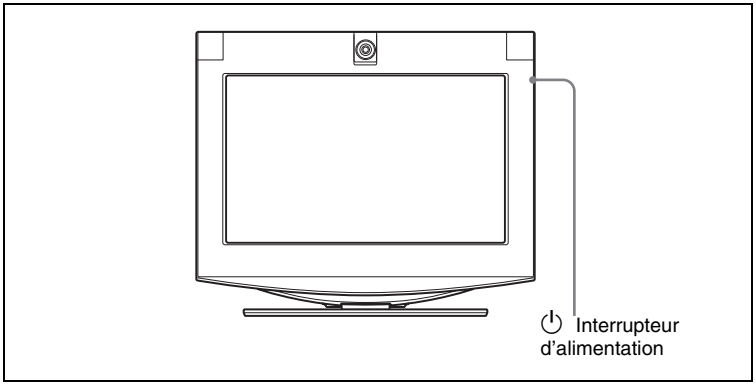
Mise sous tension du système

Avant de mettre le système sous tension, vérifiez que les connexions ont été effectuées correctement.

Pour plus d'informations sur la connexion du système, reportez-vous à « Connexions du système » à la page 22.

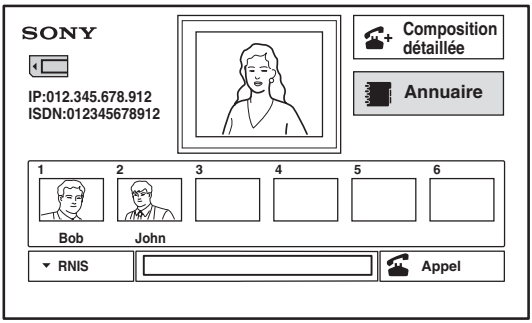
1 Mettez sous tension les autres appareils utilisés pour la vidéoconférence.

2 Appuyez sur l'interrupteur d'alimentation ⏻ situé sur le côté droit du système.
Le voyant de l'interrupteur s'allume en vert et le système est mis sous tension.



3 Vérifiez que l'obturateur de la caméra est ouvert.
S'il est fermé, faites glisser le bouton de l'obturateur situé en haut du système pour l'ouvrir.

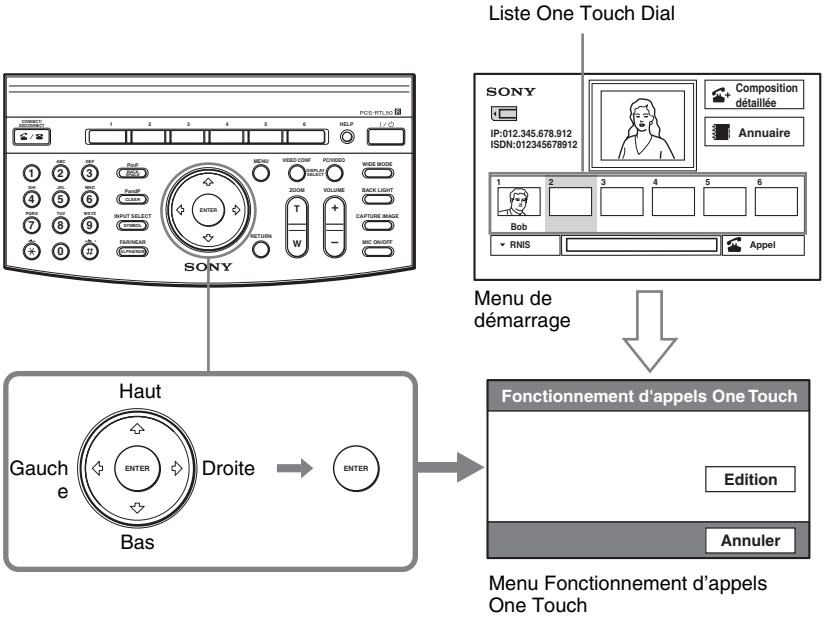
4 Appuyez sur la touche VIDEO CONF de la télécommande pour afficher le menu de démarrage.



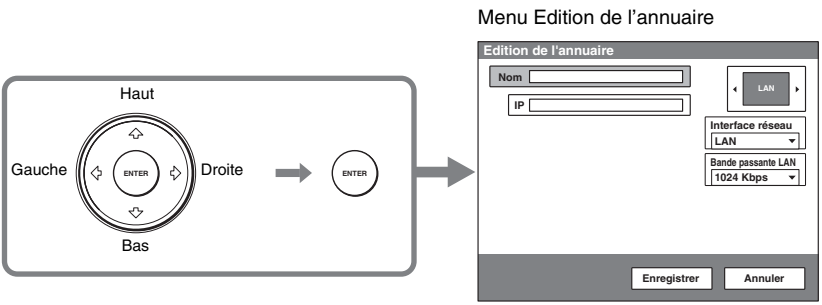
Enregistrement d’un correspondant pour One Touch Dial

Vous pouvez enregistrer des correspondants dans la liste One Touch Dial du menu démarrage afin de les appeler aisément à l’aide des touches One Touch Dial de la télécommande.
Cette section indique comment enregistrer des correspondants pour One Touch Dial dans le menu de démarrage.

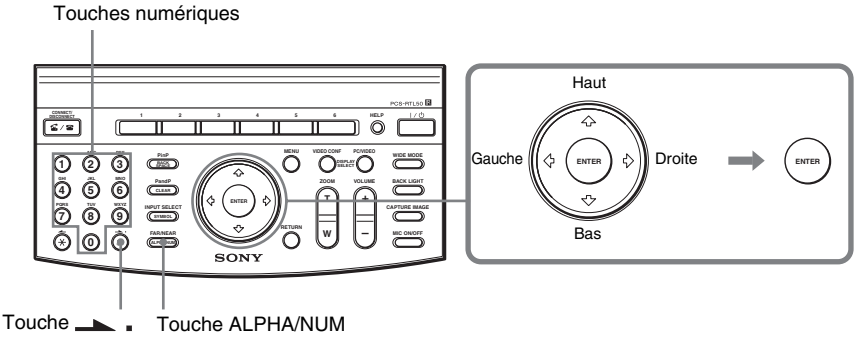
1 Sélectionnez la One Touch Dial pour enregistrer un correspondant à l’aide de la touche ↑, ↓, ← ou → de la télécommande, puis appuyez sur la touche ENTER.
Le menu Fonctionnement d’appels One Touch s’ouvre.



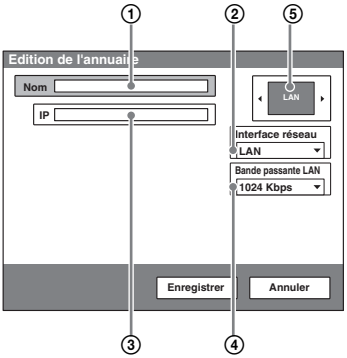
2 Utilisez la touche ↑, ↓, ← ou → de la télécommande pour sélectionner « Edition », puis appuyez sur la touche ENTER.
Le menu Edition de l'annuaire s'affiche.



3 Définissez les éléments pour One Touch Dial.
Sélectionnez l'élément à définir à l'aide de la touche ↑, ↓, ← ou →, puis appuyez sur la touche ENTER.
Vous pouvez utiliser les touches numériques et la touche . (point) pour entrer des chiffres. Appuyez sur la touche ALPHA/NUM (alphabet/chiffre) pour sélectionner le mode d'entrée des touches numériques.



Lors de la connexion d'un correspondant sur un LAN



① Entrez le nom d'un correspondant.

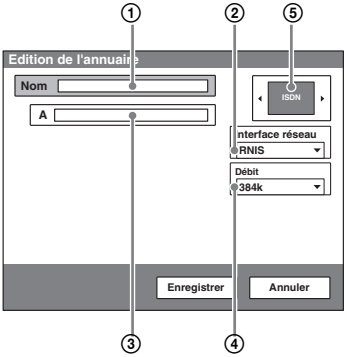
② Sélectionnez « Interface réseau » puis « LAN » dans le sous-menu affiché.

③ Sélectionnez la zone de texte IP puis entrez l'adresse IP du correspondant à l'aide des touches numériques et de la touche . (point) de la télécommande.

④ Sélectionnez « Bande passante LAN » puis la bande passante que vous utilisez.

⑤ Sélectionnez une image fixe à afficher dans la liste One Touch Dial.

Lors de la connexion d'un correspondant sur un RNIS



① Entrez le nom d'un correspondant.

② Sélectionnez « Interface réseau » puis « RNIS » dans le sous-menu affiché.

③ Sélectionnez la zone de texte du numéro de téléphone puis entrez le numéro de téléphone du correspondant à l'aide des touches numériques de la télécommande.

④ Sélectionnez « Débit » puis le nombre de canaux à utiliser lorsque vous appelez le correspondant.

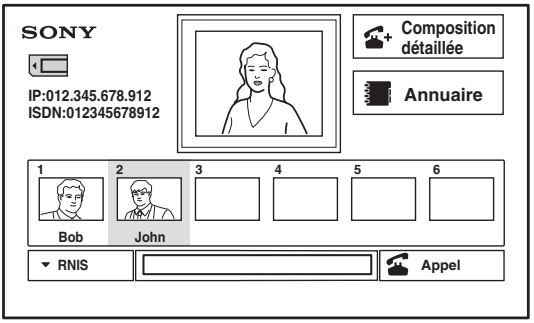
⑤ Sélectionnez une image fixe à afficher dans la liste One Touch Dial.

4 Sélectionnez « Enregistrer » à l'aide de la touche ↑, ↓, ← ou → de la télécommande, puis appuyez sur la touche ENTER.

Le menu Annuaire s'ouvre.

Les éléments définis sont enregistrés dans l'annuaire ainsi que dans la liste One Touch Dial du menu de démarrage.

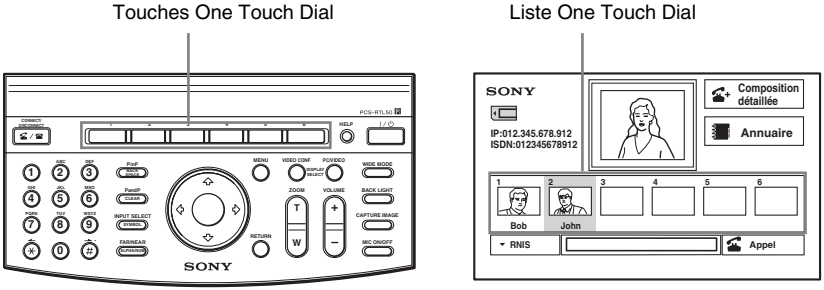
Menu de démarrage



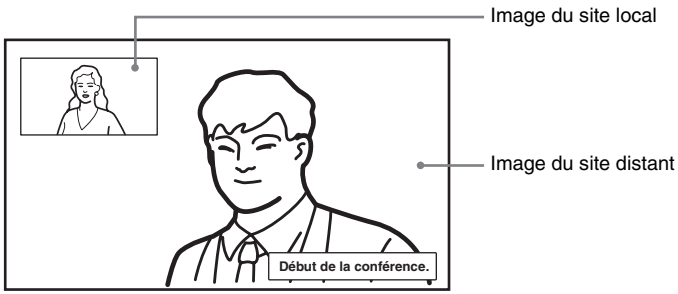
Appel d’un correspondant à l’aide de One Touch Dial

Une fois que vous avez enregistré le correspondant dans la liste One Touch Dial, vous pouvez l’appeler en utilisant la fonction One Touch Dial.

1 Appuyez sur la touche One Touch Dial 1 à 6 dans laquelle le correspondant a été enregistré.



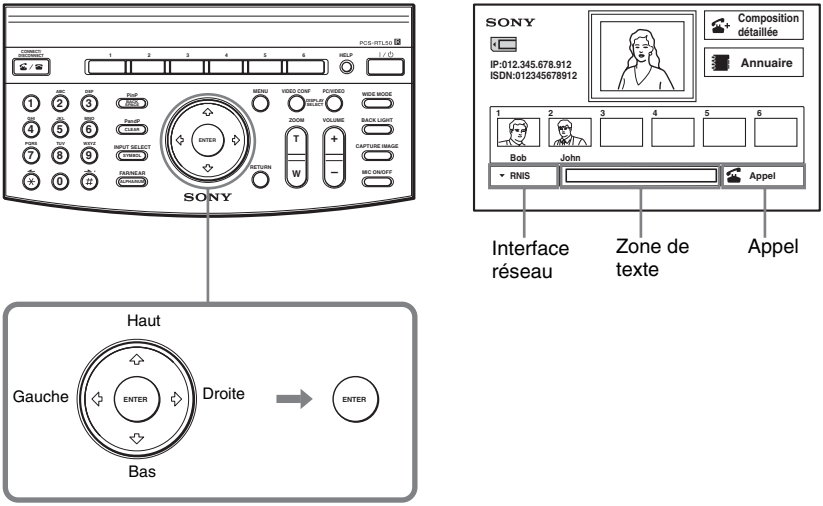
Le système commence à appeler le correspondant sélectionné. « Appel (LAN) » ou « Appel (RNIS) » apparaît à l’écran.
Lorsque le système se connecte au système distant, le message « Début de la conférence. » apparaît à l’écran.
Vous pouvez maintenant commencer la vidéoconférence.



Appel d’un correspondant non enregistré pour One Touch Dial

1 Sélectionnez l’interface réseau dans la liste déroulante en bas du menu de démarrage.

Sélectionnez l’interface réseau en bas du menu de démarrage à l’aide de la touche ↑, ↓, ← ou →, puis appuyez sur la touche ENTER pour afficher la liste déroulante. Sélectionnez l’interface réseau en appuyant sur la touche ↑ ou ↓ puis appuyez sur la touche ENTER.



LAN : Connexion au système de vidéoconférence d’un correspondant via un LAN (réseau local).

Téléphone : Connexion au téléphone RNIS d’un correspondant pour effectuer une conférence téléphonique via la connexion RNIS.

RNIS : Connexion au système de vidéoconférence d’un correspondant via un réseau RNIS.

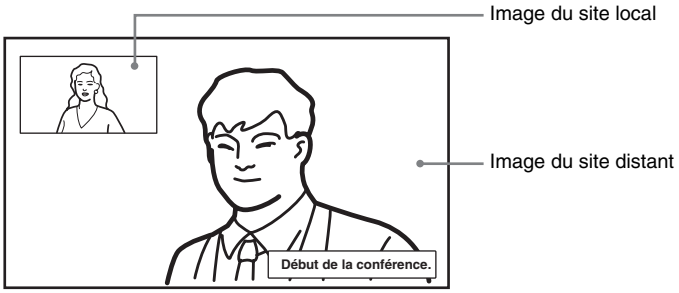
2 Entrez l’adresse IP (pour LAN) ou le numéro de téléphone RNIS (pour RNIS ou Téléphone) du correspondant dans la zone de texte.

Sélectionnez la zone de texte à l’aide de la touche ↑, ↓, ← ou → de la télécommande, puis appuyez sur la touche ENTER. Entrez des chiffres à l’aide des touches numériques de la télécommande.

3 Sélectionnez « Appel » à l’aide de la touche ↑, ↓, ← ou → de la télécommande, puis appuyez sur la touche ENTER. Ou appuyez sur la touche CONNECT/DISCONNECT (/) de la télécommande.

Le système commence à composer l’adresse IP ou le numéro de téléphone RNIS à l’étape 2. « Appel (LAN) » ou « Appel (RNIS) » apparaît à l’écran.

Lorsque le système se connecte au système distant, le message « Début de la conférence. » apparaît à l'écran.
Vous pouvez maintenant commencer la vidéoconférence.

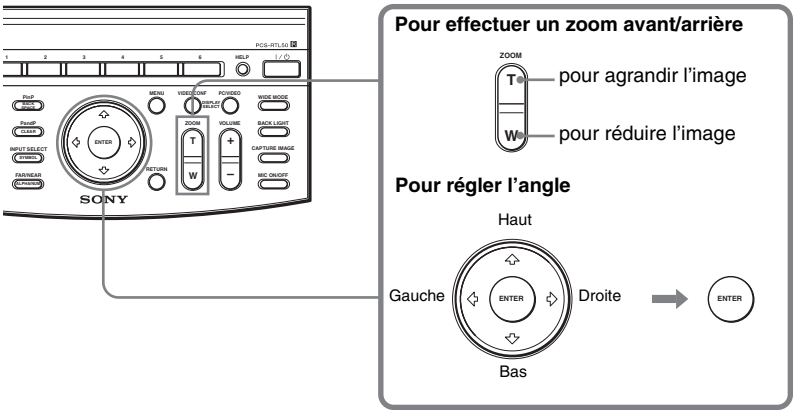


Réglage de l’image et du son

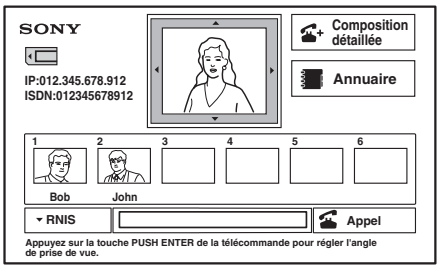
Réglage de l’angle de caméra et du zoom

Réglage hors communication

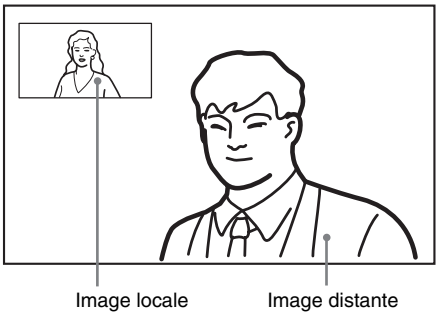
Utilisez la touche ↑, ↓, ← ou → de la télécommande pour sélectionner l’image dans le menu de démarrage, puis appuyez sur la touche ENTER.
Appuyez sur la touche ZOOM T/W pour effectuer un zoom avant ou arrière et la touche ↑, ↓, ← ou → pour régler l’angle de caméra.
Une fois le réglage effectué, appuyez sur la touche ENTER.



En communication



En communication



Réglage en communication

Vous pouvez régler le zoom et l’angle de l’image sur le site local à l’aide des touches ZOOM T/W et ↑/↓/←/→ de la télécommande.
Reportez-vous au Mode d’emploi pour régler le zoom et l’angle de caméra de l’image sur le site distant.

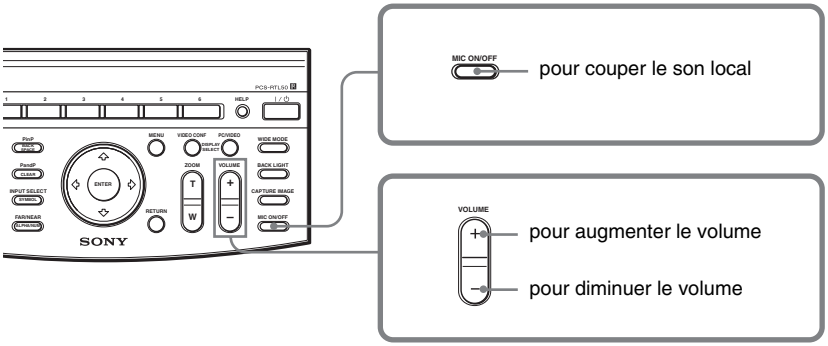
Réglage du volume

Pour régler le volume du son reçu du correspondant

Appuyez sur la touche VOLUME +/– de la télécommande.

Pour couper le son du site local envoyé au correspondant

Appuyez sur la touche MIC ON/OFF de la télécommande.
Le voyant « MIC OFF » s'affiche à l'écran. Pour rétablir le son, appuyez de nouveau sur la touche MIC ON/OFF.

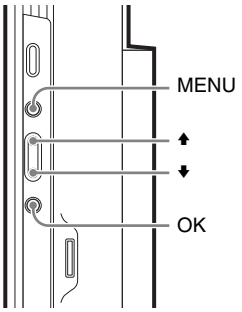


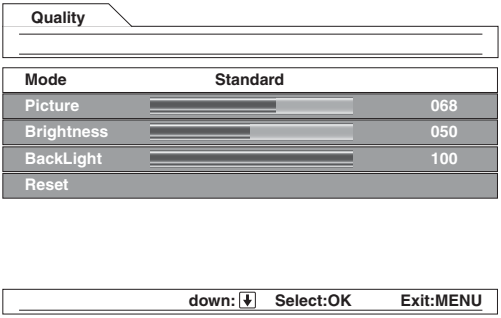
Réglage de la qualité image

Vous pouvez régler la qualité image à l'écran à l'aide des touches MENU, ↑/↓ et OK situées à droite du système de communication vidéo.

1 Appuyez sur la touche MENU situé sur le côté droit du système.
Le menu de la qualité image apparaît.

Côté droit





2 Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ pour sélectionner l'élément de réglage puis appuyez sur OK.
Le menu de réglage de l'élément sélectionné s'affiche.

3 Appuyez sur la touche ↑ ou ↓ située à droite du système pour régler la qualité image puis appuyez sur la touche OK.

4 Appuyez sur la touche MENU pour quitter le menu.

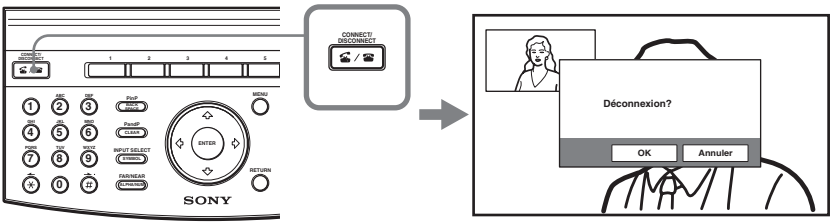
Pour revenir à la qualité image par défaut

Sélectionnez « Reset », l'élément de réglage le plus bas puis appuyez sur la touche OK.

Pour terminer la conférence

Déconnexion de la ligne

1 Appuyez sur la touche CONNECT/DISCONNECT (☎ / ☎) de la télécommande.
Le message « Déconnexion ? » s'affiche à l'écran.



2 Appuyez sur la touche ← ou → de la télécommande pour sélectionner « OK », puis appuyez sur la touche ENTER, ou appuyez sur la touche CONNECT/DISCONNECT (☎ / ☎).
La ligne est déconnectée et le menu de démarrage est restauré.

Pour mettre le système en mode de veille

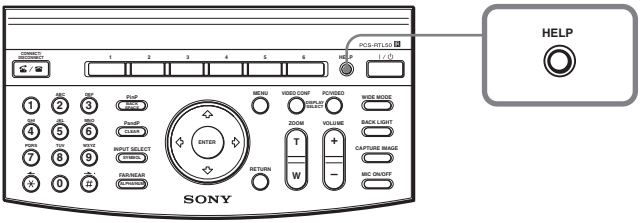
Appuyez sur la touche I/⏻ de la télécommande. Le message « Eteindre l'écran et passer au mode Veille ? » apparaît. Appuyez sur la touche ← ou → pour sélectionner OK puis appuyez sur la touche ENTER.
Vous pouvez recevoir l'appel d'un correspondant en mode de veille.

Pour mettre le système hors tension

Appuyez sur l'interrupteur d'alimentation ⏻ situé à droite du système pendant plus d'une seconde pour mettre le système hors tension et mettez hors tension les autres équipements utilisés pour la vidéoconférence.

Affichage de l’aide

Pour afficher sur l’écran du moniteur une aide sous forme de bulle ou un écran d’aide pour vous guider pour la plupart des opérations, appuyez sur la touche HELP de la télécommande.



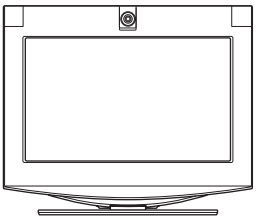
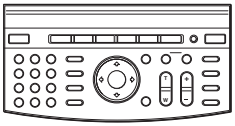
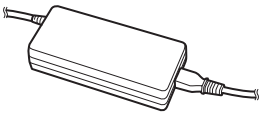
Pour masquer le guide d’aide, appuyez de nouveau sur la touche HELP.

Composants du système

Le système de communication vidéo PCS-TL50 est constitué des composants système nécessaires pour une vidéoconférence de base et d'équipements en option pour une vidéoconférence avancée.

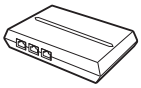
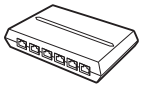
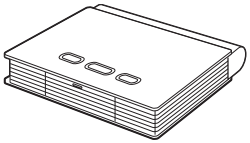
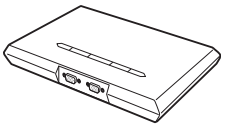
Composants du système de base

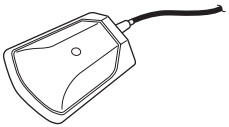
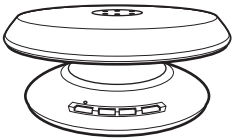
Le système de communication vidéo PCS-TL50 constitue l'élément de base du système de vidéoconférence. Il est constitué des éléments suivants :

Unité	Description
Système de communication vidéo PCS-TL50 	Comprend la caméra, l'écran, le codec vidéo, le codec audio, l'éliminateur d'écho, les interfaces réseau et le contrôleur système.
Télécommande PCS-RTL50 	Utilisée pour faire fonctionner le système de communication vidéo.
Adaptateur secteur PCS-AC19V8 	Assure l'alimentation électrique du système de communication vidéo.

Equipement en option

Les périphériques en option suivants vous permettent d'améliorer vos vidéoconférences.

Unité	Description
Unité RNIS PCSA-B384S PCS-B384 	Permet de connecter une ligne RNIS. Possibilité d'utiliser jusqu'à trois lignes RNIS et jusqu'à 6 canaux B. (Le PCSA-B384S et le PCS-B384 ont les mêmes fonctions. Ce manuel utilise le PCSA-B384S comme modèle représentatif.)
Unité RNIS PCSA-B768S PCS-B768 	Permet de connecter une ligne RNIS. Possibilité d'utiliser jusqu'à six lignes RNIS et jusqu'à 12 canaux B. (Le PCSA-B768S et le PCS-B768 ont les mêmes fonctions. Ce manuel utilise le PCSA- B768S comme modèle représentatif.)
Unité de solution de données PCSA-DSB1S  PCS-DSB1 	Ce périphérique permet de connecter facilement un ordinateur ou un projecteur pour une conférence de données. (Le PCSA-DSB1S et le PCS-DSB1 ont les mêmes fonctions. Ce manuel utilise le PCSA- DSB1S comme modèle représentatif.)
Microphone PCS-A1 	Microphone omnidirectionnel (capable de capter le son dans toutes les directions) permettant aux participants de parler à partir de n'importe quelle position. Il est recommandé de l'utiliser dans un environnement calme.

Unité	Description
Microphone PCS-A300 	Microphone unidirectionnel. Recommandé pour capter la voix d'une personne orientée vers le microphone.
Transducteur de communication CTE-600 	Système de microphone/haut-parleur intégré pour la communication à distance. Les microphones unidirectionnels captent une voix claire avec un bruit de fond minimum. En outre, le haut-parleur omnidirectionnel diffuse le son de manière uniforme dans toutes les directions.
Logiciel MCU PCS-323M1 H.323	Permet d'organiser des vidéoconférences multipoint via une connexion LAN.
Logiciel MCU PCS-320M1 H.320	Permet d'organiser des vidéoconférences multipoint via une connexion RNIS.

Connexions du système

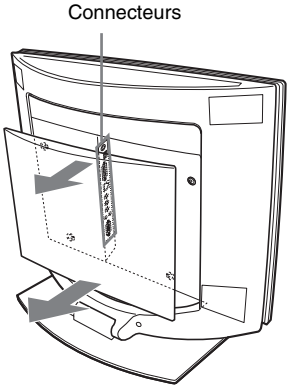
Cette section décrit les connexions système types.

Utilisation des connecteurs

Les connecteurs se trouvent à l'intérieur du capot arrière.
Lorsque vous utilisez les connecteurs, retirez le capot arrière, connectez les câbles aux connecteurs et remettez en place le capot arrière.

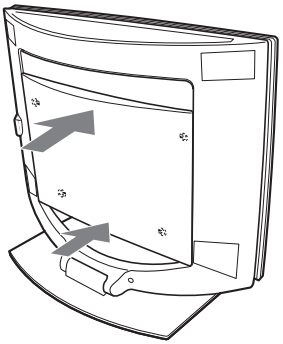
Pour retirer le capot arrière

Tirez le capot arrière vers vous.



Pour remettre en place le capot arrière

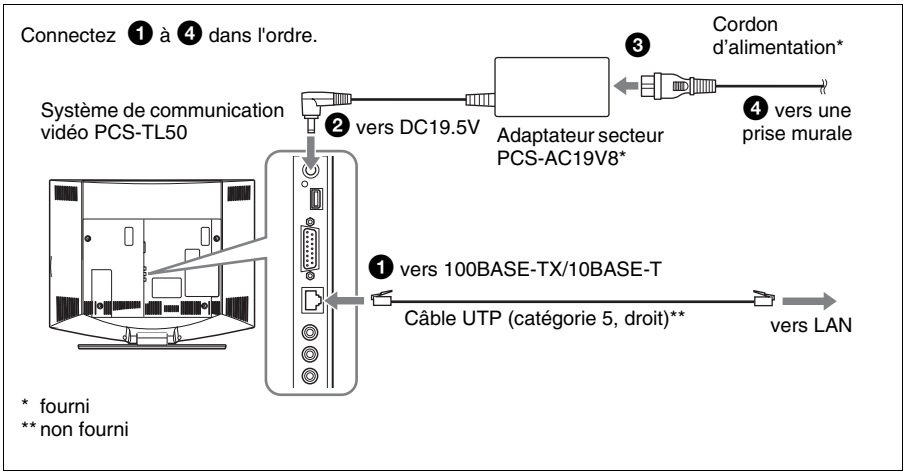
Alignez les quatre projections sur le capot arrière avec les trous situés à l'arrière de l'unité et appuyez sur le capot.



Remarques sur les connexions

- Mettez tous les appareils hors tension avant d'établir quelque connexion que ce soit.
- Utilisez l'adaptateur de courant alternatif et le cordon d'alimentation fournis avec ce système uniquement. N'utilisez jamais l'autre adaptateur ou cordon d'alimentation.
- Branchez la prise de courant alternatif et la prise de courant continu de l'adaptateur de courant alternatif en les enfonçant bien.
- Ne branchez/débranchez pas de câble lorsque le système est sous tension. Ceci risque d'endommager le système de communication vidéo.
- Pour des raisons de sécurité, veillez à ne pas raccorder le connecteur 100BASE-TX/10BASE-T à un réseau susceptible d'envoyer une tension excessive.

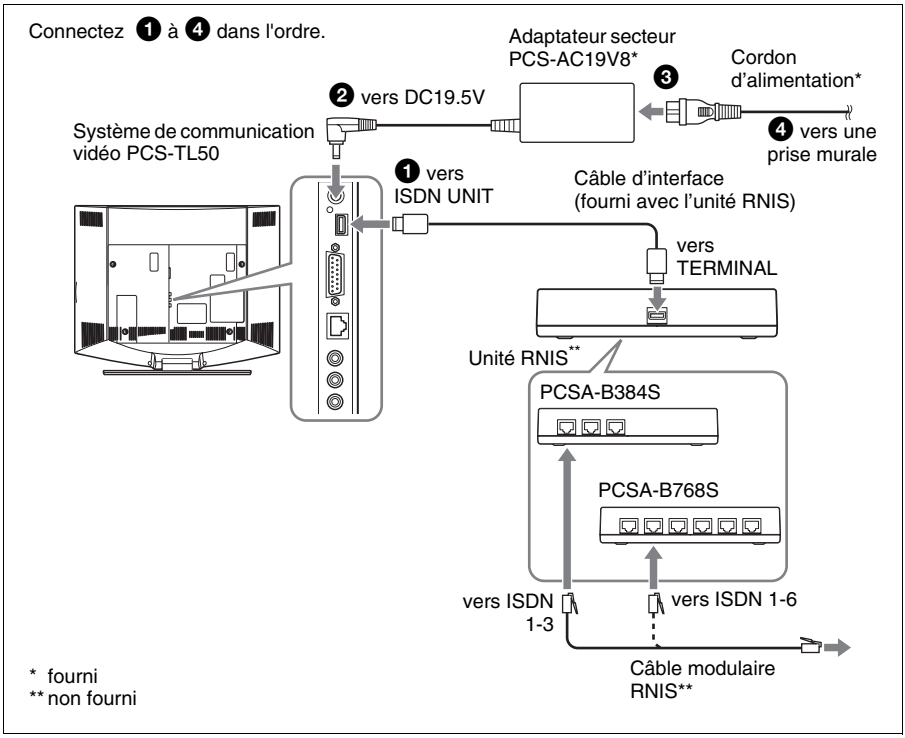
Connexion système via un réseau LAN



Connexion système via un réseau RNIS

Remarques

- Ne branchez/débranchez pas le câble d'interface lorsque le système est sous tension. Vous risquez d'endommager le système de communication vidéo ou l'unité RNIS.
- Lorsqu'il est utilisé pour la première fois avec l'unité RNIS, le système de communication vidéo peut automatiquement mettre à jour le logiciel de l'unité RNIS. Lorsque le message de mise à niveau apparaît à l'écran, ne mettez pas le système de communication vidéo hors tension. Risque de provoquer un mauvais fonctionnement du système.



Utilisation comme écran d'ordinateur ou moniteur vidéo

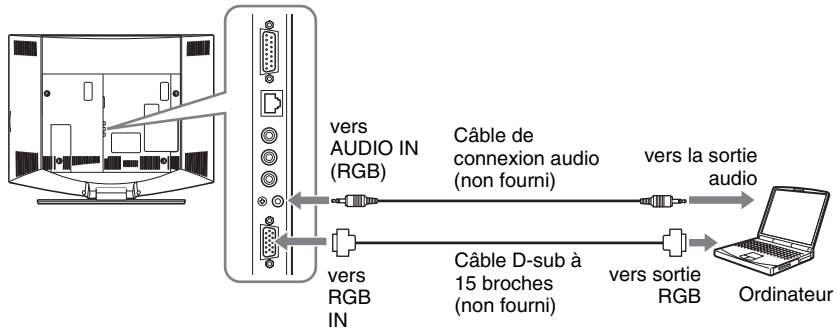
Lorsque vous n'effectuez pas de vidéoconférence, vous pouvez utiliser l'écran du système de communication vidéo en tant qu'écran d'ordinateur ou moniteur vidéo.

Raccordement à un ordinateur

Retirez le capot arrière du système de communication vidéo et connectez un ordinateur.

Pour retirer le capot arrière, reportez-vous à la page 22.

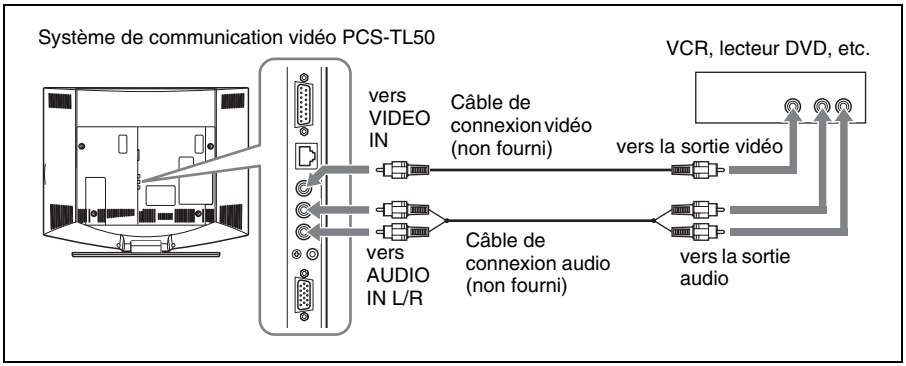
Système de communication vidéo PCS-TL50



Connexion à un équipement vidéo

Retirez le capot arrière du système de communication vidéo et connectez l'équipement vidéo.

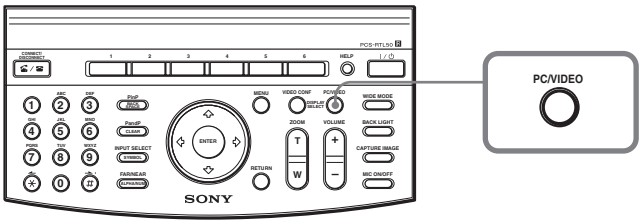
Pour retirer le capot arrière, reportez-vous à la page 22.


Système de communication vidéo PCS-TL50
VCR, lecteur DVD, etc.
vers VIDEO IN
Câble de connexion vidéo (non fourni)
vers la sortie vidéo
vers AUDIO IN L/R
Câble de connexion audio (non fourni)
vers la sortie audio

Affichage de l'image à partir de l'ordinateur ou de l'équipement vidéo

1 Appuyez sur la touche PC/VIDEO de la télécommande pour sélectionner l'entrée.

Chaque fois que vous appuyez sur la touche, l'image de l'ordinateur connecté au connecteur RGB IN de ce système et l'image de l'équipement vidéo connecté à la prise VIDEO IN s'affichent en alternance.



Le son de l'entrée sélectionnée est émis par les haut-parleurs du système de communication vidéo en stéréo (lorsque le câble audio est branché).

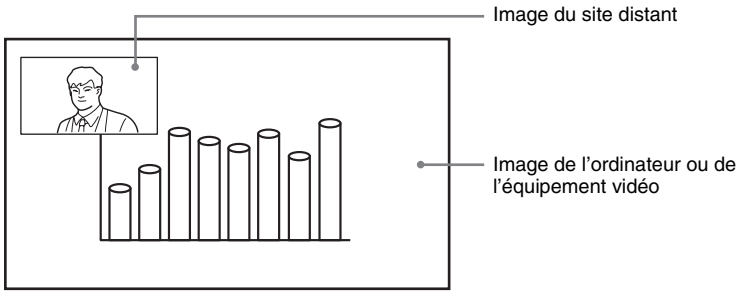
2 Réglez le volume du son en appuyant sur les touches VOLUME +/– de la télécommande.

3 Réglez la qualité image à l'aide des touches MENU, ↑/↓ et OK situées sur le côté droit du système.

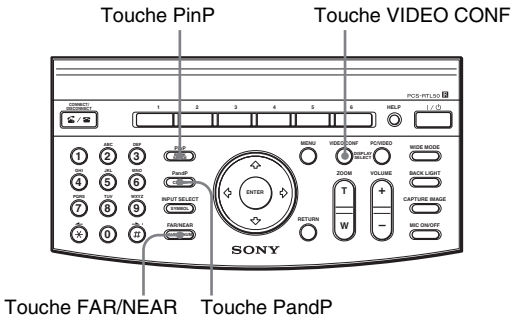
Pour les réglages, reportez-vous à « Réglage de la qualité image » à la page 15.

Pour afficher l’image à partir de l’ordinateur ou de l’équipement vidéo pendant la vidéoconférence

Si vous recevez un appel alors que l’image de l’ordinateur ou de l’équipement vidéo connecté est affichée à l’écran, le système entre automatiquement en mode Image-dans-Image et l’image du correspondant est affichée sous la forme d’une fenêtre.



Vous pouvez modifier le mode d’affichage manuellement à l’aide des touches suivantes.



Pour changer l’emplacement de la fenêtre de la vidéoconférence

Appuyez sur la touche PinP de la télécommande.

Pour afficher l’image de la vidéoconférence uniquement

Appuyez sur la touche VIDEO CONF de la télécommande.
Appuyez de nouveau sur la touche PC/VIDEO pour afficher l’image de l’ordinateur ou de l’équipement vidéo uniquement.

Pour afficher l'image de la vidéoconférence et l'image de l'ordinateur ou de l'équipement vidéo simultanément

Appuyez sur la touche PandP de la télécommande.
L'image de l'ordinateur ou de l'équipement vidéo est affichée à gauche (image principale) et l'image de la vidéoconférence est affichée à droite (image secondaire).

Pour remplacer l'image distante de la vidéoconférence par image locale

Appuyez sur la touche FAR/NEAR de la télécommande et modifiez le paramètre « Plein écran » (« Distante » ou « Locale ») dans le menu Plein écran/Contrôle caméra.

Remarque

Les fonctions Image-dans-Image et Image-et-Image ne sont pas disponibles en dehors d'une communication avec le correspondant.

Spécifications

Système de communication vidéo PCS-TL50

Cet appareil est conforme aux recommandations ITU-T H.320 et H.323.

Images animées

Bande passante de fonctionnement
- 64 Kbps à 1920 Kbps (standard, connexion LAN)
- 56 Kbps à 768 Kbps (si PCSA-B768S est installé, connexion RNIS)
- 56 Kbps à 384 Kbps (si PCSA-B384S est installé, connexion RNIS)

Codage
- H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/Interlaced SIF (recommandation ITU-T)
- MPEG4 Simple Profile (utilisation d'un LAN)

Eléments d'image
- CIF : 352 pixels × 288 lignes
- QCIF : 176 pixels × 144 lignes

Système couleur
- NTSC

Images fixes

Pixels
- 704 pixels × 480 lignes

Codage
- H.261 (recommandation ITU-T) Annexe. D (4CIF)
- H.263 (format spécial de ce système)

Son

Bande passante
- 14 kHz (MPEG4 Audio)
- 7 kHz (G.722/G.722.1 conforme à la recommandation ITU-T)
- 3,4 kHz (G.711/G.723.1/G.728/G.729, conforme à la recommandation ITU-T)

Débit de transfert
- 56 Kbps, 64 Kbps (G.711, recommandation ITU-T)
- 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722, recommandation ITU-T)
- 64 Kbps, 96 Kbps (MPEG4 Audio) (en cas d'utilisation d'un LAN)
- 24 Kbps, 32 Kbps (G0,722.1, recommandation ITU-T) (en cas d'utilisation d'un LAN)
- 16 Kbps (G.728, recommandation ITU-T)
- 8 Kbps (G.729, recommandation ITU-T) (en cas d'utilisation d'un LAN)
- 5,3 Kbps, 6,3 Kbps (G.723.1, recommandation ITU-T) (en cas d'utilisation d'un LAN)

Réseau

Multiplexage
- Vidéo, audio, données

Format d'images
- H.221 (conforme à la recommandation ITU-T)

Interface
- LAN (standard), 64 Kbps à 1920 Kbps
- RNIS (BRI), jusqu'à 6 lignes (en cas d'installation de PCSA-B768S) jusqu'à 3 lignes (en cas d'installation de PCSA-B384S)

Vitesse de transfert des données
- LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps
- MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
- HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

Protocole LAN supporté
- HTTP
- FTP
- Telnet
- RTP/RTCP
- TCP/UDP

Télécommande

Commande de la caméra du correspondant
- H.281 (conforme à la recommandation ITU-T)

Transfert de données
- T.120 (conforme à la recommandation ITU-T)

Caméra

Signal vidéo
- NTSC couleur, normes EIA

Dispositif d'image
- CCD 1/3 pouce (dispositif à coupleur de charge)
- Environ 410 000 pixels (effectifs : environ 380 000 pixels)

Objectif
- f = 4.0 mm, F 2.0, Angle horizontal Approx. 70°

Distance focale
- 500 mm

Eclairement minimum
- 1 lux à F 2,0/50 IRE

Mouvement de panoramique/inclinaison
- Panoramique/inclinaison numérique

Fonction de Balance des blancs automatique intégrée
Fonction d'iris électronique intégrée

Ecran

Taille 20 pouces
Rapport largeur/hauteur 16 : 9
Résolution 1280 × 768
Luminance 400 Cd/m^2 ou plus
Délai de réponse 15 ms ou moins
Rapport de contraste 500 : 1
Angle de prise de vue 160 degrés ou plus
Nombre de couleurs 16 700 000 couleurs

Contrôleur d'écran

PinP 4 coins
PandP Deux fenêtres
Entrée Interne : Communication vidéo
RGB externe : Écran d'ordinateur
Vidéo externe : Entrée de vidéo externe (détection automatique de NTSC/PAL)
Mode de largeur Normal, Zoom, Large, Zoom large
Mode RGB 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, etc.
L'affiche d'une image zoomée est possible.
Réglages du volume Fixe pour le système de communication vidéo
Réglable par l'amplificateur sur la carte du circuit d'affichage
Réglages OSD Luminosité, teinte, décalage, largeur, hauteur, etc.

Haut-parleur

Haut-parleur 3 W × 2

Microphone

Plage de fréquence 15 kHz
Propriétés directives Directionnel, angle étroit

Caractéristiques générales

Alimentation 19,5 V
Consommation 7,7 A
Température d'utilisation 5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement 20% à 80%
Température de stockage -20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage 20% à 80% (sans condensation)
Dimensions 528 × 445 × 110 mm (l/h/p) (20 7/8 × 17 5/8 × 4 3/8 pouces) (support non compris)
528 × 445 × 265 mm (l/h/p) (20 7/8 × 17 5/8 × 10 1/2 pouces) (support non compris)
Poids 10 kg (22 lb 7 oz) environ
Accessoires fournis Télécommande PCS-RTL50 (1)
Piles AA (R6) pour la télécommande (2)
Adaptateur secteur PCS-AC19V8 (1)
Cordon d'alimentation (1)
CD-ROM (1)
Guide d'utilisation (1)
Guide de connexion rapide/Guide de la télécommande (1)
Certificat de garantie (1)

Télécommande PCS-RTL50

Format du signal SIRCS infrarouge
Commande Courant continu 3 V avec deux piles AA (R6)
Dimensions 168 × 19 × 88 mm (l/h/p) (6 5/8 × 3/4 × 3 1/2 pouces) (parties en saillie non comprises)
Poids 180 g (6 oz) environ (piles comprises)

Adaptateur PCS-AC19V8

Alimentation 100 à 240V CA, 50/60 Hz, 2,2 A à 1,0 A
Sortie 19,5 V, 7,7 A
Température d'utilisation 5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement 20% à 80%
Température de stockage -20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage 20% à 80% (sans condensation)
Dimensions 81 × 49 × 165 mm (l/h/p) (3 1/4 × 1 15/16 × 6 1/2 pouces)
Poids 800 g (1 lb 12 oz) environ

Microphone PCS-A1 (en option)

Bande passante
13 kHz
Propriétés directives
Omnidirectionnel
Dimensions 74 × 16 × 93 mm (l/h/p)
(3 × 21/32 × 3 3/4 pouces)
Poids 170 g (6 oz) environ
Alimentation Auto-alimentation

Microphone PCS-A300 (en option)

Bande passante
13 kHz
Propriétés directives
Unidirectionnel
Dimension 68 × 16 × 96 mm (l/h/p)
(2 3/4 × 21/32 × 3 7/8 pouces)
Poids 200 g (7 oz) environ
Alimentation Auto-alimentation

Unité RNIS PCSA-B384S/PCS-B384 (en option)

Alimentation
19,5 V
Consommation
0,3 A
Température d'utilisation
5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement
20% à 80%
Température de stockage
-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage
20% à 80% (sans condensation)
Dimensions PCSA-B384S :
165 × 34 × 127 mm (l/h/p)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pouces) (parties en saillie non comprises)
PCS-B384 :
165 × 34 × 127 mm (l/h/p)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pouces) (parties en saillie non comprises)
Masse PCSA-B384S : Environ 400 g (14 oz)
PCS-B384 : Environ 400 g (14 oz)
Accessoires fournis
Câble d'interface (5 m, 16,4 pieds) (1)
Mode d'emploi (1)
Certificat de garantie (1)

Unité RNIS PCSA-B768S/PCS-B768 (en option)

Alimentation
19,5 V
Consommation
0,5 A
Température d'utilisation
5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement
20% à 80%
Température de stockage
-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage
20% à 80% (sans condensation)
Dimensions PCSA-B768S :
165 × 34 × 127 mm (l/h/p)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pouces) (parties en saillie non comprises)
PCS-B768 :
165 × 34 × 127 mm (l/h/p)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pouces) (parties en saillie non comprises)
Masse PCSA-B768S : Environ 400 g (14 oz)
PCS-B768 : Environ 400 g (14 oz)
Accessoires fournis
Câble d'interface (5 m, 16,4 pieds) (1)
Mode d'emploi (1)
Certificat de garantie (1)

Unité de solution de données PCSA-DSB1S/PCS-DSB1 (en option)

Alimentation
19,5 V
Consommation
1,0 A
Température d'utilisation
5°C à 35°C (41°F à 94°F)
Humidité de fonctionnement
20% à 80%
Température de stockage
-20°C à +60°C (-4°F à +140°F)
Humidité de stockage
20% à 80% (sans condensation)

Dimensions PCSA-DSB1S :
240 × 37 × 180 mm (l/h/p)
(9 1/2 × 1 1/2 × 7 1/8 pouces)
(parties en saillie non comprises)
PCS-DSB1 :
240 × 33 × 160 mm (l/h/p)
(9 1/2 × 1 5/16 × 6 3/8 pouces)
(parties en saillie non comprises)
Masse PCSA-DSB1S : Environ 1,1 kg (2 lb 7 oz)
PCS-DSB1 : Environ 850 g (1 il 14 oz)
Accessoires fournis
Câble d'interface (8 m, 26,2 pieds) (1)
Mode d'emploi (1)
Certificat de garantie (1)

Logiciel MCU PCS-320M1 H.320 (en option)

Dimensions 50 × 2,8 × 21,5 mm (l/h/p)
(2 × 1/8 × 7/8 pouces)
Poids 4 g (0,1 oz) environ
Accessoires fournis
Etiquette de numéro de série (1)
Mode d'emploi (1)

Logiciel MCU PCS-323M1 H.323 (en option)

Dimensions 50 × 2,8 × 21,5 mm (l/h/p)
(2 × 1/8 × 7/8 pouces)
Poids 4 g (0,1 oz) environ
Accessoires fournis
Etiquette de numéro de série (1)
Mode d'emploi (1)

Type et caractéristiques sont susceptibles d'être modifiés sans préavis.

VORSICHT

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlages zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden.
Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur einem Fachmann.

VORSICHT

Fügen Sie beim Einbau des Geräts einen leicht zugänglichen Schalter in die starre Verkabelung ein oder verbinden Sie das Netzkabel mit einer leicht zugänglichen Steckdose in der Nähe des Geräts.
Tritt beim Betrieb des Geräts ein Fehler auf, betätigen Sie den Schalter, um das Gerät auszuschalten oder ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.

WARNHINWEIS zum Anschluss LAN

Schließen Sie aus Sicherheitsgründen an den Anschluss LAN keine Netzwerkgeräte an, die hohe Spannungen führen könnten.

Einsetzen der Batterien

Zwei R6-Batterien der Größe AA sind im Lieferumfang der Fernbedienung enthalten. Verwenden Sie zur Vermeidung von Explosionsgefahr stets R6-Alkali-Mangan-Batterien der Größe AA.

WARNUNG

WERDEN DIE BATTERIEN DURCH EINEN INKORREKTEN BATTERIETYP ERSETZT, BESTEHT EXPLOSIONSGEFAHR.
BEACHTEN SIE BEI DER ENTSORGUNG VERBRAUCHTER BATTERIEN DIE GELTENDEN BESTIMMUNGEN.

Diese Anleitung behandelt hauptsächlich die Durchführung einer Videokonferenz über ISDN-Leitungen; sie enthält jedoch auch Anweisungen für Videokonferenzen über andere Leitungen. Für zusätzliche Informationen zu den ISDN-Leitungen wenden Sie sich an Ihren Sony Händler.
- In einigen Gebieten stehen keine ISDN-Leitungen zur Verfügung.

Für Kunden in Europa

Warnung

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür anfzukommen.

Für Kunden in Deutschland

Dieses Gerät ist nur für den Gebrauch in Gewerbe und Leichtindustrie bestimmt. Sollten Funkstörungen auftreten, wenden Sie sich bitte an den nächsten autorisierten Sony-Kundendienst.

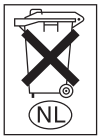
Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.
De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



Wenn Sie das Gerät entsorgen wollen, wenden Sie sich bitte an das nächste Sony-Kundendienstzentrum. Der eingebaute Akku muss als chemischer Sondermüll entsorgt werden.

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z. B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Sicherheitsmaßnahmen

Betriebs- oder Lagerort

Folgende Bedingungen sind für den Betrieb oder die Lagerung des Systems nicht geeignet.

- Extreme Hitze oder Kälte
- Feuchtigkeit und Staub
- Starke Erschütterungen
- Nähe zu starken Magnetquellen
- Nähe zu starken elektromagnetischen Strahlungsquellen, wie Radio- oder Fernsehsendemasten
- Hohe Lärmbelastung

LCD-Bildschirm

- Der LCD-Bildschirm darf keiner direkten Sonneneinstrahlung ausgesetzt werden. Dies kann zu einer Beschädigung der Bildschirmoberfläche führen.
- Der LCD-Bildschirm darf nicht eingedrückt, zerkratzt oder als Stellplatz für Objekte verwendet werden. Dadurch kann die Bilddarstellung verzerrt oder die LCD-Anzeige beschädigt werden.
- Bei einer Lagerung des Systems unter kalten Bedingungen können Schmier- oder Verdunklungseffekte in der Bildanzeige auftreten. Dies deutet jedoch nicht auf ein Ausfall hin. Diese Phänomene verschwinden wieder, sobald die Außentemperatur steigt.
- Wenn Bilder für längere Zeit angezeigt werden, kann ein Restbild dargestellt werden. Dieses Phänomen verschwindet nach einer Weile wieder.
- Bildschirm und Gehäuse erwärmen sich während des Betriebs. Dies ist keine Fehlfunktion.

LCD-Anzeige

- Obgleich die LCD-Anzeige unter Einsatz von Hochpräzisionstechnologie gefertigt wurde, können konstante schwarze oder helle (rote, blaue oder grüne) Lichtpunkte auf dem LCD-Bildschirm erscheinen. Außerdem können bei der Betrachtung aus einem bestimmten Winkel Farbstreifen und unregelmäßige Helligkeit auf dem Bildschirm auftreten. Dies ist eine spezifische Eigenschaft von LCD-Anzeigen und keine Fehlfunktion.

Integrierte Lautsprecher

Lautsprecher erzeugen Magnetfelder. Zur Vermeidung von Datenschäden sollten Magnetbänder und Datenträger nicht in der Nähe von Lautsprechern aufbewahrt werden.

Reinigung

- Ziehen Sie das Netzkabel vor dem Reinigen aus der Steckdose.
- Die Oberfläche des LCD-Bildschirms wurde mit einer Spezialbeschichtung behandelt. Wischen Sie die Bildschirmoberfläche zum Entstauben vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch ab.
- Verwenden Sie keine flüchtigen Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner, da diese u. U. die Oberflächenbeschichtung beschädigen.
- Beachten Sie bei der Verwendung von chemischen Reinigungsmitteln die mit dem Reinigungsmittel gelieferten Anweisungen.
- Auch die Anwendung von flüchtigen Lösungsmitteln wie Insektiziden oder die längerfristige Befestigung von Gummi- oder Kunststoffobjekten am Bildschirm kann die Oberflächenbeschichtung beschädigen.

Inhaltsverzeichnis

Wenn Sie das System zum ersten Mal benutzen 6

Einschalten des Systems 7

Fernteilnehmer für „One Touch“-Anwahl registrieren 8

Anrufen eines Fernteilnehmers mit „One Touch“-Anwahl 12

Anrufen eines Fernteilnehmers, der nicht für „One Touch“-Anwahl registriert ist 13

Einstellen von Bild und Ton 15

- Einstellen von Zoom und Kamerawinkel 15
- Einstellen der Lautstärke 16
- Einstellen der Bildqualität 16

Beenden der Konferenz 18

- Trennen der Verbindung 18

Aufrufen der Hilfe 19

Systemanschlüsse 20

- Verwenden der Anschlüsse 20
- Hinweise zu Anschlüssen 21
- Systemanschluss über ein LAN 21
- Systemanschluss über ISDN 22

Verwendung als Computerbildschirm oder Videomonitor 23

- Anschließen an einen Computer 23
- Anschließen an ein Videogerät 24
- Anzeigen des Bilds vom Computer oder Videogerät 24

Technische Daten 27

Eine Bedienungsanleitung mit ausführlicheren Informationen zu diesem System befindet sich auf der mitgelieferten CD-ROM. Bitte lesen Sie neben der Kurzanleitung auch die Bedienungsanleitung.

Wenn Sie das System zum ersten Mal benutzen

Diese Kurzanleitung beschreibt die Gundbedienung für eine Punkt-zu-Punkt-Videokonferenz mit dem PCS-TL50 Videokommunikationssystem. Sie lernen alle Schritte, die zur Durchführung einer täglichen Videokonferenz erforderlich sind. Genauere Bedienungsanweisungen und verschiedene, für Konferenzen erforderliche Einstellungen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.

Informationen zur Bedienungsanleitung

Die Bedienungsanleitung für das System ist im PDF-Format auf der mitgelieferten CD-ROM gespeichert. Sie werden aufgefordert, sie mit Adobe® Acrobat®* Reader 5.0 (E) oder Adobe Reader 6.0 (E) zu lesen. Falls Adobe Reader nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die aktuelle Version von den nachfolgend angegebenen Websites herunterladen.

Bedienungsanleitung lesen

1 Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM mit dem Titel „Handbücher für das Videokommunikationssystem“ in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein.

Nach einer kurzen Zeit werden in einem Fenster die Dateien auf der CD-ROM angezeigt.

2 Doppelklicken Sie auf die PDF-Datei mit dem Namen „Deutsch“.

Adobe Reader startet und zeigt die Titelseite der Bedienungsanleitung an.

Klicken Sie auf einen Eintrag im Inhaltsverzeichnis, um zur entsprechenden Seite zu springen.

Adobe Reader 6.0 (E) installieren

Um Adobe Reader 6.0 (E) auf Ihrem Computer zu installieren, benötigen Sie folgende Hardware und Software:

- Computer mit einem Intel® Pentium® Prozessor oder einem zu 100 % kompatiblen Prozessor
- Microsoft® Windows®** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5, oder Windows 2000 und höher
- 64 MB oder mehr RAM
- 70 MB oder mehr verfügbaren Speicherplatz auf der Festplatte

Die aktuelle Version von Adobe Reader können Sie kostenlos von den folgenden Websites herunterladen:

Nordamerikanische Version:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html
Europäische Version:
http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html
Japanische Version:
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

* Adobe und Acrobat sind Warenzeichen von Adobe Systems, Incorporated.

** Windows und Windows NT sind eingetragene Warenzeichen der U.S. Microsoft Corporation in den USA und in anderen Ländern.

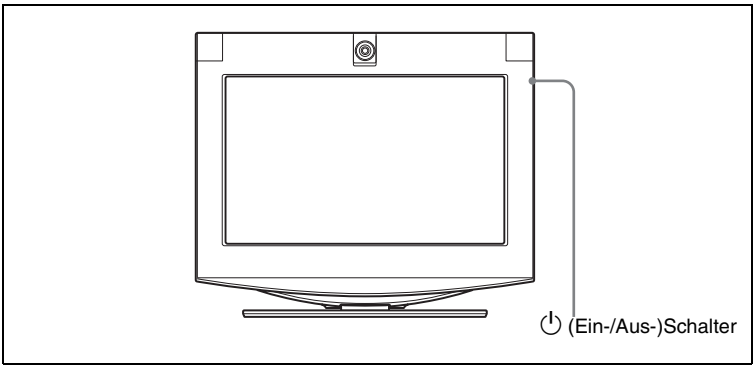
Einschalten des Systems

Stellen Sie vor dem Einschalten des Systems sicher, dass die Anschlüsse des Systems korrekt durchgeführt wurden.

Siehe „Systemanschlüsse“ auf Seite 20 für weitere Hinweise zum Anschließen des Systems.

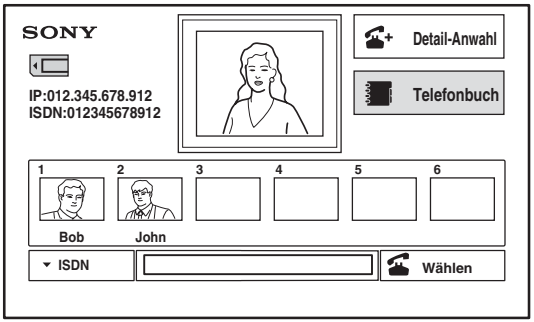
1 Schalten Sie die anderen für die Videokonferenz verwendeten Geräte ein.

2 Drücken Sie den (Ein-/Aus-)Schalter ⏻ rechts am System.
Die Anzeige des Schalters leuchtet grün und das System ist nun eingeschaltet.



3 Überprüfen Sie, ob der Verschluss der Kamera geöffnet ist.
Falls er geschlossen ist, öffnen Sie ihn, indem Sie die Verschlusstaste oben am System zur Seite schieben.

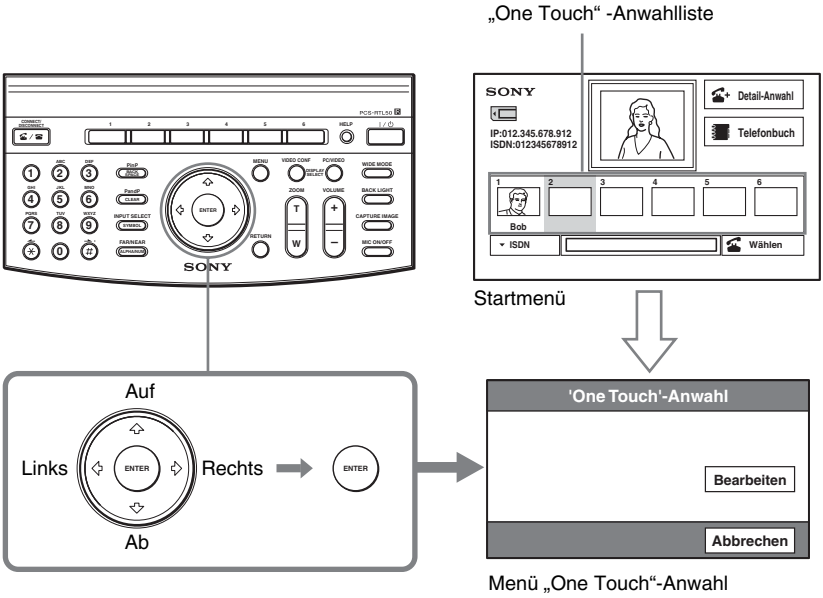
4 Drücken Sie die Taste VIDEO CONF auf der Fernbedienung, um das Menü „Start“ aufzurufen.



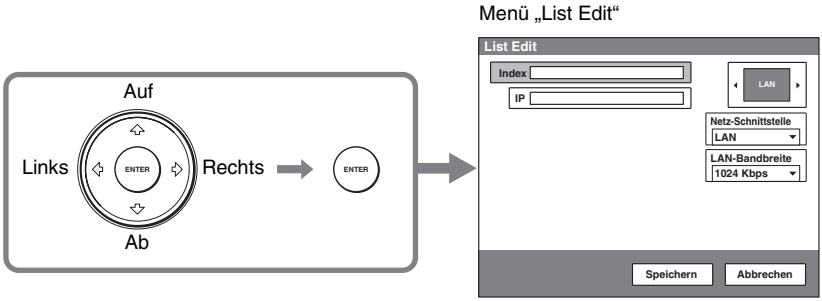
Fernteilnehmer für „One Touch“-Anwahl registrieren

Sie können in der „One Touch“-Anwahlliste des Startmenüs Fernteilnehmer registrieren, um sie danach einfach durch Drücken der „One Touch“-Anwahltasten auf der Fernbedienung anwählen zu können.
In diesem Abschnitt wird beschrieben, wie Sie im Startmenü Fernteilnehmer für die „One Touch“-Anwahl registrieren.

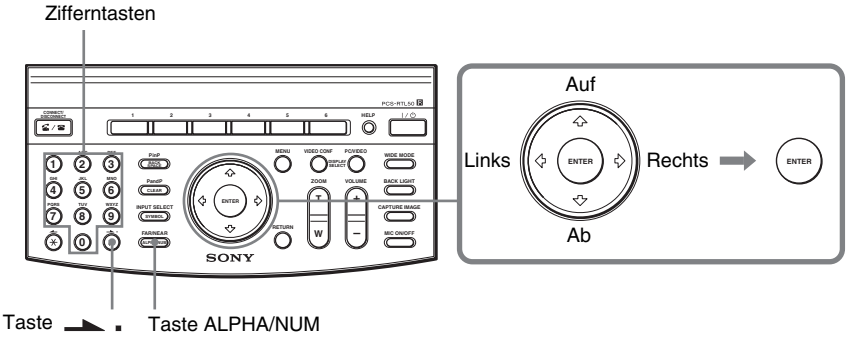
1 Wählen Sie mit den Tasten ↑, ↓, ← oder → auf der Fernbedienung die Option „One Touch“-Anwahl, um einen Fernteilnehmer zu registrieren, und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Das Menü „One Touch“-Anwahl wird geöffnet.



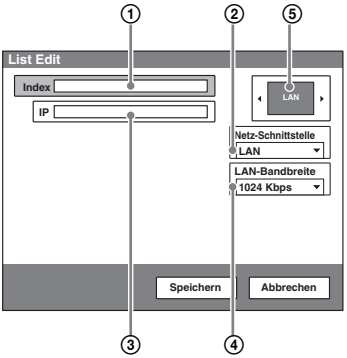
2 Wählen Sie mit der Taste ↑, ↓, ← oder → auf der Fernbedienung „Bearbeiten“ und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Das Menü „List Edit“ wird angezeigt.



3 Einstellungen für „One Touch“-Anwahl vornehmen.
Wählen Sie mit der Taste ↑, ↓, ← oder → die gewünschte Einstelloption aus und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Sie können die Ziffern mit den Zifferntasten und der Taste . (Punkt) eingeben. Drücken Sie die Taste ALPHA/NUM (Buchstaben/Ziffern), um den Eingabemodus der Zifferntasten zu wählen.



Wenn die Verbindung zu einem Fernteilnehmer über LAN erfolgt



① Geben Sie den Namen des Fernteilnehmers ein.

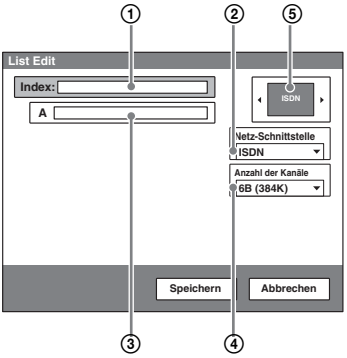
② Wählen Sie „Line I/F“ und dann „LAN“ im angezeigten Untermenü.

③ Wählen Sie das Textfeld „IP“ und geben Sie dann mit den Zifferntasten und der Taste . (Punkt) auf der Fernbedienung die IP-Adresse ein.

④ Wählen Sie „LAN-Bandbreite“ und wählen Sie dann die verwendete Bandbreite.

⑤ Wählen Sie ein Standbild für die Anzeige in der „One Touch“-Anwahlliste.

Wenn die Verbindung zu einem Fernteilnehmer über ISDN erfolgt



① Geben Sie den Namen des Fernteilnehmers ein.

② Wählen Sie „Line I/F“ und dann „ISDN“ im angezeigten Untermenü.

③ Wählen Sie das Textfeld „Telefonnummer“ und geben Sie dann mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung die Telefonnummer des Fernteilnehmers ein.

④ Wählen Sie „Anzahl der Kanäle“ und wählen Sie dann die Anzahl der Kanäle, die beim Anwählen des Fernteilnehmers genutzt werden sollen.

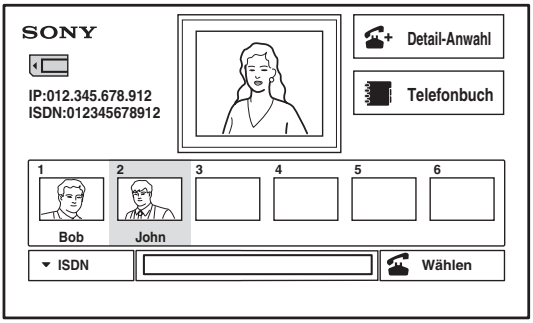
⑤ Wählen Sie ein Standbild für die Anzeige in der „One Touch“-Anwahlliste.

4 Wählen Sie mit der Taste ↑, ↓, ← oder → auf der Fernbedienung die Option „Speichern“ und drücken Sie dann die Taste ENTER.

Das Menü „Telefonbuch“ wird angezeigt.

Die vorgenommenen Einstellungen werden gleichzeitig im Telefonbuch und in der „One Touch“-Anwahlliste des Startmenüs gespeichert.

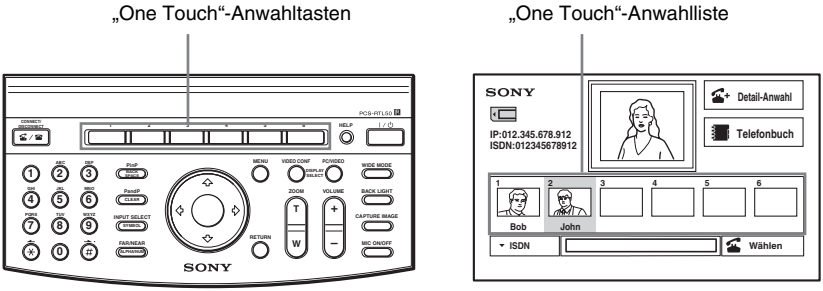
Menü „Start“



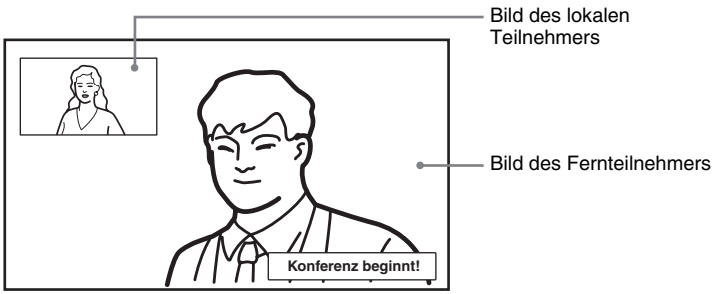
Anrufen eines Fernteilnehmers mit „One Touch“-Anwahl

Wenn der Fernteilnehmer in der „One Touch“-Anwahlliste registriert wurde, können Sie ihn über die Funktion „One Touch“-Anwahl anrufen.

1 Drücken Sie eine der „One Touch“-Anwahltasten 1 bis 6, unter der der Fernteilnehmer registriert wurde.



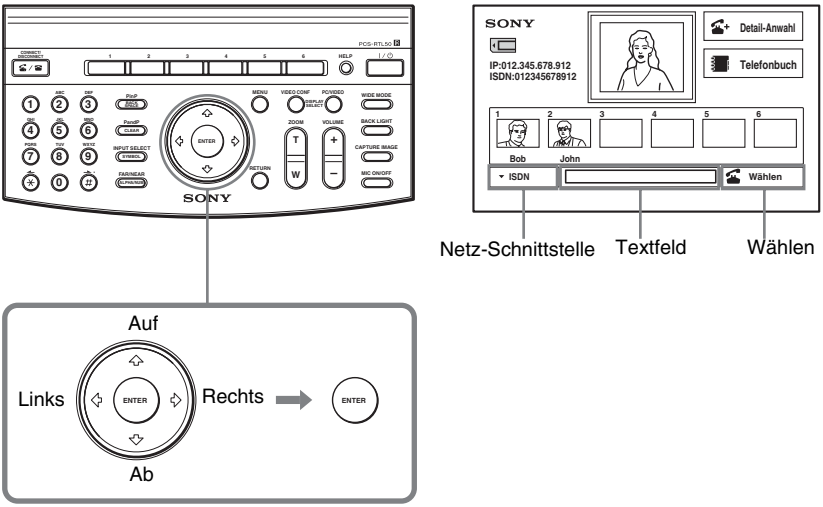
Das System wählt den gewünschten Fernteilnehmer an. „Anwahl (LAN)“ oder „Anwahl (ISDN)“ erscheint auf der Anzeige.
Wenn das System mit dem entfernten System verbunden ist, erscheint die Meldung „Konferenz beginnt!“ in der Anzeige.
Nun kann die Videokonferenz beginnen.



Anrufen eines Fernteilnehmers, der nicht für „One Touch“-Anwahl registriert ist

1 Wählen Sie die Netz-Schnittstelle aus der Dropdown-Liste unten im Startmenü.

Wählen Sie mit der Taste ↑, ↓, ← oder → die Schaltfläche „Netz-Schnittstelle“ unten im Startmenü. Drücken Sie dann die Taste ENTER, um die Dropdown-Liste aufzurufen. Wählen Sie die Netz-Schnittstelle mit der Taste ↑ oder ↓ und drücken Sie dann die Taste ENTER.



LAN: Verbindung zum Videokonferenzsystem eines Fernteilnehmers über LAN.

Telefon: Verbindung zum ISDN Telefon eines Fernteilnehmers zum Halten einer Telefonkonferenz über die ISDN-Leitung.

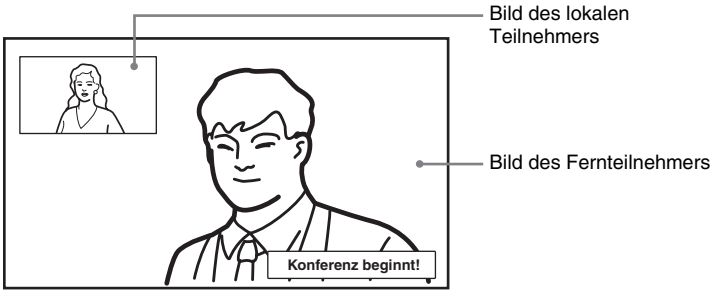
ISDN: Verbindung zum Videokonferenzsystem eines Fernteilnehmers über ISDN.

2 Geben Sie die IP-Adresse (für LAN) oder die ISDN-Telefonnummer (für ISDN oder Telefon) des Fernteilnehmers in dem Textfeld ein.

Wählen Sie mit der Taste ↑, ↓, ← oder → auf der Fernbedienung das Textfeld aus und drücken Sie dann die Taste ENTER. Geben Sie die Ziffern mit Hilfe der Zifferntasten auf der Fernbedienung ein.

3 Wählen Sie mit der Taste ↑, ↓, ← oder → auf der Fernbedienung „Wählen“ aus und drücken Sie dann die Taste ENTER. Sie können auch die Taste CONNECT/DISCONNECT (/) auf der Fernbedienung drücken.

Das System wählt nun die in Schritt 2 eingegebene IP-Adresse oder ISDN-Telefonnummer. „Anwahl (LAN)“ oder „Anwahl (ISDN)“ wird angezeigt. Wenn das System mit dem entfernten System verbunden ist, erscheint die Meldung „Konferenz beginnt!“ in der Anzeige.
Nun kann die Videokonferenz beginnen.

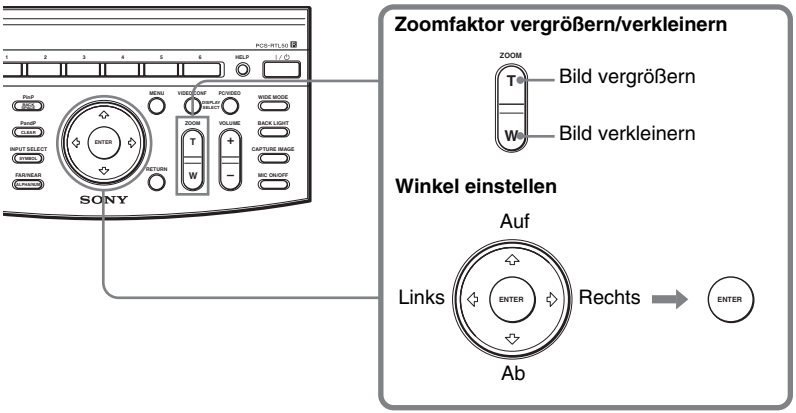


Einstellen von Bild und Ton

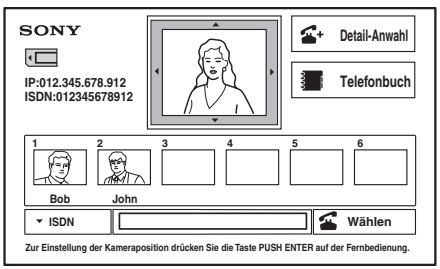
Einstellen von Zoom und Kamerawinkel

Einstellung, wenn keine Kommunikation stattfindet

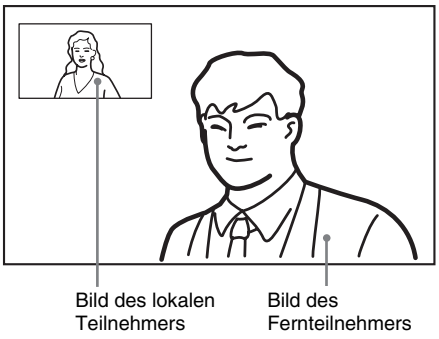
Drücken Sie die Taste ↑, ↓, ← oder → auf der Fernbedienung, um das Bild im Menü „Start“ zu wählen drücken Sie dann die Taste ENTER.
Drücken Sie die Taste ZOOM T/W, um den Zoomfaktor zu vergrößern oder zu verkleinern und die Taste ↑, ↓, ← oder →, um den Kamerawinkel einzustellen.
Drücken Sie nach der Einstellung die Taste ENTER.



Wenn keine Kommunikation stattfindet



Während der Kommunikation



Einstellung während der Kommunikation

Sie können den Zoomfaktor und den Winkel des Bilds am eigenen Ort mit den Tasten ZOOM T/W und ↑/↓/←/→ auf der Fernbedienung einstellen.
Angaben zum Einstellen des Zoomfaktors und des Kamerawinkels am entfernten Ort finden Sie in der Bedienungsanleitung.

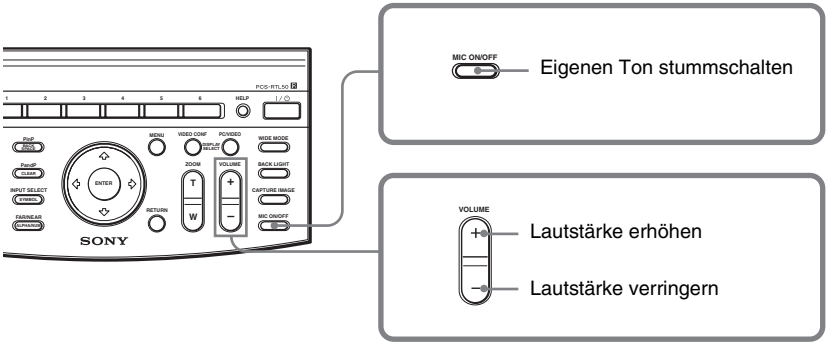
Einstellen der Lautstärke

Einstellen der Lautstärke des vom Fernteilnehmer empfangenen Tons

Drücken Sie die Taste VOLUME +/– auf der Fernbedienung.

Stummschalten des vom eigenen Teilnehmer an den Fernteilnehmer übertragenen Tons

Drücken Sie die Taste MIC ON/OFF auf der Fernbedienung.
Die Anzeige „MIC OFF“ wird auf dem Bildschirm angezeigt. Um die Übertragung wieder einzuschalten, drücken Sie die Taste MIC ON/OFF erneut.

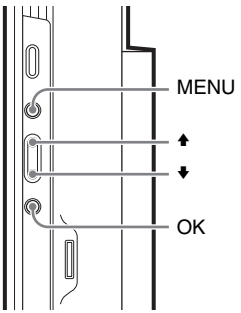


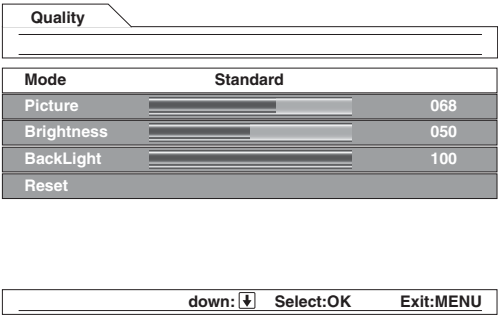
Einstellen der Bildqualität

Sie können die Bildqualität der Anzeige über die Tasten MENU, ↑/↓ und OK an der rechten Seite des Videokommunikationssystems einstellen.

1 Drücken Sie die Taste MENU auf der rechten Seite des Systems.
Das Menü „Bildqualität“ erscheint.

Rechte Seite





2 Drücken Sie die Taste ↑ oder ↓, um die Einstelloption zu wählen und drücken Sie dann die Taste OK.

Das Einstellungsmenü für die ausgewählte Option erscheint.

3 Zum Einstellen der Bildqualität drücken Sie die Taste ↑ oder ↓ an der rechten Seite des Systems und drücken Sie dann die Taste OK.

4 Drücken Sie die Taste MENU, um das Menü zu verlassen.

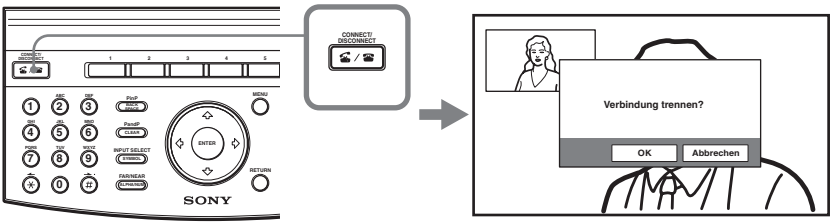
So stellen Sie die standardmäßig vorgegebene Bildqualität wieder ein

Wählen Sie „Reset“, die unterste Einstelloption, und drücken Sie dann die Taste OK.

Beenden der Konferenz

Trennen der Verbindung

1 Drücken Sie die Taste CONNECT/DISCONNECT (/) auf der Fernbedienung.
Auf dem Bildschirm wird „Verbindung trennen?“ angezeigt.



2 Wählen Sie mit der Taste ← oder → auf der Fernbedienung „OK“ und drücken Sie dann die Taste ENTER oder drücken Sie erneut die Taste CONNECT/DISCONNECT (/).
Die Verbindung wird getrennt und es wird wieder das Menü „Start“ angezeigt.

Aufrufen des Standby-Modus

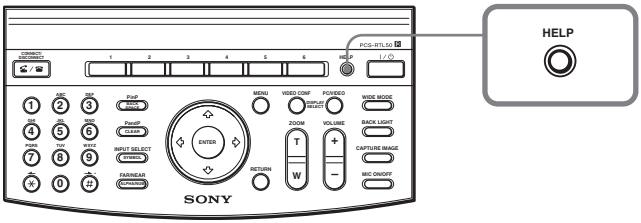
Drücken Sie die Taste I/⏻ auf der Fernbedienung. Es erscheint die Meldung „Anzeige ausschalten und in den Bereitschaftsmodus schalten?“ Drücken Sie zur Wahl von OK die Tasten ← oder → und drücken Sie anschließend die Taste ENTER.
Im Standby-Modus können Sie Anrufe von Fernteilnehmern entgegennehmen.

Ausschalten des Geräts

Drücken Sie zum Ausschalten die Taste ⏻ (Ein-/Aus-Schalter) auf der rechten Seite des Geräts länger als eine Sekunde und schalten Sie alle anderen für die Videokonferenz verwendeten Geräte aus.

Aufrufen der Hilfe

Drücken Sie die Taste HELP auf der Fernbedienung, um eine Sprechblasenhilfe oder einen Hilfebildschirm für die meisten Funktionen auf dem Display aufzurufen.



Drücken Sie die Taste HELP erneut, um die Hilfe auszublenden.

Systemanschlüsse

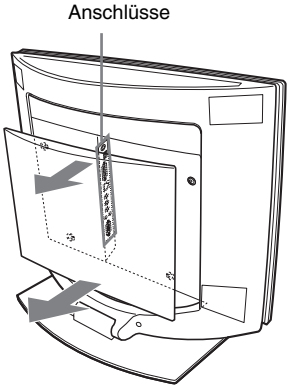
In diesem Abschnitt werden die typischen Systemanschlüsse beschrieben.

Verwenden der Anschlüsse

Die Anschlüsse befinden sich unter der hinteren Abdeckung.
Für Anschlussarbeiten nehmen Sie die hintere Abdeckung ab, schließen Sie die Kabel an, und bringen Sie die hintere Abdeckung wieder an.

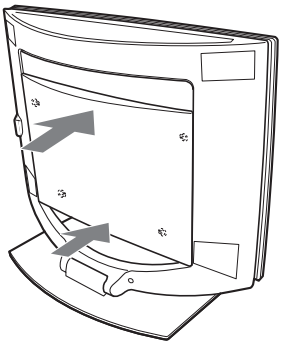
Hintere Abdeckung abnehmen

Ziehen Sie die Abdeckung wie gezeigt ab.



Hintere Abdeckung anbringen

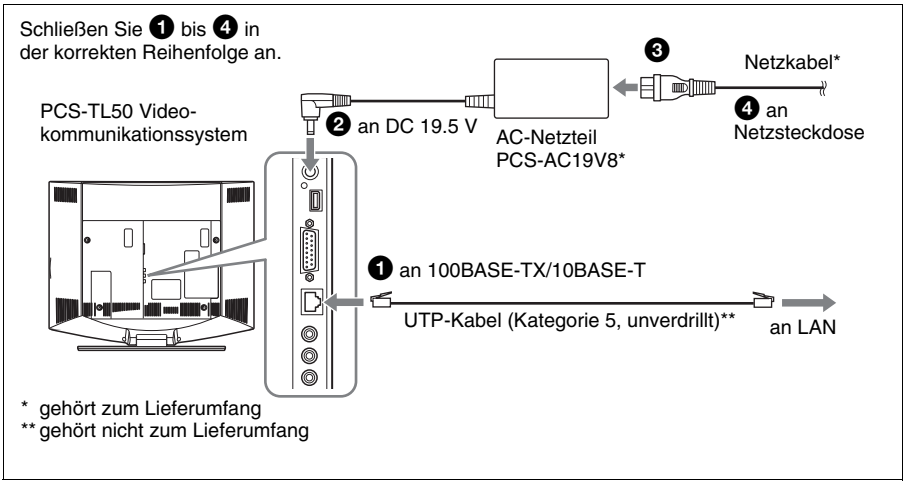
Halten Sie die Abdeckung so, dass die vier Nasen der Abdeckung mit den entsprechenden Öffnungen des Geräts fluchten, und drücken Sie die Abdeckung an.



Hinweise zu Anschlüssen

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie Verbindungen herstellen.
- Verwenden Sie ausschließlich das mitgelieferte Netzteil und das mitgelieferte Netzkabel. Verwenden Sie niemals ein anderes Netzteil oder ein anderes Netzkabel.
- Stecken Sie Gleichstromstecker und Wechselstromstecker des Netzteils bis zur vollständigen Anlage hinein.
- Schließen Sie ein Kabel nur an bzw. trennen Sie es nur, wenn das Gerät ausgeschaltet ist. Andernfalls könnte das Videokommunikationssystem beschädigt werden.
- Verwenden Sie den Anschluss 100BASE-TX/10BASE-T aus Sicherheitsgründen nicht in einem Netzwerk, in dem der Anschluss 100BASE-TX/10BASE-T Überspannung ausgesetzt ist.

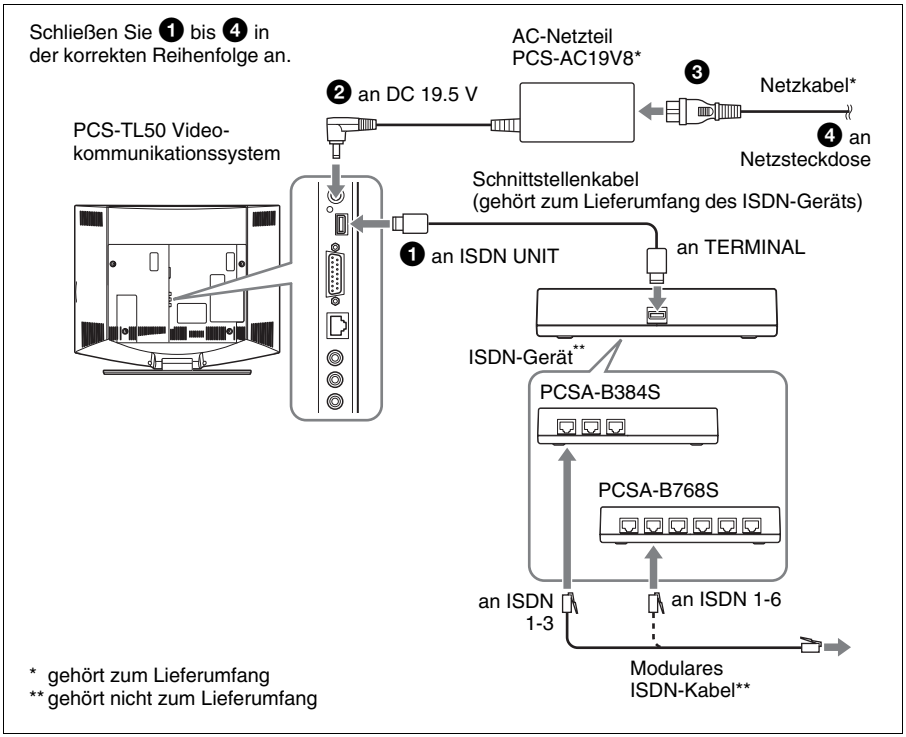
Systemanschluss über ein LAN



Systemanschluss über ISDN

Hinweise

- Schließen Sie das Schnittstellenkabel nur an bzw. trennen Sie es nur, wenn das Gerät ausgeschaltet ist. Andernfalls könnte dies zu Schäden am Videokommunikationssystem oder am ISDN-Gerät führen.
- Bei der ersten Verwendung des ISDN-Geräts aktualisiert das Videokommunikationssystem möglicherweise automatisch die Software des ISDN-Geräts. Während die Aktualisierungsmeldung auf dem Bildschirm angezeigt wird, sicherstellen, dass das Videokommunikationssystem nicht ausgeschaltet wird. Andernfalls kann dies zu einer Fehlfunktion des Systems führen.



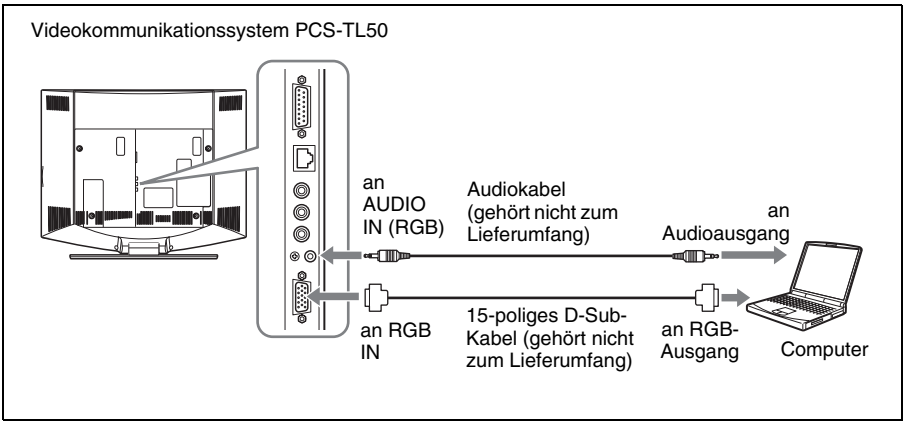
Verwendung als Computerbildschirm oder Videomonitor

Wenn Sie keine Videokonferenz abhalten, können Sie die Anzeige des Videokommunikationssystems als Computerbildschirm oder Videomonitor verwenden.

Anschließen an einen Computer

Entfernen Sie die hintere Abdeckung des Videokommunikationssystems und schließen Sie einen Computer an.

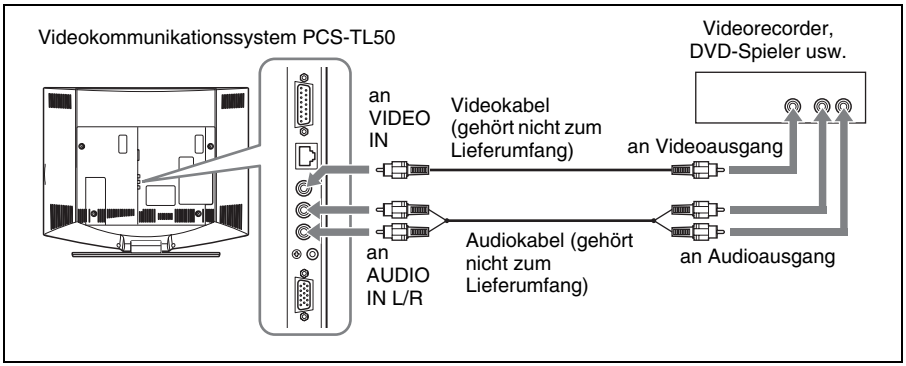
Zum Entfernen der hinteren Abdeckung siehe Seite 20.



Anschließen an ein Videogerät

Entfernen Sie die hintere Abdeckung des Videokommunikationssystems und schließen Sie ein Videogerät an.

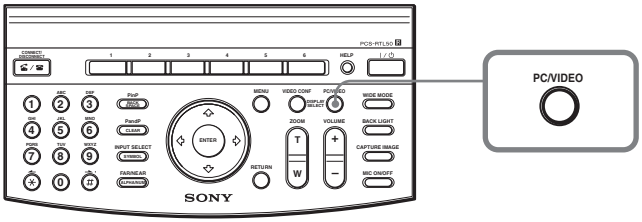
Zum Entfernen der hinteren Abdeckung siehe Seite 20.



Anzeigen des Bilds vom Computer oder Videogerät

1 Drücken Sie die Taste PC/VIDEO auf der Fernbedienung, um den Eingang zu wählen.

Bei jedem Tastendruck wechselt die Anzeige zwischen dem Bild des am Anschluss RGB IN dieses Systems angeschlossenen Computers und dem Bild des am Anschluss VIDEO IN angeschlossenen Videogeräts hin und her.



Der Ton vom gewählten Eingang wird über die Lautsprecher des Videokommunikationssystems in Stereo ausgegeben (wenn das Audiokabel angeschlossen ist).

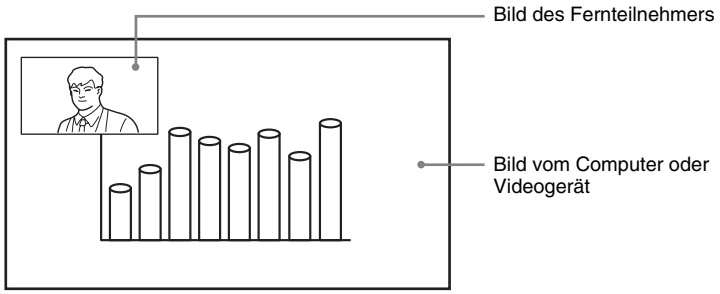
2 Stellen Sie die Lautstärke durch Drücken der Tasten VOLUME +/– auf der Fernbedienung ein.

3 Stellen Sie die Bildqualität mit den Tasten MENU, ↑/↓ und OK auf der rechten Seite des Systems ein.

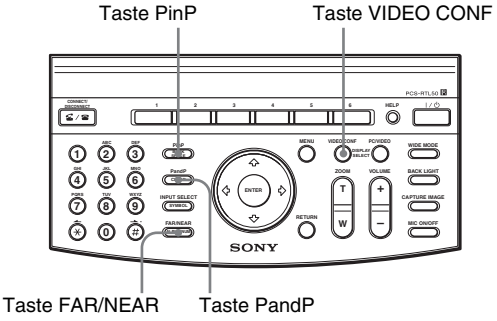
Zu diesen Einstellungen siehe „Einstellen der Bildqualität“ auf Seite 16.

Anzeigen des Bilds vom Computer oder Videogerät während einer Videokonferenz

Wenn Sie einen Anruf empfangen, während Sie das Bild vom Computer oder Videogerät in der Anzeige sehen, schaltet das System automatisch in den Bild-im-Bild-Modus und das Bild des Fernteilnehmers wird als Fensterbild angezeigt.



Sie können den Anzeigemodus manuell über folgende Tasten ändern.



So ändern Sie die Position des Bild-im-Bild-Fensters der Videokonferenz

Drücken Sie die Taste PinP auf der Fernbedienung.

So rufen Sie nur das Bild der Videokonferenz auf

Drücken Sie die Taste VIDEO CONF auf der Fernbedienung.
Drücken Sie die Taste PC/VIDEO erneut, um nur das Bild des Computers bzw. Videogeräts aufzurufen.

So lassen Sie gleichzeitig das Bild der Videokonferenz und des Computers bzw. Videogeräts anzeigen

Drücken Sie die Taste PandP auf der Fernbedienung.
Das Bild des Computers bzw. Videogeräts erscheint links (Hauptbild) und das Bild der Videokonferenz rechts (Nebenbild).

So wechseln Sie von dem fernen Bild der Videokonferenz zum lokalen Bild

Drücken Sie die Taste FAR/NEAR auf der Fernbedienung und ändern Sie die Einstellung („Fern“ oder „Lokal“) unter „Display“ im Menü „Display / Steuerung“.

Hinweis

Das Bild-im-Bild-Fenster sowie die zugehörigen Funktionen sind nicht verfügbar, während keine Kommunikation mit der anderen Teilnehmergruppe stattfindet.

Technische Daten

PCS-TL50 Videokommunikationssystem

Dieses Gerät entspricht den ITU-T-Empfehlungen H.320 und H.323.

Bewegtes Bild

Betriebsbandbreite
- 64 Kbps bis 1920 Kbps (Standard, LAN-Anschluss)
- 56 Kbps bis 768 Kbps (bei Installation des PCSA-B768S, ISDN-Anschluss)
- 56 Kbps bis 384 Kbps (bei Installation des PCSA-B384S, ISDN-Anschluss)

Codierung
- H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/Interlaced SIF (ITU-T-Empfehlung)
- MPEG4 Einfaches Profil (bei Verwendung von LAN)

Bildelemente
- CIF: 352 Pixel × 288 Zeilen
- QCIF: 176 Pixel × 144 Zeilen

Farbsystem
- NTSC

Standbild

Pixel
- 704 Pixel × 480 Zeilen

Codierung
- H.261 (ITU-T Empfehlung) Anhang D (4CIF)
- H.263 (Sonderformat dieses Systems)

Ton

Bandbreite
- 14 kHz (MPEG4 Audio)
- 7 kHz (G.722/G.722.1 entspricht der ITU-T Empfehlung)
- 3,4 kHz (G.711/G.723.1/G.728/G.729 entspricht der ITU-T Empfehlung)

Übertragungsrate
- 56 Kbps, 64 Kbps (G.711 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
- 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
- 64 Kbps, 96 Kbps (MPEG4 Audio) (bei Verwendung von LAN)
- 24 Kbps, 32 Kbps (G0,722.1 entspricht der ITU-T-Empfehlung) (bei Verwendung von LAN)
- 16 Kbps (G.728 entspricht der ITU-T-Empfehlung)
- 8 Kbps (G.729 entspricht der ITU-T-Empfehlung) (bei Verwendung von LAN)
- 5,3 Kbps, 6,3 Kbps (G.723.1 entspricht der ITU-T-Empfehlung) (bei Verwendung von LAN)

Netzwerk

Multiplexverfahren
- Video, Audio, Daten

Vollbildformat
- H.221 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)

Schnittstelle
- LAN (Standard), 64 Kbps bis 1920 Kbps
- ISDN (BRI), bis zu 6 Leitungen (bei Installation des PCSA-B768S) bis zu 3 Leitungen (bei Installation des PCSA-B384S)

Datenübertragungsrate
- LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps
- MLP 1,2 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
- HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

Unterstützte LAN-Protokolle
- HTTP
- FTP
- Telnet
- RTP/RTCP
- TCP/UDP

Fernbedienung

Steuerung der Kamera am fernen Standort
- H.281 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)

Datenübertragung
- T.120 (entspricht der ITU-T-Empfehlung)

Kamera

Videosignal
- NTSC-Farbe, EIA-Standards

Bildwandler
- 1/3-Typ CCD (Charge Coupled Device)
- ca. 410.000 Pixel (Effektiv: ca. 380.000 Pixel)

Objektiv
- f = 4,0 mm, F 2,0, Horizontaler Winkel ca. 70°

Brennweite
500 mm
Mindestbeleuchtungsstärke
1 lx bei F 2,0/50 IRE
Schwenken/Neigen
Digitale Schwenk/Neigebewegung
Eingebauter automatischer Weißabgleich
Eingebaute elektronische Blende

Display

Größe 50,8 cm
Bildformat 16 : 9
Auflösung 1280 × 768
Luminanz 400 Cd/m^2 oder mehr
Reaktionszeit
15 ms oder weniger
Kontrastverhältnis
500 : 1
Sichtwinkel 160 Grad oder mehr
Anzahl Farben
16.700.000 Farben

Displaycontroller

PinP 4 Ecken
PandP Zwei Fenster
Eingang Intern: Videokommunikation
Extern RGB: Computerdisplay
Extern Video: Externer Videoeingang (automatische Erkennung von NTSC/PAL)
Breitbildmodus
Normal, Zoom, Breitbild, Breitbild-Zoom
RGB-Modus 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768 usw.
Anzeige eines Zoom-Bildes ist möglich.
Lautstärkeanpassung
Fest bei Videokommunikationssystem
Kann über den Verstärker auf der Displayschaltkarte geändert werden
OSD-Anpassungen
Helligkeit, Farbsättigung, Verschieben, Breite, Höhe usw.

Lautsprecher

Lautsprecher 3 W × 2

Mikrofon

Frequenzbereich
15 kHz
Direktionale Eigenschaften
Richtmikrofon

Allgemeines

Betriebsspannung
19,5 V
Stromverbrauch
7,7 A
Betriebstemperatur
5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %
Lagertemperatur
-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen 528 × 445 × 110 mm (B/H/T) (ohne Fußteil)
528 × 445 × 265 mm (B/H/T) (mit Fußteil)
Gewicht ca. 10 kg
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung PCS-RTL50 (1)
R6-Batterien der Größe AA für Fernbedienung (2)
Netzteil PCS-AC19V8 (1)
Netzkabel (1)
CD-ROM (1)
Kurzanleitung (1)
Kurz-Anschlussanleitung/Fernbedienungsanleitung (1)
Garantieheft (1)

Fernbedienung PCS-RTL50

Signalformat
Infrarot SIRCS
Steuerung DC 3 V mit zwei Batterien der Größe AA (R6)
Abmessungen 168 × 19 × 88 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
Gewicht ca. 180 g (einschließlich Batterien)

Adapter PCS-AC19V8

Betriebsspannung
100 bis 240 V AC, 50/60 Hz, 2,2 A bis 1,0 A
Ausgang 19,5 V, 7,7 A
Betriebstemperatur
5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %
Lagertemperatur
-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen 81 × 49 × 165 mm (B/H/T)
Gewicht ca. 800 g

Mikrofon PCS-A1 (optional)

Bandbreite 13 kHz
Direktionale Eigenschaften
Rundgerichtet
Abmessungen 74 × 16 × 93 mm (B/H/T)
Gewicht ca. 170 g
Spannungsversorgung
Im Anschluss integriert

Mikrofon PCS-A300 (optional)

Bandbreite 13 kHz
Direktionale Eigenschaften
Unidirektional
Abmessungen 68 × 16 × 96 mm (B/H/T)
Gewicht ca. 200 g
Spannungsversorgung
Im Anschluss integriert

ISDN-Gerät PCSA-B384S/ PCS-B384 (optional)

Betriebsspannung
19,5 V
Stromverbrauch
0,3 A
Betriebstemperatur
5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %
Lagertemperatur
-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen PCSA-B384S:
165 × 34 × 127 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
PCS-B384:
165 × 34 × 127 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
Gewicht PCSA-B384S: ca. 400 g
PCS-B384: ca. 400 g
Mitgeliefertes Zubehör
Schnittstellenkabel (5 m) (1)
Bedienungsanleitung (1)
Garantieheft (1)

ISDN-Gerät PCSA-B768S/ PCS-B768 (optional)

Betriebsspannung
19,5 V
Stromverbrauch
0,5 A
Betriebstemperatur
5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %
Lagertemperatur
-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen PCSA-B768S:
165 × 34 × 127 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
PCS-B768:
165 × 34 × 127 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
Gewicht PCSA-B768S: ca. 400 g
PCS-B768: ca. 400 g
Mitgeliefertes Zubehör
Schnittstellenkabel (5 m) (1)
Bedienungsanleitung (1)
Garantieheft (1)

Data Solution Box PCSA-DSB1S/ PCS-DSB1 (optional)

Betriebsspannung
19,5 V
Stromverbrauch
1,0 A
Betriebstemperatur
5 °C bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %
Lagertemperatur
-20 °C bis +60 °C
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung
20 % bis 80 % (nicht kondensierend)
Abmessungen PCSA-DSB1S:
240 × 37 × 180 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
PCS-DSB1:
240 × 33 × 160 mm (B/H/T) (ohne hervorstehende Teile)
Gewicht PCSA-DSB1S: ca. 1,1 kg
PCS-DSB1: ca. 850 g
Mitgeliefertes Zubehör
Schnittstellenkabel (8 m) (1)
Bedienungsanleitung (1)
Garantieheft (1)

MPCS-320M1 H.320 MCU-Software (optional)

Abmessungen 50 × 2,8 × 21,5 mm (B/H/T)
Gewicht ca. 4 g
Mitgeliefertes Zubehör
Aufkleber mit Seriennummer (1)
Bedienungsanleitung (1)

PCS-323M1 H.323 MCU-Software (optional)

Abmessungen 50 × 2,8 × 21,5 mm (B/H/T)
Gewicht ca. 4 g
Mitgeliefertes Zubehör
Aufkleber mit Seriennummer (1)
Bedienungsanleitung (1)

Design und Spezifikationen können ohne Vorankündigung geändert werden.

ADVERTENCIA

Para prevenir el riesgo de incendios o de electrocución, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra la unidad. En caso de avería, solicite el servicio de personal cualificado únicamente.

ADVERTENCIA

Cuando lo instale, monte un dispositivo de conexión accesible en el cableado fijo, o bien conecte el cable de alimentación a una toma de pared situada cerca de la parte trasera de la unidad y a la que se pueda acceder fácilmente.
Si se produce alguna anomalía de funcionamiento de la unidad, accione el dispostivo de desconexión para interrumpir la alimentación, o bien desenchufe el cable de alimentación.

PRECAUCIÓN sobre el puerto LAN

Por razones de seguridad, no conecte el puerto LAN a ningún dispositivo de red que pudiese tener una tensión demasiado elevada.

Instalación de las pilas

Se suministran dos pilas R6 (tamaño AA) para el mando a distancia.
Para evitar el riesgo de explosiones, utilice pilas R6 (tamaño AA) de manganeso o alcalinas.

PRECAUCIÓN

PELIGRO DE EXPLOSION SI SE SUSTITUYE LA PILA POR UNA PILA DEL TIPO INCOERRECTO.
DESECHE LAS PILAS USADAS SIGUIENDO LAS INSTRUCCIONES.

Este manual se centra en el uso de líneas RDSI para realizar videoconferencias, pero también cubre las líneas que no son de este tipo. Si utiliza líneas RDSI, consulte con su proveedor Sony para más información.
- El servicio RDSI puede no estar disponible en ciertas zonas.

Para los clientes de Europa

Advertencia

Éste es un producto de classe A. En un ambiente doméstico, este producto puede causar interferencias radioeléctricas, en cuyo caso el usuario puede tener que tomar las medidas adecuadas.
En el caso de producirse interferencias, póngase en contacto con el centro de servicio técnico Sony autorizado más cercano.

Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.
De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.

Si tira la unidad, consulte con su Centro de Asistencia Sony más cercano. La batería interna debe ser tratada como residuo químico.

Precauciones

Ubicación de funcionamiento o almacenamiento

Evite utilizar o almacenar el sistema en las siguientes ubicaciones:

- Lugares extremadamente calientes o fríos
- Lugares húmedos o polvorientos
- Lugares expuestos a fuertes vibraciones
- Cerca de fuentes magnéticas intensas
- Cerca de fuentes de radiación electromagnética potentes, como emisoras de radio o TV
- Lugares ruidosos

Pantalla LCD

- No exponga la superficie de la pantalla LCD al sol. Si lo hace, la superficie de la pantalla puede resultar dañada.
- No empuje ni raye la pantalla LCD, ni coloque objetos encima del sistema. Es posible que la imagen acabe siendo desigual o que el panel LCD resulte dañado.
- Si se utiliza el sistema en un lugar frío, pueden producirse manchas en la imagen o que ésta se oscurezca. Esto no indica ninguna anomalía. Estos fenómenos mejoran cuando aumenta la temperatura.
- Es posible que se produzcan imágenes fantasma cuando se visualizan imágenes fijas de forma continua. Es posible que desaparezcan tras unos instantes.
- La pantalla y la carcasa se calientan cuando se está utilizando el sistema. Esto no es una avería.

Panel de la pantalla LCD

- Aunque el panel de la pantalla LCD está fabricado con tecnología de alta precisión, es posible que aparezcan puntos negros o puntos brillantes de luz (rojo, azul o verde) en la pantalla LCD. También pueden aparecer rayas de color y brillo irregular cuando se visualiza desde determinados ángulos. Se trata de una propiedad estructural del panel LCD y no se trata de ninguna anomalía.

Altavoces integrados

Los altavoces generan magnetismo. A fin de evitar que los datos resulten dañados, mantenga las cintas magnéticas y discos alejados de los altavoces.

Limpieza

- Antes de efectuar la limpieza, desenchufe el cable de alimentación de la toma de CA.
- La superficie de la pantalla LCD tiene un acabado con un revestimiento especial. Para eliminar el polvo ode la superficie de la pantalla, límpiela suavemente con un paño seco y suave.
- No utilice disolventes voláticles como alcohol, benceno o disolventes, puesto que pueden dañar el acabado de la superficie.
- Si se utilizan paños de limpieza con productos químicos, siga las instrucciones de los mismos.
- No aplique disolventes volátiles como, por ejemplo, insecticida, en la pantalla, ni deje que objetos de goma o plástico toquen la pantalla durante un tiempo prolongado, puesto que el acabado de la pantalla puede resultar dañado.

Índice

Uso del sistema por primera vez 5

Encendido del sistema 6

Registro de una ubicación remota para marcación de un toque 7

Llamada a una ubicación remota mediante marcación de un toque 11

Llamada a una ubicación remota no registrada para marcación de un toque 12

Ajuste de imagen y sonido 14

- Ajuste del zoom y del ángulo de la cámara 14
- Ajuste del volumen 15
- Ajuste de la calidad de la imagen 15

Finalización de la conferencia 17

- Desconexión de la línea 17

Visualización de la ayuda 18

Conexiones del sistema 19

- Uso de los conectores 19
- Observaciones sobre las conexiones 20
- Conexión del sistema a través de una LAN 20
- Conexión del sistema a través de una RDSI 21

Uso como pantalla de ordenador o monitor de vídeo 22

- Conexión a un ordenador 22
- Conexión al equipo de vídeo 23
- Visualización de la imagen del ordenador o del equipo de vídeo 23

Especificaciones 26

El CD-ROM suministrado incluye el Manual de instrucciones que describe información más detallada de este sistema. Lea las Instrucciones de funcionamiento, así como el Manual de instrucciones.

Uso del sistema por primera vez

Este manual describe brevemente las operaciones básicas para una videoconferencia punto a punto utilizando el Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL50. Se indica cómo efectuar una conferencia diaria de principio a fin. Para obtener información más detallada sobre las operaciones y los distintos ajustes necesarios para la conferencia, remítase a las Instrucciones de funcionamiento del CD-ROM suministrado.

Acerca de las Instrucciones de funcionamiento

Las Instrucciones de funcionamiento del sistema están almacenadas en el CD-ROM suministrado, en formato PDF. Se le solicita que utilice Adobe® Acrobat®* Reader 5.0 (E) o Adobe Reader 6.0 (E) para leerlas. Si no tiene Adobe Reader instalado en su ordenador, puede descargar la versión más reciente en los sitios web que se indican a continuación.

Cómo leer las Instrucciones de funcionamiento

1 Introduzca el CD-ROM titulado "Manuales del Sistema de comunicaciones de vídeo" en la unidad de CD-ROM del ordenador.

Tras unos instantes, se abrirá una ventana que muestra los archivos del CD-ROM.

2 Haga doble clic en el archivo PDF denominado "Español".

Se iniciará Adobe Reader y, a continuación, aparecerá la portada de las Instrucciones de funcionamiento.

Al hacer clic en un elemento del Índice se pasa directamente a la página correspondiente.

Instalación de Adobe Reader 6.0 (E)

Para instalar Adobe Reader 6.0 (E) en su ordenador, necesita el siguiente hardware y software:

- Un ordenador con procesador Intel® Pentium® o 100% compatible
- Microsoft® Windows®**98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5, o Windows 2000 y superior
- 64 MB o más de RAM
- 70 MB o más de espacio libre en disco

Se puede obtener la versión más reciente de Adobe Reader, de forma gratuita, en los siguientes sitios web.

Versión norteamericana:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

Versión europea:
http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html

Versión japonesa:
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

* Adobe y Acrobat son marcas comerciales de Adobe Systems, Incorporated.

** Windows y Windows NT son marcas comerciales registradas de U.S. Microsoft Corporation en EE.UU. y otros países.

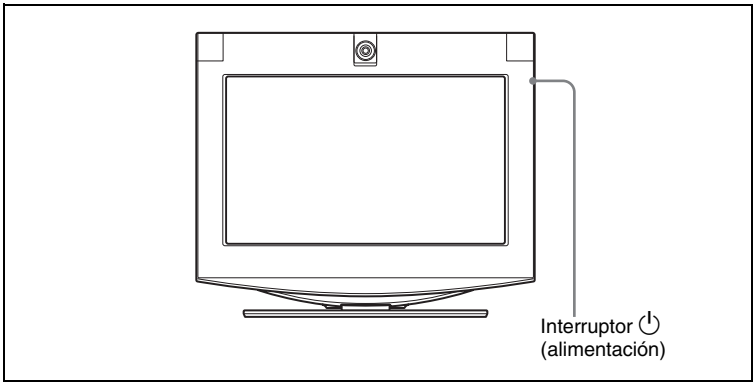
Encendido del sistema

Antes de encender el sistema, asegúrese de que las conexiones del mismo se han realizado correctamente.

Para la conexión del sistema, remítase a "Conexiones del sistema" en la página 19.

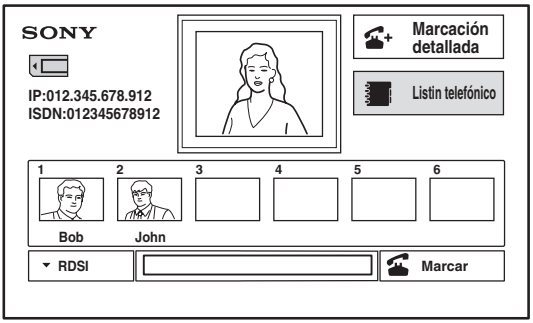
1 Encienda los equipos que vaya a utilizar para la videoconferencia.

2 Pulse el interruptor ⏻ (alimentación) del lado derecho del sistema.
El indicador del interruptor se ilumina en verde y el sistema se enciende.



3 Asegúrese de que la cortinilla de la cámara esté abierta.
Si está cerrada, deslice el interruptor de la cortinilla de la parte superior del sistema para abrirla.

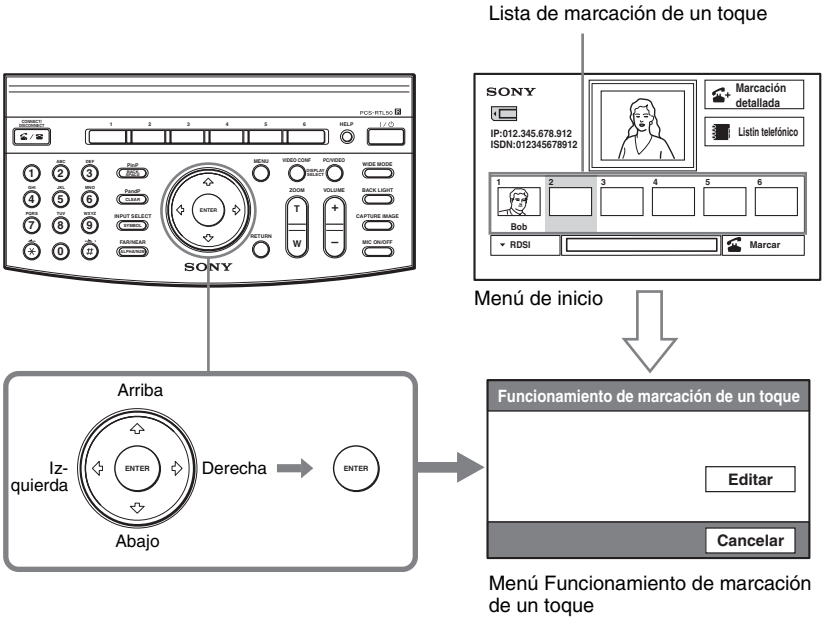
4 Pulse el botón VIDEO CONF del mando a distancia para visualizar el menú de inicio.



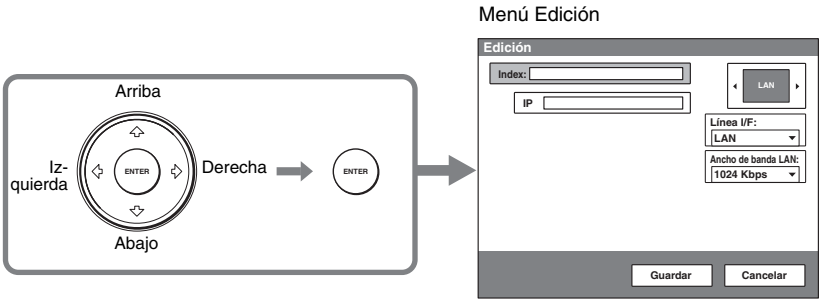
Registro de una ubicación remota para marcación de un toque

Se pueden registrar ubicaciones remotas en la lista de marcación de un toque del menú de inicio, que permite marcarlas fácilmente mediante los botones de marcación de un toque del mando a distancia.
Esta sección indica cómo registrar ubicaciones remotas para la marcación de un toque en el menú de inicio.

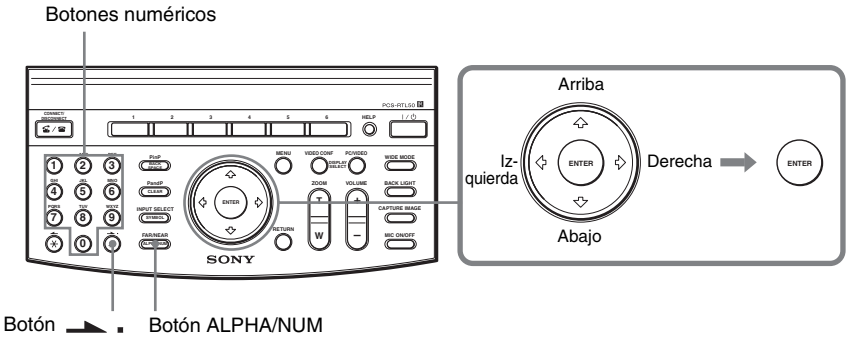
1 Utilice el botón ↑, ↓, ← o → del mando a distancia para seleccionar la marcación de un toque para registrar una ubicación remota y, a continuación, pulse el botón ENTER.
Se abre el menú Funcionamiento de marcación de un toque.



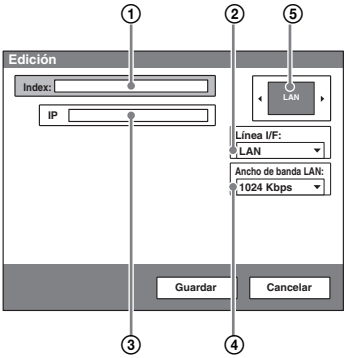
2 Utilice el botón ↑, ↓, ← o → del mando a distancia para seleccionar "Editar" y, a continuación, pulse el botón ENTER.
Aparece el menú Edición.



3 Configure las opciones para la marcación de un toque.
Utilice el botón ↑, ↓, ← o → para seleccionar la opción a configurar y, a continuación, pulse el botón ENTER.
Se puede utilizar los botones numéricos y el botón . (punto) para introducir los números. Pulse el botón ALPHA/NUM (caracteres alfabéticos/numéricos) para seleccionar el modo de introducción de los botones numéricos.



Si se conecta una ubicación remota a través de LAN



① Introduzca el nombre de una ubicación remota.

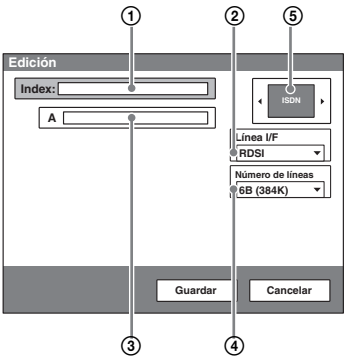
② Seleccione “Línea I/F” y, a continuación, seleccione “LAN” en el menú secundario visualizado.

③ Seleccione el cuadro de texto correspondiente a la IP y, a continuación, introduzca la dirección IP de la ubicación remota mediante los botones numéricos y el botón . (punto) del mando a distancia.

④ Seleccione “Ancho de banda LAN” y, a continuación, seleccione el ancho de banda que utiliza.

⑤ Seleccione una imagen fija para visualizarla en la lista de marcación de un toque.

Si se conecta una ubicación remota a través de RDSI



① Introduzca el nombre de una ubicación remota.

② Seleccione “Línea I/F” y, a continuación, seleccione “RDSI” en el menú secundario visualizado.

③ Seleccione el cuadro de texto correspondiente al número de teléfono y, a continuación, introduzca el número de teléfono de la ubicación remota mediante los botones numéricos del mando a distancia.

④ Seleccione “Número de líneas” y, a continuación, seleccione el número de canales a utilizar para llamar a la ubicación remota.

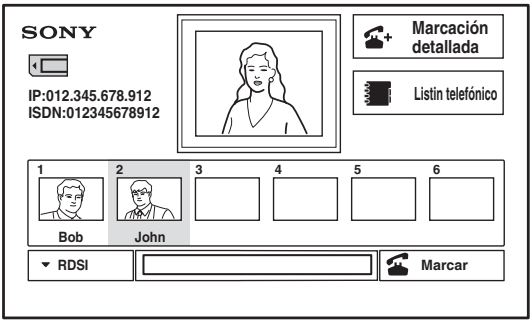
⑤ Seleccione una imagen fija para visualizarla en la lista de marcación de un toque.

4 Utilice el botón ↑, ↓, ← o → del mando a distancia para seleccionar "Guardar" y, a continuación, pulse el botón ENTER.

Aparece el menú Listín telefónico.

Los elementos ajustados se registran en el Listín telefónico al mismo tiempo que en la lista de marcación de un toque del menú de inicio.

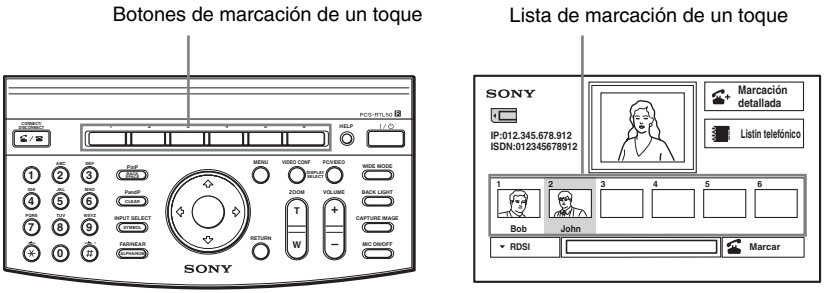
Menú de inicio



Llamada a una ubicación remota mediante marcación de un toque

Cuando la ubicación remota se ha registrado en la lista de marcación de un toque, puede llamar a dicha ubicación mediante la función Marcación de un toque.

1 Pulse el botón de marcación de un toque del 1 al 6 donde se ha registrado la ubicación remota.

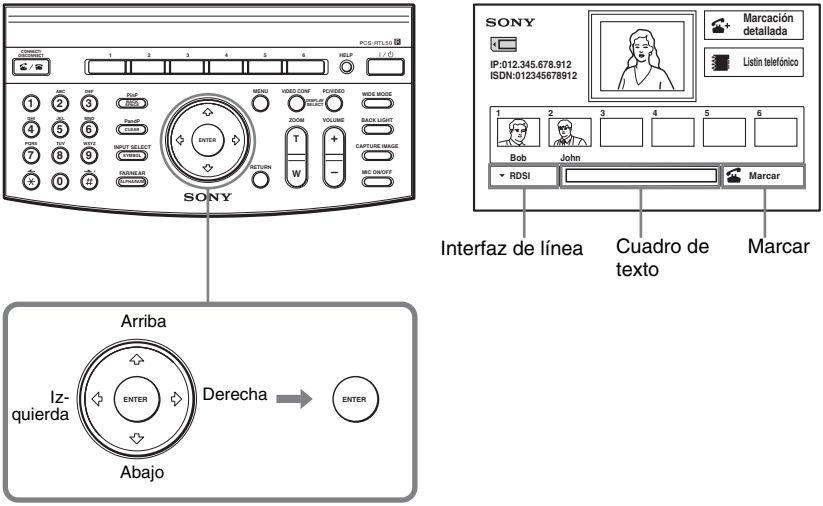


El sistema empieza a llamar a la ubicación remota seleccionada. En la pantalla aparece “Marcación (LAN)” o “Marcación (RDSI)”.
Cuando el sistema se conecta a la ubicación remota, aparece el mensaje “Se inicia la conferencia!” en la pantalla.
Ya se puede iniciar la videoconferencia.

Llamada a una ubicación remota no registrada para marcación de un toque

1 Seleccione la interfaz de línea en la lista desplegable de la parte inferior del menú de inicio.

Pulse el botón ↑, ↓, ← o → para seleccionar la interfaz de línea en la parte inferior del menú de inicio y, a continuación, pulse el botón ENTER para visualizar la lista desplegable. Seleccione la interfaz de línea pulsando el botón ↑ o ↓ y, a continuación, pulse el botón ENTER.



LAN: Se conecta a un sistema de videoconferencia en la ubicación remota mediante una LAN.

Teléfono: Se conecta al Teléfono RDSI de una ubicación remota para realizar una conferencia de voz mediante la conexión RDSI.

RDSI: Se conecta a un sistema de videoconferencia en la ubicación remota mediante una RDSI.

2 Introduzca en el cuadro de texto la dirección IP (para LAN) o el número de teléfono RDSI (para RDSI o Teléfono) de la ubicación remota.

Pulse el botón ↑, ↓, ← o → del mando a distancia para seleccionar el cuadro de texto y, a continuación, pulse el botón ENTER. Introduzca los números mediante los botones numéricos del mando a distancia.

3 Pulse el botón ↑, ↓, ← o → del mando a distancia para seleccionar "Marcar" y, a continuación, pulse el botón ENTER. O bien, pulse el botón CONNECT/DISCONNECT (/) del mando a distancia.

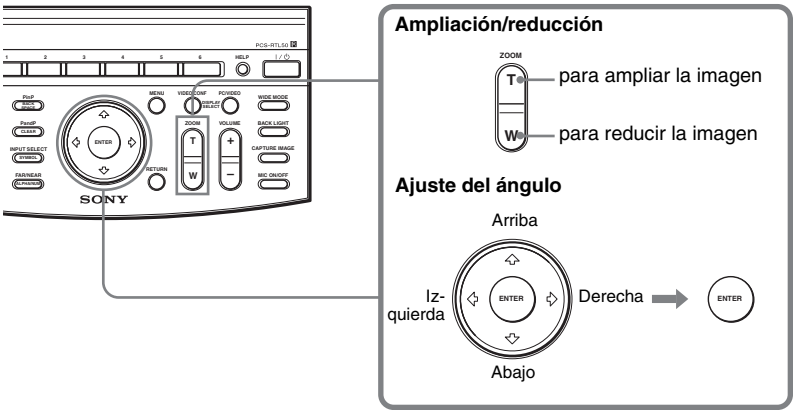
El sistema empieza a llamar a la dirección IP o al número de teléfono RDSI introducido en el paso 2. En la pantalla aparece “Marcación (LAN)” o “Marcación (RDSI)”.
Cuando el sistema se conecta a la ubicación remota, aparece el mensaje “Se inicia la conferencia!” en la pantalla.
Ya se puede iniciar la videoconferencia.

Ajuste de imagen y sonido

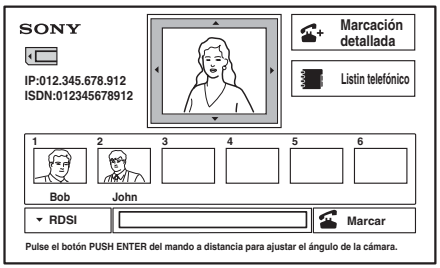
Ajuste del zoom y del ángulo de la cámara

Ajuste cuando no se encuentra en comunicación

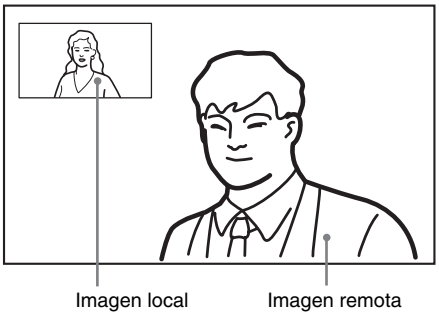
Utilice el botón ↑, ↓, ← o → del mando a distancia para seleccionar la imagen en el menú de inicio y, a continuación, pulse el botón ENTER.
Pulse el botón ZOOM T/W para ampliar o reducir y el botón ↑, ↓, ← o → para ajustar el ángulo de la cámara.
Después del ajuste, pulse el botón ENTER.



Cuando no se encuentra en comunicación



Cuando se encuentra en comunicación



Ajuste cuando se encuentra en comunicación

Se puede ajustar el zoom y el ángulo de la imagen de la ubicación local mediante los botones ZOOM T/W y ↑/↓/←/→ del mando a distancia.
Remítase a las Instrucciones de funcionamiento para ajustar el zoom y el ángulo de la cámara de la imagen de la ubicación remota.

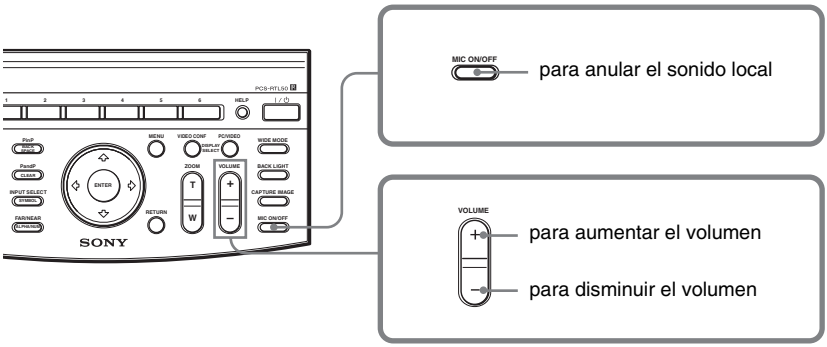
Ajuste del volumen

Ajuste del volumen del sonido recibido de la ubicación remota

Pulse el botón VOLUME +/– del mando a distancia.

Anulación del sonido de la ubicación local enviado a la ubicación remota

Pulse el botón MIC ON/OFF del mando a distancia.
Aparece el indicador “MIC OFF” en la pantalla. Para restablecer el sonido, vuelva a pulsar el botón MIC ON/OFF.

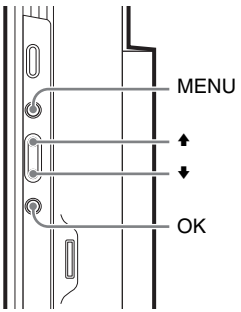


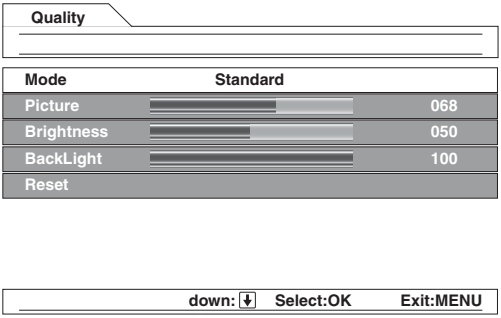
Ajuste de la calidad de la imagen

Se puede ajustar la calidad de la imagen de la pantalla mediante los botones MENU, ↑/↓ y OK del lado derecho del Sistema de comunicaciones de vídeo.

1 Pulse el botón MENU del lado derecho del sistema.
Aparece el menú Calidad de imagen.

Lateral derecho





2 Pulse el botón ▲ o ▼ para seleccionar el elemento de ajuste y, a continuación, pulse el botón OK.

Aparece el menú de ajuste del elemento seleccionado.

3 Pulse el botón ▲ o ▼ del lado derecho del sistema para ajustar la calidad de la imagen y, a continuación, pulse el botón OK.

4 Pulse el botón MENU para salir del menú.

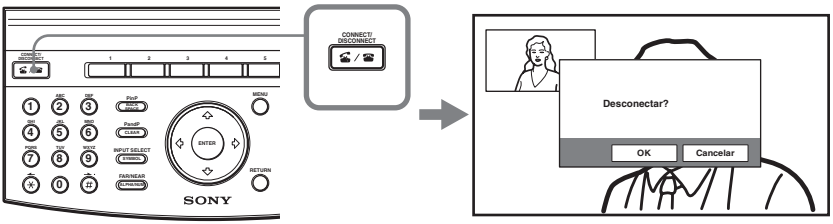
Restablecimiento de la calidad de imagen predeterminada

Seleccione “Restablecer”, la opción de ajuste inferior, y, a continuación, pulse el botón OK.

Finalización de la conferencia

Desconexión de la línea

1 Pulse el botón CONNECT/DISCONNECT (/) del mando a distancia.
Aparece el mensaje "¿Desconectar?" en la pantalla.



2 Pulse el botón ← o → del mando a distancia para seleccionar "OK" y, a continuación, pulse el botón ENTER, o pulse el botón CONNECT/DISCONNECT (/).
Se desconecta la línea y se restablece el menú de inicio.

Ajuste del sistema al modo de espera

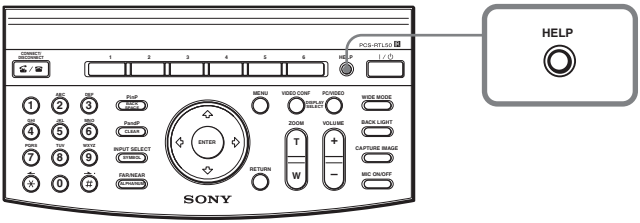
Pulse el botón I/⏻ del mando a distancia y aparecerá el mensaje "¿Apagar la pantalla y pasar a modo de espera?" Pulse el botón ← o → para seleccionar OK, y a continuación pulse el botón ENTER.
El modo de espera permite recibir llamadas desde una ubicación remota.

Desconexión de la alimentación

Pulse el interruptor ⏻ (alimentación) del lado derecho del sistema durante más de un segundo para apagar el sistema y apagar los demás equipos utilizados para la videoconferencia.

Visualización de la ayuda

Al pulsar el botón HELP en el mando a distancia, en la pantalla aparece un globo o una pantalla de ayuda que proporciona indicaciones para la mayoría de las operaciones.



Para ocultar la ayuda, pulse de nuevo el botón HELP.

Conexiones del sistema

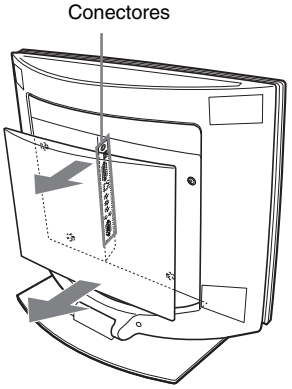
Esta sección describe las conexiones características del sistema.

Uso de los conectores

Los conectores se encuentran en el interior de la cubierta trasera.
Si se utilizan los conectores, retire la cubierta trasera, enchufe los cables a los conectores y vuelva a colocar la cubierta trasera.

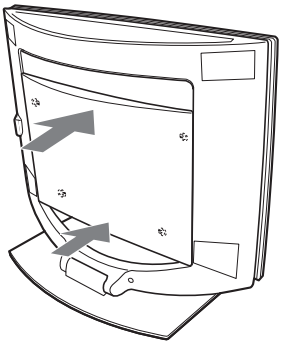
Extracción de la cubierta trasera

Tire de la cubierta trasera hacia usted.



Colocación de la cubierta trasera

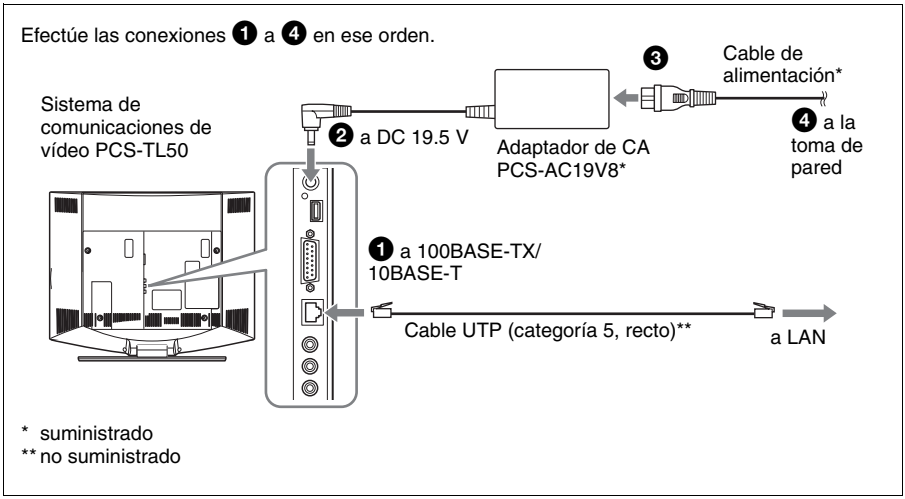
Alinee los cuatro salientes de la cubierta trasera con los orificios de la parte posterior de la unidad y empuje la cubierta.



Observaciones sobre las conexiones

- Asegúrese de desactivar el suministro de alimentación de todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilice solamente el adaptador de CA y el cable de alimentación suministrados con este sistema. Nunca utilice adaptadores de CA o cables de alimentación distintos.
- Introduzca el enchufe de CA y el enchufe de CC del adaptador de forma segura hasta el fondo.
- No enchufe ni desenchufe ningún cable con la alimentación conectada. Si lo hace se puede dañar el Sistema de comunicaciones de vídeo.
- Por motivos de seguridad, no conecte el conector 100BASE-TX/10BASE-T a una red que suministre una tensión excesiva a través del conector 100BASE-TX/10BASE-T.

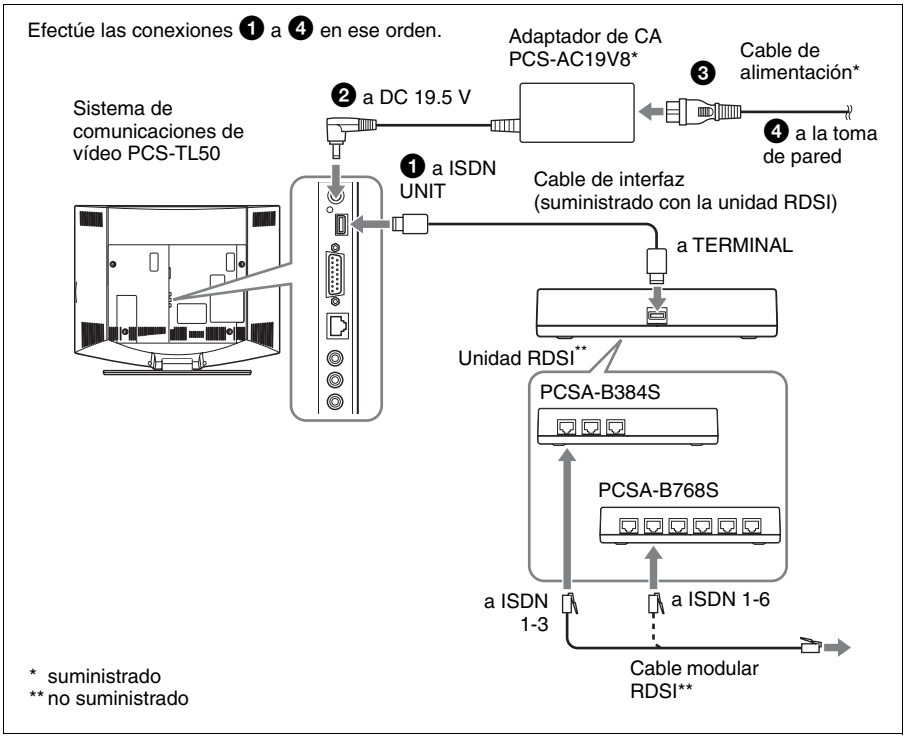
Conexión del sistema a través de una LAN


Efectúe las conexiones ❶ a ❹ en ese orden.
❸
Cable de alimentación*
Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL50
❷ a DC 19.5 V
Adaptador de CA PCS-AC19V8*
❹ a la toma de pared
❶ a 100BASE-TX/ 10BASE-T
Cable UTP (categoría 5, recto)**
a LAN
* suministrado
** no suministrado

Conexión del sistema a través de una RDSI

Notas

- No enchufe ni desenchufe el cable de interfaz con la alimentación conectada. Si lo hace se puede dañar el Sistema de comunicaciones de vídeo o la unidad RDSI.
- Cuando se conecta la unidad RDSI por primera vez, es posible que el Sistema de comunicaciones de vídeo actualice automáticamente el software de la unidad RDSI. Mientras aparece en pantalla el mensaje de actualización, asegúrese de no apagar el Sistema de comunicaciones de vídeo. Si lo hace, se pueden producir fallos de funcionamiento.



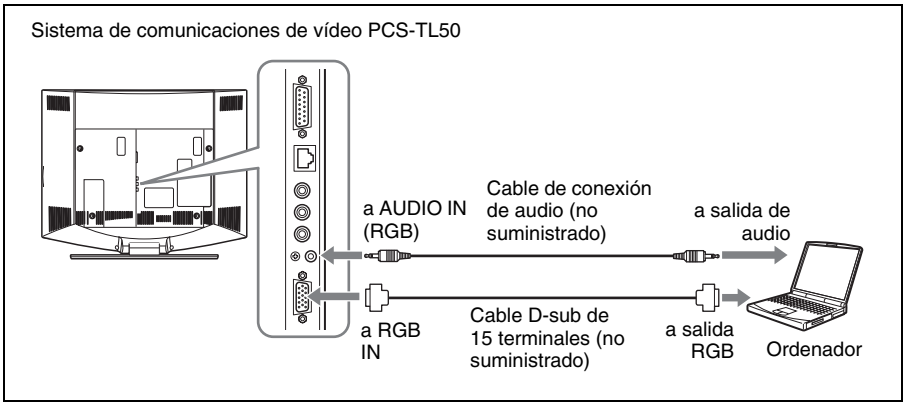
Uso como pantalla de ordenador o monitor de vídeo

Cuando no se está realizando una videoconferencia, se puede utilizar la pantalla del Sistema de comunicaciones de vídeo como pantalla de ordenador o monitor de vídeo.

Conexión a un ordenador

Retire la cubierta trasera del Sistema de comunicaciones de vídeo y conecte un ordenador.

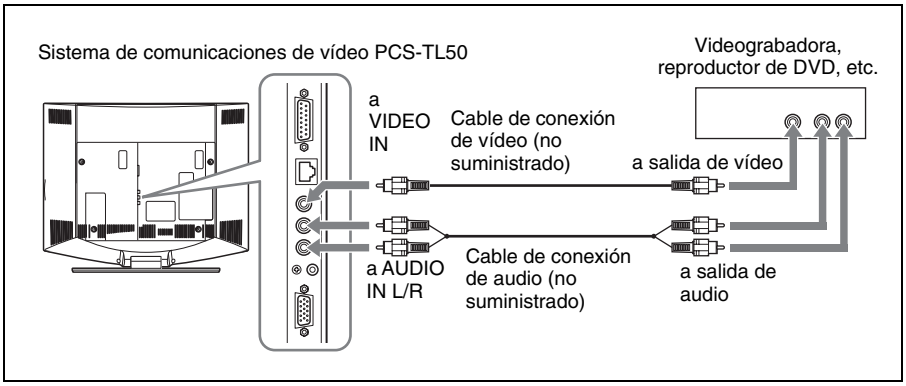
Para retirar la cubierta trasera, remítase a la página 19.


Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL50
a AUDIO IN (RGB)
Cable de conexión de audio (no suministrado)
a salida de audio
a RGB IN
Cable D-sub de 15 terminales (no suministrado)
a salida RGB
Ordenador

Conexión al equipo de vídeo

Retire la cubierta trasera del Sistema de comunicaciones de vídeo y conecte un equipo de vídeo.

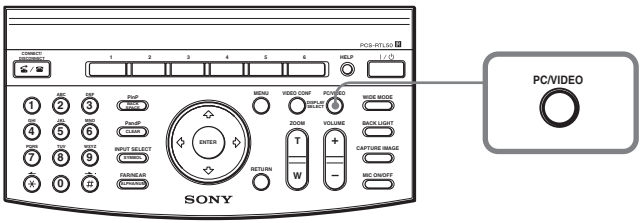
Para retirar la cubierta trasera, remítase a la página 19.


Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL50
Videograbadora, reproductor de DVD, etc.
a VIDEO IN
Cable de conexión de vídeo (no suministrado)
a salida de vídeo
a AUDIO IN L/R
Cable de conexión de audio (no suministrado)
a salida de audio

Visualización de la imagen del ordenador o del equipo de vídeo

1 Pulse el botón PC/VIDEO en el mando a distancia para seleccionar la entrada.

Cada vez que se pulsa el botón, la imagen del ordenador conectado al conector RGB IN de este sistema y la imagen del equipo de vídeo conectado a la toma VIDEO IN se visualizan alternativamente.



El sonido de la entrada seleccionada se oye en estéreo desde los altavoces del Sistema de comunicaciones de vídeo (si el cable de audio está conectado).

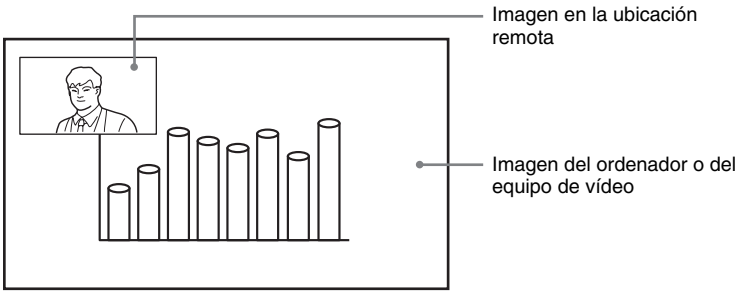
2 Ajuste el volumen del sonido mediante los botones VOLUME +/– del mando a distancia.

3 Ajuste la calidad de la imagen utilizando los botones MENU, ↑/↓ y OK del lado derecho del sistema.

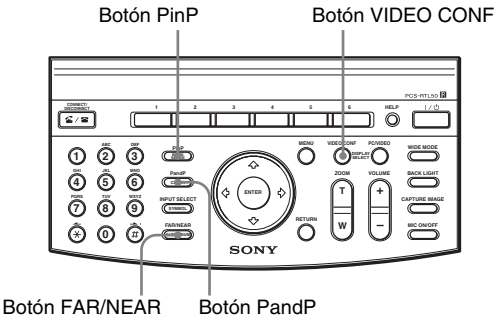
Para los ajustes, remítase a "Ajuste de la calidad de la imagen" en la página 15.

Visualización de la imagen del ordenador o del equipo de vídeo durante una videoconferencia

Si se recibe una llamada cuando está visualizándose la imagen del ordenador o del equipo de vídeo en la pantalla, el sistema pasa automáticamente al modo de imagen superpuesta y la imagen de la ubicación remota se visualiza como una ventana de imagen.



Se puede cambiar manualmente el modo de visualización mediante los botones siguientes.



Cambio de la ubicación de la ventana de imagen de la videoconferencia

Pulse el botón PinP del mando a distancia.

Visualización de la imagen de la videoconferencia solamente

Pulse el botón VIDEO CONF en el mando a distancia.
Pulse de nuevo el botón PC/VIDEO para visualizar solamente la imagen del ordenador o del equipo de vídeo.

Visualización simultánea de la imagen de la videoconferencia y la imagen del ordenador o del equipo de vídeo

Pulse el botón PandP del mando a distancia.
La imagen del ordenador o del equipo de vídeo aparece a la izquierda (imagen principal) y la imagen de la videoconferencia aparece a la derecha (imagen secundaria).

Cambio de la imagen remota de la videoconferencia a la imagen local

Pulse el botón FAR/NEAR del mando a distancia y cambie el ajuste de "Imagen" ("Remoto" o "Local") en el menú Visualización.

Nota

Las funciones de imagen superpuesta e imágenes contiguas no están disponibles mientras no hay comunicación con la ubicación remota.

Especificaciones

Sistema de comunicaciones de vídeo PCS-TL50

Esta unidad cumple con las recomendaciones H.320 y H.323 de la ITU-T.

Imagen en movimiento

Ancho de banda operativo
- 64 a 1.920 Kbps (estándar, conexión LAN)
- 56 Kbps a 768 Kbps (si se instala la PCSA-B768S para la conexión a una RDSI)
- 56 a 384 Kbps (si se instala la PCSA-B384S para la conexión a una RDSI)

Codificación
- H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/SIF Entrelazado (Recomendación ITU-T)
- MPEG4 Simple Profile (si se utiliza LAN)

Elementos de imagen
- CIF: 352 píxeles × 288 líneas
- QCIF: 176 píxeles × 144 líneas

Sistema de color
- NTSC

Imagen fija

Píxeles
- 704 píxeles × 480 líneas

Codificación
- H.261 (Recomendación ITU-T) Anexo. D (4CIF)
- H.263 (formato especial de este sistema)

Sonido

Ancho de banda
- 14 kHz (Audio MPEG4)
- 7 kHz (G.722/G.722.1 que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)
- 3,4 kHz (G.711/G.723.1/G.728/G.729 que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)

Velocidad de transmisión
- 56 Kbps, 64 Kbps (G.711 que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)
- 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)
- 64 Kbps, 96 Kbps (Audio MPEG4) (si se utiliza LAN)
- 24 Kbps, 32 Kbps (G.722.1 que cumple las recomendaciones de la ITU-T) (si se utiliza LAN)
- 16 Kbps (G.728 que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)
- 8 Kbps (G.729 que cumple con las recomendaciones de la ITU-T) (si se utiliza LAN)
- 5,3 Kbps, 6,3 Kbps (G.723.1 que cumple las recomendaciones de la ITU-T) (si se utiliza LAN)

Red

Multiplexión
- Vídeo, audio, datos

Formato de fotograma
- H.221 (que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)

Interfaz
- LAN (estándar), 64 Kbps a 1.920 Kbps
- RDSI (BRI), hasta 6 líneas (si se instala el PCSA-B768S) hasta 3 líneas (si se instala la PCSA-B384S)

Velocidad de transmisión de datos
- LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps
- MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
- HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

Protocolo LAN admitido
- HTTP
- FTP
- Telnet
- RTP/RTCP
- TCP/UDP

Mando a distancia

Control de cámara lejana
- H.281 (que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)

Transferencia de datos
- T.120 (que cumple con las recomendaciones de la ITU-T)

Cámara

Señal de vídeo
- Color NTSC, normas EIA

Dispositivo de imagen
- CCD (dispositivo acoplado de carga) de tipo 1/3
- Aproximadamente 410.000 píxeles (Efectivos: Aprox. 380.000 píxeles)

Objetivo
- f = 4,0 mm, F 2.0, Ángulo horizontal aprox. 70°

Distancia focal
- 500 mm

Iluminación mínima
1 lux a F 2,0/50 IRE
Acción de panorámica/inclinación
Panorámica/inclinación digital
Función de equilibrio automático del blanco
integrada
Función de obturador electrónico integrada

Pantalla

Tamaño 20 pulgadas
Relación de aspecto
16 : 9
Resolución 1.280 × 768
Luminancia 400 Cd/m^2 o más
Tiempo de respuesta
15 ms o menos
Relación de contraste
500 : 1
Ángulo de visualización
160 grados o más
Número de colores
16.700.000 colores

Controlador de pantalla

PinP 4 esquinas
PandP Dos ventanas
Entrada Interna: Comunicación de vídeo
RGB externa: Pantalla de ordenador
Vídeo externa: Entrada de vídeo externo (detección automática de NTSC/PAL)
Modo panorámico
Normal, Zoom, Panorámico, Zoom panorámico
Modo RGB 640 × 480, 800 × 600, 1.024 × 768, 1.280 × 768, etc.
Se puede visualizar la imagen ampliada/reducida.
Ajustes de volumen
Fijos para el Sistema de comunicaciones de vídeo
Regulable mediante el amplificador de la tarjeta de circuitos integrados
Ajustes OSD
Brillo, tonalidad, desplazamiento, ancho, alto, etc.

Altavoz

Altavoz 3 W × 2

Micrófono

Intervalo de frecuencia
15 kHz
Característica direccional
Direccional con ángulo cerrado

Generales

Alimentación eléctrica
19,5 V
Consumo de energía
7,7 A
Temperatura de funcionamiento
5 a 35°C (41 a 94°F)
Humedad de funcionamiento
20 a 80%
Temperatura de almacenamiento
–20 a +60°C (–4 a +140°F)
Humedad de almacenamiento
20 a 80% (sin condensación)
Dimensiones 528 × 445 × 110 mm (an/al/prf) (20 7/8 × 17 5/8 × 4 3/8 pulgadas) (sin incluir el soporte)
528 × 445 × 265 mm (an/al/prf) (20 7/8 × 17 5/8 × 10 1/2 pulgadas) (incluyendo el soporte)
Peso Aprox. 10 kg (22 lb 7 oz)
Accesorios suministrados
Mando a distancia PCS-RTL50 (1)
Pilas tamaño AA (R6) para el mando a distancia (2)
Adaptador de CA PCS-AC19V8 (1)
Cable de alimentación (1)
CD-ROM (1)
Manual de instrucciones (1)
Manual de conexión rápida/ Manual del mando a distancia (1)
Folleto de garantía (1)

Mando a distancia PCS-RTL50

Formato de señal
SIRCS infrarrojo
Control CC de 3 V mediante dos pilas AA (R6)
Dimensiones 168 × 19 × 88 mm (an/al/prof) (6 5/8 × 3/4 × 3 1/2 pulgadas) (excluyendo las partes que sobresalen)
Peso Aprox. 180 g (6 oz) (incluyendo las pilas)

Adaptador PCS-AC19V8

Alimentación eléctrica
100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 2,2 a 1,0 A
Salida 19,5 V, 7,7 A
Temperatura de funcionamiento
5 a 35°C (41 a 94°F)
Humedad de funcionamiento
20 a 80%
Temperatura de almacenamiento
–20 a +60°C (–4 a +140°F)

Humedad de almacenamiento
20 a 80% (sin condensación)
Dimensiones 81 × 49 × 165 mm (an/al/prf)
(3 1/4 × 15/16 × 6 1/2 pulgadas)
Peso Aprox. 800 g (1 lb 12 oz)

Micrófono PCS-A1 (opcional)

Ancho de banda
13 kHz
Característica direccional
Omnidireccional
Dimensiones 74 × 16 × 93 mm (an/al/prf)
(3 × 21/32 × 3 3/4 pulgadas)
Peso Aprox. 170 g (6 oz)
Alimentación Por enchufe

Micrófono PCS-A300 (opcional)

Ancho de banda
13 kHz
Característica direccional
Unidireccional
Dimensiones 68 × 16 × 96 mm (an/al/prf)
(2 3/4 × 21/32 × 3 7/8 pulgadas)
Peso Aprox. 200 g (7 oz)
Alimentación Por enchufe

Unidad RDSI PCSA-B384S/ PCS-B384 (opcional)

Alimentación eléctrica
19,5 V
Consumo de energía
0,3 A
Temperatura de funcionamiento
5 a 35°C (41 a 94°F)
Humedad de funcionamiento
20 a 80%
Temperatura de almacenamiento
–20 a +60°C (–4 a +140°F)
Humedad de almacenamiento
20 a 80% (sin condensación)
Dimensiones PCSA-B384S:
165 × 34 × 127 mm (an/al/prf)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pulgadas)
(excluyendo las partes que sobresalen)
PCS-B384:
165 × 34 × 127 mm (an/al/prf)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pulgadas)
(excluyendo las partes que sobresalen)
Peso PCSA-B384S: Aprox. 400 g (14 oz)
PCS-B384: Aprox. 400 g (14 oz)
Accesorios suministrados
Cable de interfaz (5 m, 16,4 pies) (1)
Manual de instrucciones (1)
Folleto de garantía (1)

Unidad RDSI PCSA-B768S/ PCS-B768 (opcional)

Alimentación eléctrica
19,5 V
Consumo de energía
0,5 A
Temperatura de funcionamiento
5 a 35°C (41 a 94°F)
Humedad de funcionamiento
20 a 80%
Temperatura de almacenamiento
–20 a +60°C (–4 a +140°F)
Humedad de almacenamiento
20 a 80% (sin condensación)
Dimensiones PCSA-B768S:
165 × 34 × 127 mm (an/al/prf)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pulgadas)
(excluyendo las partes que sobresalen)
PCS-B768:
165 × 34 × 127 mm (an/al/prf)
(6 1/2 × 1 3/8 × 5 pulgadas)
(excluyendo las partes que sobresalen)
Peso PCSA-B768S: Aprox. 400 g (14 oz)
PCS-B768: Aprox. 400 g (14 oz)
Accesorios suministrados
Cable de interfaz (5 m, 16,4 pies) (1)
Manual de instrucciones (1)
Folleto de garantía (1)

Equipo de conexión de datos PCSA-DSB1S/PCS-DSB1 (opcional)

Alimentación eléctrica
19,5 V
Consumo de energía
1,0 A
Temperatura de funcionamiento
5 a 35°C (41 a 94°F)
Humedad de funcionamiento
20 a 80%
Temperatura de almacenamiento
–20 a +60°C (–4 a +140°F)
Humedad de almacenamiento
20 a 80% (sin condensación)

Dimensiones PCSA-DSB1S:
240 × 37 × 180 mm (an/al/prf)
(9 1/2 × 1 1/2 × 7 1/8 pulgadas)
(excluyendo las partes que sobresalen)
PCS-DSB1:
240 × 33 × 160 mm (an/al/prf)
(9 1/2 × 1 5/16 × 6 3/8 pulgadas)
(excluyendo las partes que sobresalen)
Peso PCSA-DSB1S: Aprox. 1,1 kg (2 lb 7 oz)
PCS-DSB1: Aprox. 850 g (1 lb 14 oz)
Accesorios suministrados
Cable de interfaz (8 m, 26,2 pies) (1)
Manual de instrucciones (1)
Folleto de garantía (1)

Software MCU PCS-320M1 H.320 (opcional)

Dimensiones 50 × 2,8 × 21,5 mm (an/al/prof)
(2 × 1/8 × 7/8 pulgadas)
Peso Aprox. 4 g (0,1 oz)
Accesorios suministrados
Precinto de número de serie (1)
Manual de instrucciones (1)

Software MCU PCS-323M1 H.323 (opcional)

Dimensiones 50 × 2,8 × 21,5 mm (an/al/prof)
(2 × 1/8 × 7/8 pulgadas)
Peso Aprox. 4 g (0,1 oz)
Accesorios suministrados
Precinto de número de serie (1)
Manual de instrucciones (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

ATTENZIONE

Per evitare il pericolo di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità e non aprirlo.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'apparecchio.
Per eventuali riparazioni, rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare il cavo di alimentazione alla presa di corrente, che dovrà trovarsi nei pressi dell'apparecchio e facilmente accessibile.
Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scolleghi il cavo di alimentazione.

AVVERTENZA relativa alla porta LAN

Per ragioni di sicurezza, non collegare la porta LAN ad alcun dispositivo di rete che potrebbe avere una tensione eccessiva.

Montaggio delle batterie

Per il telecomando vengono fornite due batterie R6 (dimensioni AA).
Per evitare il richio di esplosioni, utilizzare le batterie R6 (dimensioni AA) al manganese o alcaline.

AVVERTENZA

L'EVENTUALE SOSTITUZIONE DELLA BATTERIA CON UN TIPO ERRATO PUÒ CAUSARE ESPLOSIONI
SMALTIRE LE BATTERIE USATE CONFORMEMENTE ALLE ISTRUZIONI.

Nel presente manuale, vengono descritte principalmente le modalità di utilizzo delle linee ISDN per la conduzione di videoconferenze, sebbene sia inoltre trattato l'uso di linee non ISDN. Per ulteriori informazioni sull'uso delle linee ISDN, consultare il proprio rivenditore Sony.
- Il servizio ISDN potrebbe non essere disponibile in alcune zone.

Per gli acquirenti in Europa

Attenzione

Questo è un apparecchio di classe A e come tale, in un ambiente domestico, può causare interferenze radio. È necessario quindi che l'utilizzatore adotti gli accorgimenti adeguati.
Nel caso si verifichino interferenze, rivolgersi ad un centro assistenza Sony autorizzato.

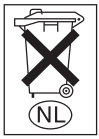
Voor de klanten in Nederland

Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.

Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden.
De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



Per le modalità di smaltimento dell'apparecchio, consultare il centro di assistenza Sony più vicino. La batteria incorporata deve venire smaltita come rifiuto chimico.

Precauzioni

Luoghi in cui attivare o conservare il sistema

Evitare di azionare o conservare il sistema nei seguenti luoghi:

- Luoghi estremamente caldi o freddi
- Luoghi polverosi o soggetti a umidità
- Luoghi esposti a forte vibrazione
- In prossimità di fonti di forti campi magnetici
- In prossimità di fonti di forti radiazioni elettromagnetiche, come trasmittenti radio o TV
- In luoghi rumorosi

Schermo LCD

- Non esporre la superficie dello schermo LCD ai raggi solari. I raggi solari potrebbero danneggiare la superficie dello schermo.
- Non esercitare pressione o graffiare lo schermo LCD, o posizionare oggetti sopra al sistema. L'immagine potrebbe divenire irregolare oppure il display LCD potrebbe danneggiarsi.
- Se il sistema viene utilizzato in luoghi freddi, l'immagine potrebbe risultare macchiata o diventare scura. Ciò non indica la presenza di un guasto. Tali fenomeni tendono a scomparire quando le temperature aumentano.
- Potrebbero comparire delle ombre quando i fermi immagine vengono visualizzati in modo continuo. Tali ombre scompariranno dopo alcuni istanti.
- Lo schermo e le parti esterne si riscaldano quando il sistema è in uso. Non si tratta di un difetto di funzionamento.

Display LCD

- Sebbene il display LCD si basi su una tecnologia ad alta precisione, è possibile che compaiano dei punti neri o che dei punti luminosi (rossi, blu o verdi) compaiano sullo schermo LCD in modo costante. É anche possibile che compaiano strisce e zone a luminosità irregolare quando si adottano angolazioni di visualizzazione specifiche. Si tratta di una proprietà strutturale del display LCD e non di un difetto di funzionamento.

Altoparlanti incorporati

Gli altoparlanti sono fonti di campi magnetici. Per evitare di danneggiare i dati, tenere i nastri e i dischi magnetici lontano dagli altoparlanti.

Pulizia

- Prima della pulizia, scollegare il cavo di alimentazione dalla presa CA.
- La superficie dello schermo LCD ha una finitura di rivestimento speciale. Per rimuovere la polvere dalla superficie dello schermo, passare delicatamente un panno morbido asciutto.
- Non utilizzare solventi volatili come alcol, benzene o diluenti in quanto potrebbero danneggiare le finiture della superficie.
- Quando si utilizza un panno per pulizia contenente agenti chimici, attenersi alle istruzioni con esso fornite.
- Non applicare solventi volatili come un insetticida sullo schermo o lasciare che oggetti in gomma o plastica rimangano a contatto con lo schermo per un periodo di tempo prolungato, in quanto ciò potrebbe danneggiare le finiture della superficie.

Sommario

Quando si utilizza il sistema per la prima volta 5

Accensione del sistema 6

Registrazione di un partecipante remoto per One Touch Dial 7

Chiamata a un partecipante remoto utilizzando One Touch Dial 11

Chiamata a un partecipante remoto non registrato per One Touch Dial ... 12

Regolazione dell'immagine e dell'audio 14

- Regolazione dello zoom e dell'angolatura della videocamera 14
- Regolazione del volume 15
- Regolazione della qualità dell'immagine 15

Conclusione della conferenza 17

- Disconnessione della linea 17

Visualizzazione della funzione Help 18

Connessioni del sistema 19

- Utilizzo dei connettori 19
- Note sulle connessioni 20
- Configurazione del sistema tramite LAN 20
- Connessione del sistema tramite ISDN 21

Utilizzo come schermo di computer o monitor video 22

- Collegamento a un computer 22
- Collegamento a un apparecchio video 23
- Visualizzazione dell'immagine dal computer o dall'apparecchio video 23

Caratteristiche tecniche 26

Il CD-ROM in dotazione contiene le Istruzioni per l'uso, che forniscono informazioni dettagliate sul sistema. Si consiglia di leggere sia le Istruzioni per l'uso che la Guida per l'uso.

Quando si utilizza il sistema per la prima volta

Questa guida descrive brevemente le operazioni di base per una videoconferenza point-to-point utilizzando il sistema di comunicazione video. Consente di acquisire le nozioni necessarie per condurre una conferenza giornaliera dall'inizio alla fine. Per ulteriori informazioni sulle operazioni e le diverse impostazioni necessarie per una conferenza, consultare le Istruzioni per l'uso memorizzate nel CD-ROM in dotazione.

Informazioni sulle Istruzioni per l'uso

Le Istruzioni per l'uso del sistema sono memorizzate nel CD-ROM in dotazione, in formato PDF. Per la lettura, è richiesto Adobe® Acrobat ®* Reader 5.0 (E) o Adobe Reader 6.0 (E). Se Adobe Reader non è installato nel computer, è possibile scaricare la versione più aggiornata dai siti Web descritti di seguito.

Come leggere le Istruzioni per l'uso

1 Inserire il CD-ROM in dotazione intitolato "Manuali per il sistema di comunicazione video" nell'unità CD-ROM del computer.

Dopo pochi secondi, verrà visualizzata una finestra che mostra i file contenuti nel CD-ROM.

2 Fare doppio clic sul file PDF denominato "Italiano".

Viene avviato Adobe Reader, e viene quindi visualizzato il frontespizio delle Istruzioni per l'uso.

Facendo clic su una voce nel Sommario è possibile passare alla pagina corrispondente.

Per installare Adobe Reader 6.0 (E)

Per installare Adobe Reader 6.0 (E) nel computer, è necessario soddisfare i seguenti requisiti hardware e software:

- Un computer con processore Intel ® Pentium ® o 100% compatibile
- Microsoft ® Windows ®**98 SE, Windows Millennium, Windows NT ®** 4.0 Service Pack 5, or Windows 2000 e successivi
- Almeno 64 MB di RAM
- Almeno 70 MB di spazio libero su disco

È possibile ottenere gratuitamente l'ultima versione di Adobe Reader dai seguenti siti Web.

Versione per il Nord America:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

Versione per l'Europa:
http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html

Versione per il Giappone:
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

---

* Adobe e Acrobat sono marchi registrati di Adobe Systems, Incorporated.

** Windows e Windows NT sono marchi registrati di U.S. Microsoft Corporation negli Stati Uniti e negli altri paesi.

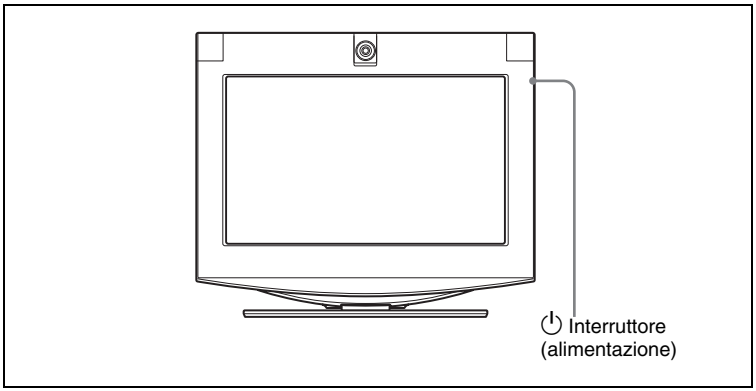
Accensione del sistema

Prima di inserire il sistema, accertarsi che le connessioni del sistema siano state effettuate correttamente.

Per la connessione del sistema, vedere "Connessioni del sistema" a pagina 19.

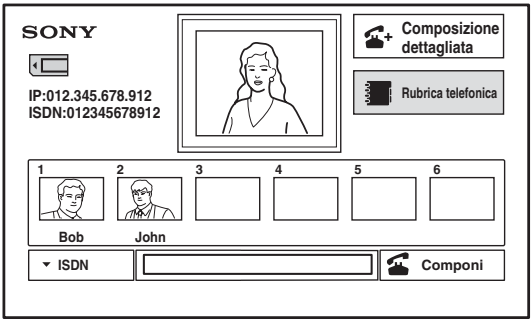
1 Accendere l'apparecchiatura utilizzata per la videoconferenza.

2 Premere l'interruttore (alimentazione) ⏻ sul lato destro del sistema.
La spia dell'interruttore si illumina in verde e il sistema si accende.



3 Verificare che l'otturatore della videocamera sia aperto.
In caso contrario, far scorrere l'interruttore dell'otturatore sulla parte superiore del sistema per aprirlo.

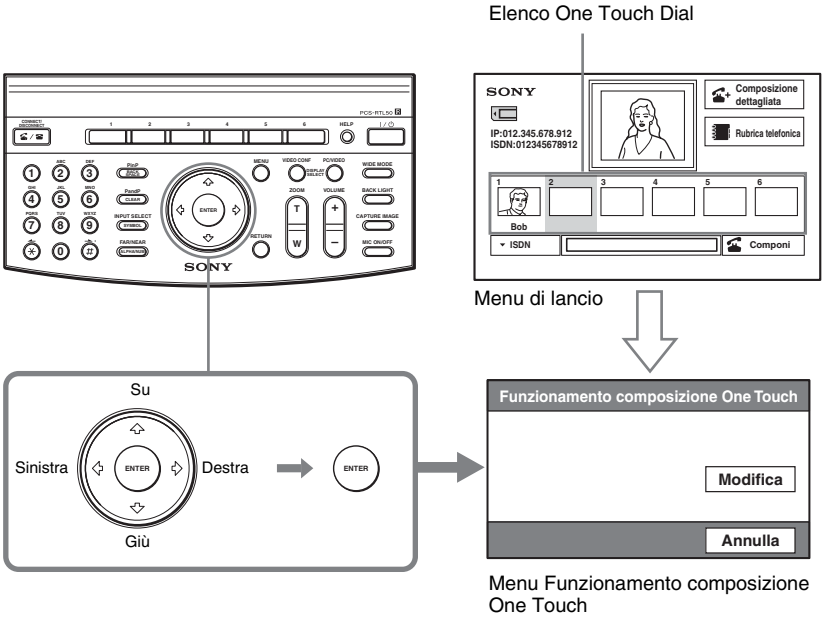
4 Premere il tasto VIDEO CONF del telecomando per visualizzare il menu di lancio.



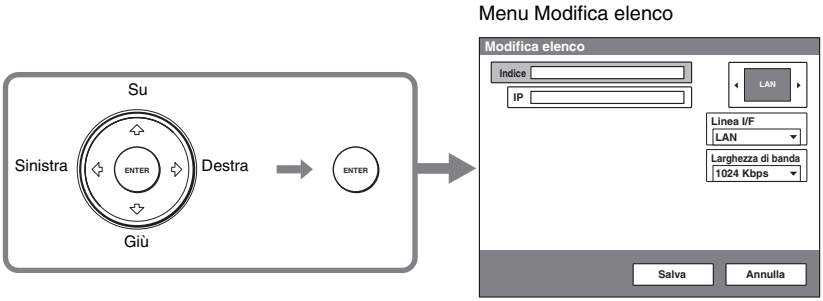
Registrazione di un partecipante remoto per One Touch Dial

È possibile registrare partecipanti remoti nell'elenco One Touch Dial nel menu di lancio; ciò consente di poter contattare i partecipanti facilmente utilizzando i tasti One Touch Dial del telecomando.
Questa sezione illustra la registrazione dei partecipanti remoti per One Touch Dial nel menu di lancio.

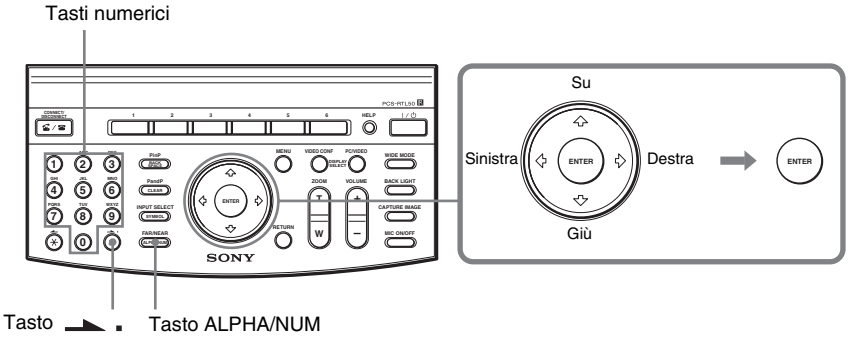
1 Utilizzando il tasto ↑, ↓, ← o → del telecomando, selezionare la voce One Touch Dial per registrare un partecipante remoto, quindi premere il tasto ENTER.
Si apre il menu Funzionamento composizione One Touch Dial.



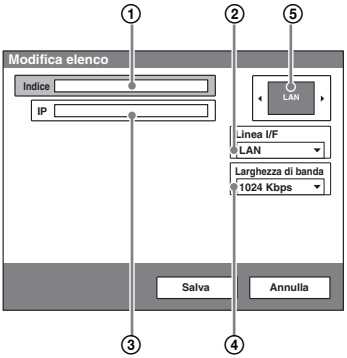
2 Utilizzando il tasto ↑, ↓, ← o → del telecomando selezionare “Modifica”, quindi premere il tasto ENTER.
Viene visualizzato il menu Modifica elenco.



3 Impostare le voci per One Touch Dial.
Utilizzando il tasto ↑, ↓, ← o → selezionare la voce da impostare, quindi premere il tasto ENTER.
È possibile utilizzare i tasti numerici e il tasto . (punto) per immettere le cifre. Premere il tasto ALPHA/NUM (alfa/numerico) per selezionare la modalità di immissione dei tasti numerici.



Quando ci si collega a un partecipante remoto via LAN



① Immettere il nome di un partecipante remoto.

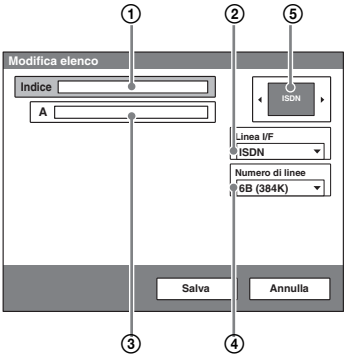
② Selezionare “Linea I/F”, quindi selezionare “LAN” dal sottomenu visualizzato.

③ Selezionare la casella di testo IP, quindi immettere l’indirizzo IP del partecipante remoto utilizzando i tasti numerici e il tasto . (punto) del telecomando.

④ Selezionare “Larghezza di banda LAN”, quindi selezionare la larghezza di banda in uso.

⑤ Selezionare un fermo immagine da visualizzare nell’elenco One Touch Dial.

Quando ci si collega a un partecipante remoto via ISDN



① Immettere il nome di un partecipante remoto.

② Selezionare “Linea I/F”, quindi selezionare “ISDN” dal sottomenu visualizzato.

③ Selezionare la casella di testo del numero di telefono, quindi immettere il numero del partecipante remoto con i tasti numerici del telecomando.

④ Selezionare “Numero di linee”, quindi selezionare il numero di canali da utilizzare per la chiamata al partecipante remoto.

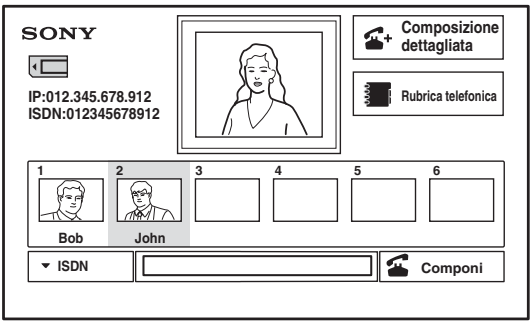
⑤ Selezionare un fermo immagine da visualizzare nell’elenco One Touch Dial.

4 Utilizzando i tasti ↑, ↓, ← o → del telecomando selezionare “Salva”, quindi premere il tasto ENTER.

Viene visualizzato il menu Rubrica telefonica.

Le voci di impostazione vengono registrate nella Rubrica telefonica nel momento in cui vengono registrate nell’elenco One Touch Dial del menu di lancio.

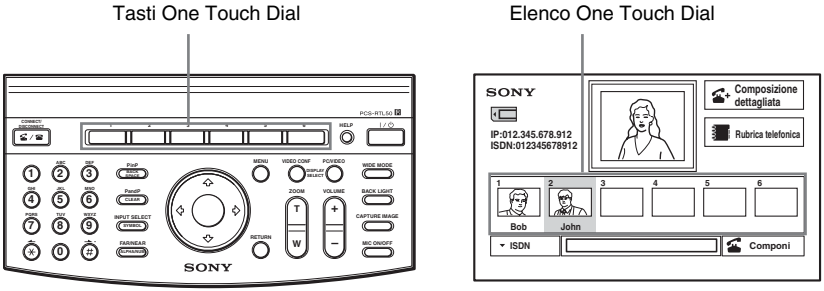
Menu di lancio



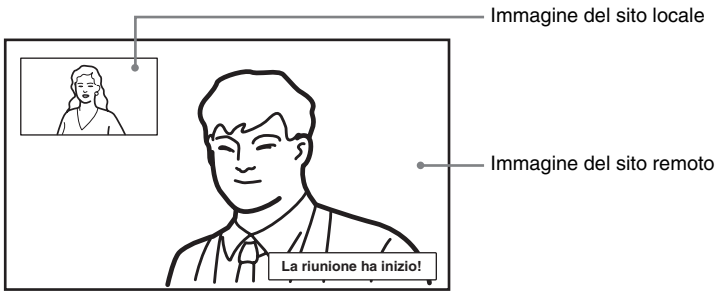
Chiamata a un partecipante remoto utilizzando One Touch Dial

Una volta che il partecipante remoto è stato registrato nell'elenco One Touch Dial, è possibile chiamarlo utilizzando la funzione One Touch Dial.

1 Premere il tasto One Touch Dial da 1 a 6 su cui è stato registrato il partecipante remoto.



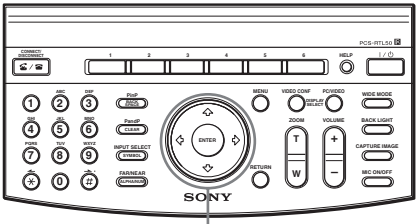
Il sistema inizia a contattare il partecipante remoto selezionato. Sullo schermo compare "Chiamata in corso (LAN)" o "Chiamata in corso (ISDN)".
Quando il sistema si collega al sistema remoto, viene visualizzato il messaggio "La riunione ha inizio!".
La videoconferenza può avere inizio.

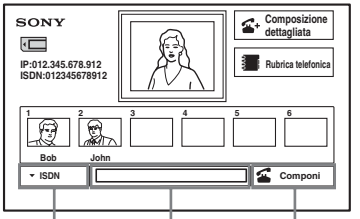


Chiamata a un partecipante remoto non registrato per One Touch Dial

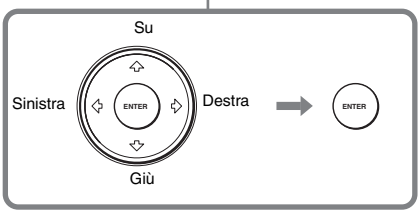
1 Selezionare l'interfaccia di linea dall'elenco a comparsa nella parte inferiore del menu di lancio.

Premere il tasto ↑, ↓, ← o → per selezionare il tasto dell'interfaccia di linea nella parte inferiore del menu di lancio, quindi premere il tasto ENTER per visualizzare l'elenco a comparsa. Selezionare l'interfaccia di linea premendo il tasto ↑ o ↓, quindi premere il tasto ENTER.





Interfaccia di linea Casella di testo Componi



LAN: collega il sistema di videoconferenza al partecipante remoto tramite connessione LAN.

Telefonata: collega al telefono ISDN di un partecipante remoto per condurre una riunione telefonica tramite connessione ISDN.

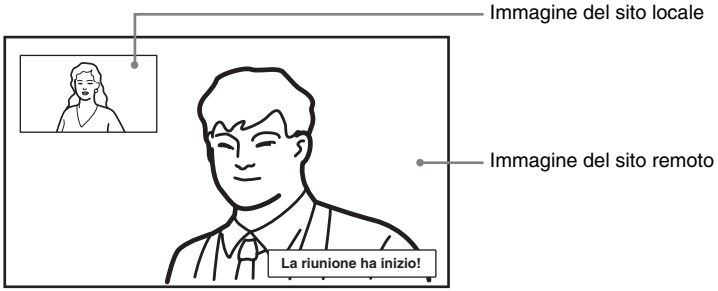
ISDN: collega al sistema di videoconferenza del partecipante remoto tramite connessione ISDN.

2 Inserire l'Indirizzo IP (per LAN) o il numero di telefono ISDN (per ISDN o per la telefonata) del partecipante remoto nella casella di testo.

Premere il tasto ↑, ↓, ← o → del telecomando per selezionare la casella di testo, quindi premere il tasto ENTER. Inserire i numeri utilizzando i tasti numerici del telecomando.

3 Premere il tasto ↑, ↓, ← o → del telecomando per selezionare "Componi", quindi premere il tasto ENTER. Oppure premere il tasto CONNECT/ DISCONNECT (/) del telecomando.

Il sistema inizia a chiamare l'indirizzo IP o il numero di telefono ISDN inserito al punto 2. "Chiamata in corso (LAN)" o "Chiamata in corso (ISDN)" viene visualizzato sullo schermo.
Quando il sistema si collega al sistema remoto, viene visualizzato il messaggio "La riunione ha inizio!".
La videoconferenza può avere inizio.

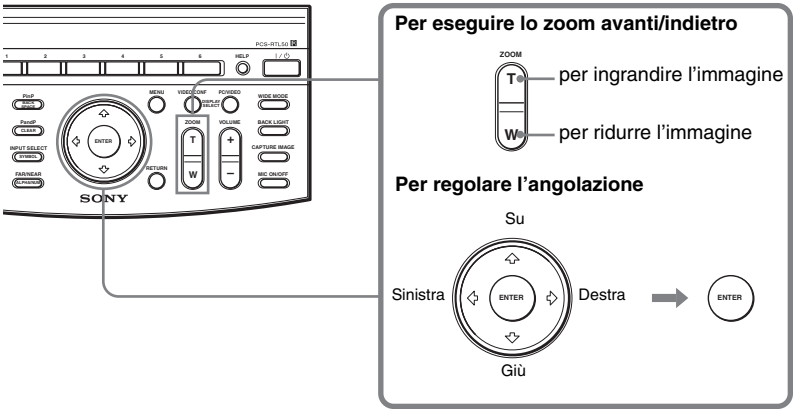


Regolazione dell’immagine e dell’audio

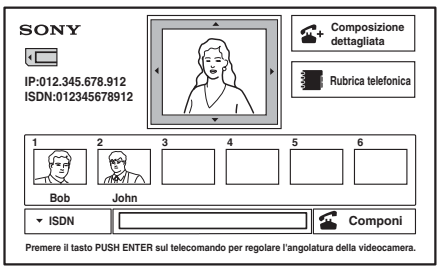
Regolazione dello zoom e dell’angolatura della videocamera

Per eseguire la regolazione quando non è in corso una comunicazione

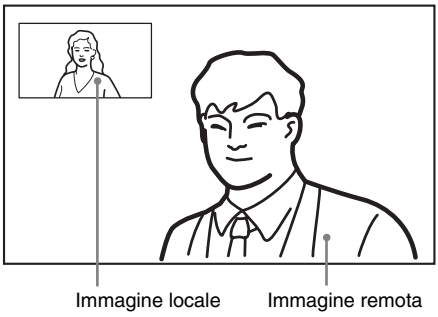
Utilizzando il tasto ↑, ↓, ← o → del telecomando, selezionare l’immagine nel menu di lancio, quindi premere il tasto ENTER.
Utilizzare il tasto ZOOM T/W per regolare lo zoom avanti o indietro e il tasto ↑, ↓, ← o → per regolare l’angolatura della videocamera.
Dopo la regolazione, premere il tasto ENTER.



Quando non è in corso una comunicazione



Quando è in corso una comunicazione



Per eseguire la regolazione quando è in corso una comunicazione

È possibile regolare lo zoom e l’angolatura dell’immagine del sito locale mediante i tasti ZOOM T/W e ↑/↓/←/→ del telecomando.
Per la regolazione dello zoom e dell’angolatura della videocamera dell’immagine del sito remoto, consultare le Istruzioni per l’uso.

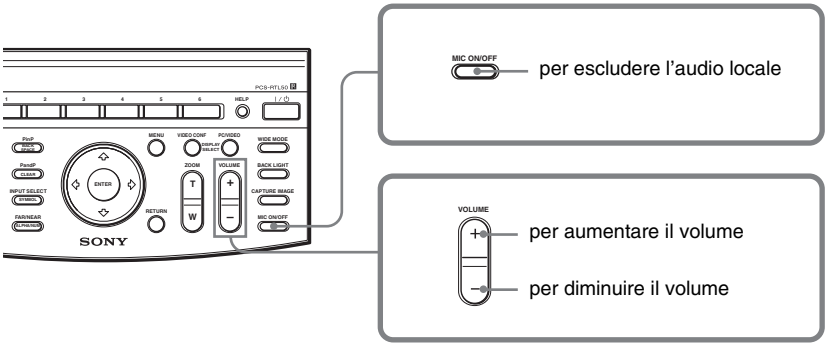
Regolazione del volume

Per regolare il volume dell'audio ricevuto dal partecipante remoto

Premere il tasto VOLUME +/- sul telecomando.

Per escludere l'invio dell'audio locale al partecipante remoto

Premere il tasto MIC ON/OFF del telecomando.
Sullo schermo viene visualizzato l'indicatore "MIC OFF". Per ripristinare l'audio, premere nuovamente il tasto MIC ON/OFF.

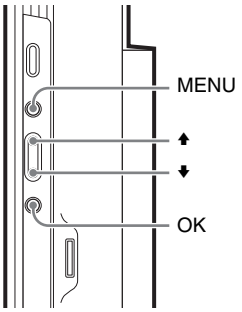


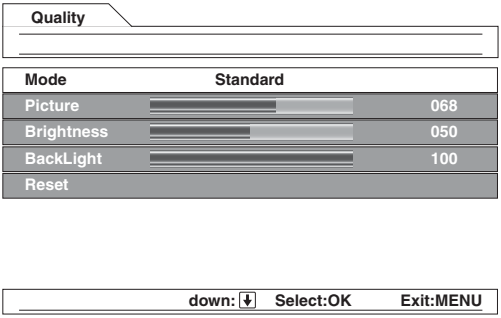
Regolazione della qualità dell'immagine

È possibile regolare la qualità dell'immagine sullo schermo utilizzando i tasti MENU, ↑/↓ e OK sul lato destro del sistema di comunicazione video.

1 Premere il tasto MENU sul lato destro del sistema.
Viene visualizzato il menu Qualità dell'immagine.

Lato destro





2 Premere il tasto ↑ o ↓ per selezionare la voce di impostazione, quindi premere il tasto OK.
Viene visualizzato il menu di regolazione della voce selezionata.

3 Premere il tasto ↑ o ↓ sul lato destro del sistema per regolare la qualità dell'immagine, quindi premere il tasto OK.

4 Premere il tasto MENU per uscire dal menu.

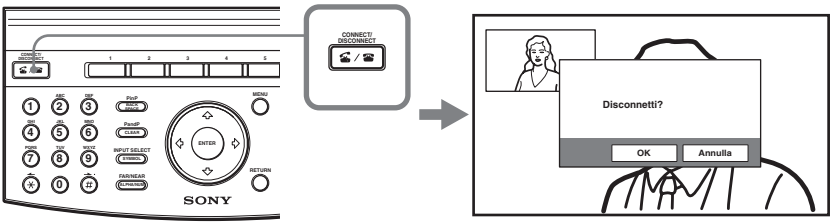
Ripristino della qualità dell'immagine predefinita

Selezionare "Reimpostare", la voce di impostazione più in basso, quindi premere il tasto OK.

Conclusione della conferenza

Disconnessione della linea

1 Premere il tasto CONNECT/DISCONNECT (/) del telecomando.
Sullo schermo viene visualizzato il messaggio “Disconnetti?”.



2 Premere il tasto ← o → del telecomando per selezionare “OK”, quindi premere il tasto ENTER oppure il tasto CONNECT/DISCONNECT (/).
La linea viene disconnessa e viene ripristinato il menu di lancio.

Impostazione della modalità di standby

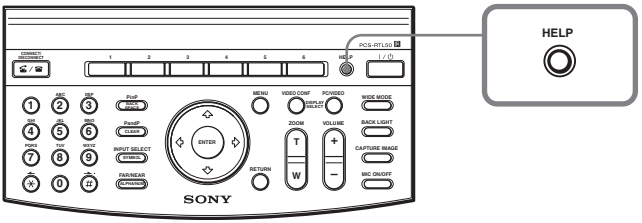
Premere il pulsante I/⏻ sul telecomando, e apparirà il messaggio “Spegnere il display e impostare su modalità standby?” Premere il pulsante ← o → per selezionare OK, quindi premere il pulsante ENTER.
Nella modalità standby è possibile ricevere una chiamata da un partecipante remoto.

Per spegnere il sistema

Per spegnere il sistema e disattivare i dispositivi utilizzati per la videoconferenza, premere l’interruttore (alimentazione) ⏻ sul lato destro del sistema per più di un secondo.

Visualizzazione della funzione Help

Premendo il tasto HELP sul telecomando viene visualizzato un fumetto o una schermata di guida per fornire indicazioni sulla maggior parte delle operazioni visualizzate sullo schermo.



Per nascondere la guida, premere nuovamente il tasto HELP.

Connessioni del sistema

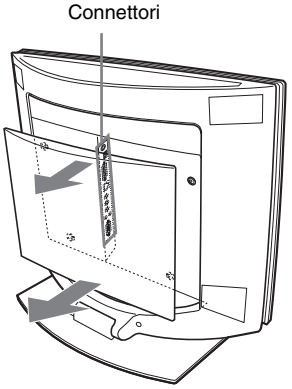
La presente sezione descrive le connessioni tipiche del sistema.

Utilizzo dei connettori

I connettori si trovano nella parte interna del coperchio posteriore. Quando si utilizzano i connettori, rimuovere il coperchio posteriore, collegare i cavi ai connettori e rimontare il coperchio.

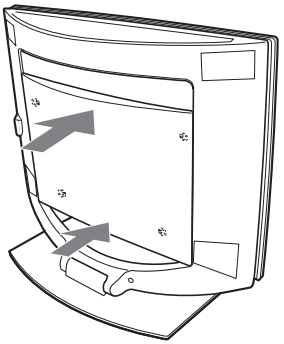
Per rimuovere il coperchio posteriore

Tirare il coperchio posteriore.



Per rimontare il coperchio posteriore

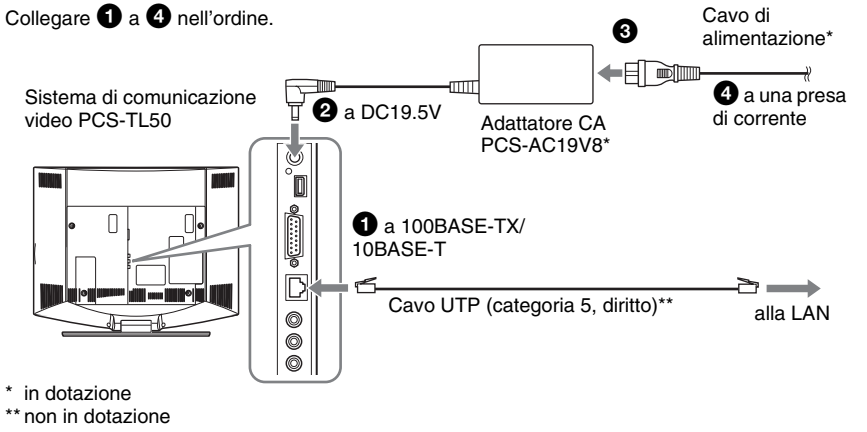
Allineare le quattro sporgenze sul coperchio posteriore ai fori sulla parte posteriore dell'unità e premere il coperchio.



Note sulle connessioni

- Accertarsi di disinserire tutte le apparecchiature prima di effettuare eventuali connessioni.
- Utilizzare solamente l'adattatore CA e il cavo di alimentazione forniti assieme al sistema. Non utilizzare mai l'altro adattatore CA o il cavo di alimentazione.
- Inserire la spina CA e la spina CC dell'adattatore CA il più profondamente possibile, in modo che siano ben fissate.
- Non collegare/scollegare un cavo con l'alimentazione inserita. L'inosservanza di questa istruzione potrebbe danneggiare il sistema di comunicazione video.
- Ai fini della sicurezza, non collegare il connettore 100BASE-TX/10BASE-T ad una rete che applica tensione eccessiva tramite il connettore 100BASE-TX/10BASE-T.

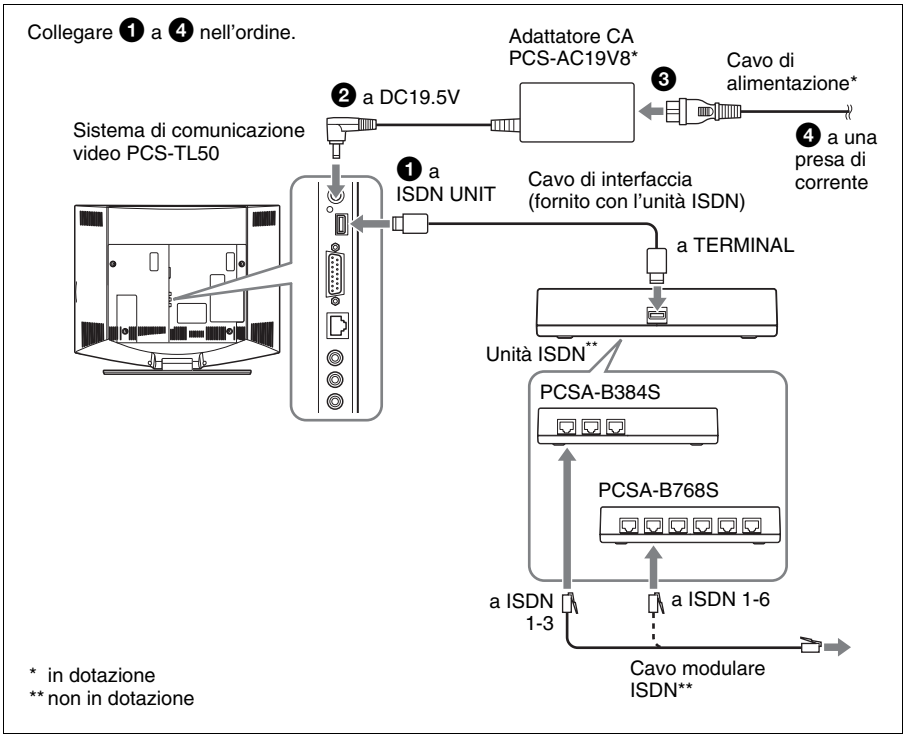
Configurazione del sistema tramite LAN



Connessione del sistema tramite ISDN

Note

- Non collegare/scollegare il cavo di interfaccia con l'alimentazione inserita. L'inosservanza di questa istruzione potrebbe danneggiare il sistema di comunicazione video o l'unità ISDN.
- Quando viene utilizzato per la prima volta con l'unità ISDN, è possibile che il sistema di comunicazione video aggiorni automaticamente il software dell'unità ISDN. Durante la visualizzazione del messaggio di aggiornamento in corso, non spegnere il sistema di comunicazione video. L'inosservanza di questa istruzione potrebbe causare il malfunzionamento del sistema.



Utilizzo come schermo di computer o monitor video

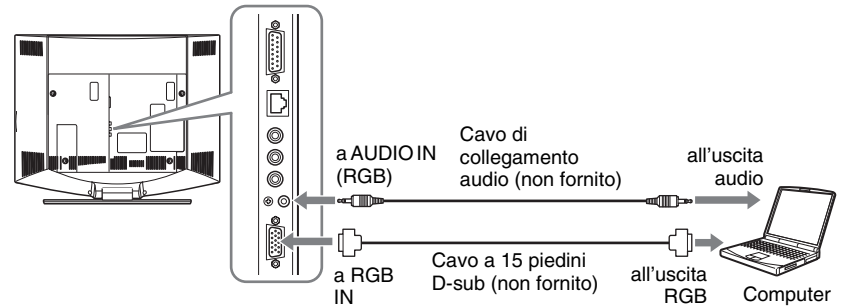
Quando non si conduce una videoconferenza, è possibile utilizzare lo schermo del sistema di comunicazione video come schermo del computer o monitor video.

Collegamento a un computer

Rimuovere il coperchio posteriore del sistema di comunicazione video e collegare un computer.

Per la rimozione del coperchio posteriore, vedere pagina 19.

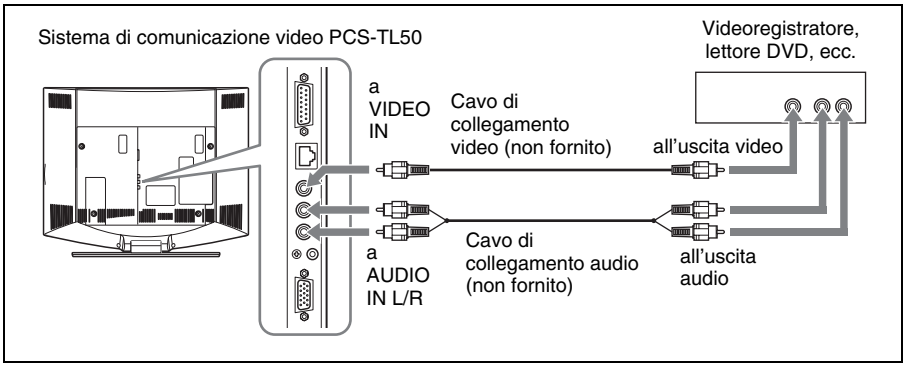
Sistema di comunicazione video PCS-TL50



Collegamento a un apparecchio video

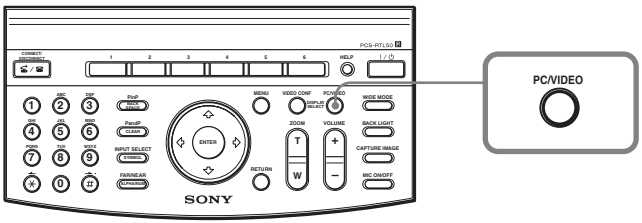
Rimuovere il coperchio posteriore del sistema di comunicazione video e collegare un apparecchio video.

Per la rimozione del coperchio posteriore, vedere pagina 19.


Sistema di comunicazione video PCS-TL50
Videoregistratore, lettore DVD, ecc.
a VIDEO IN
Cavo di collegamento video (non fornito)
all'uscita video
a AUDIO IN L/R
Cavo di collegamento audio (non fornito)
all'uscita audio

Visualizzazione dell'immagine dal computer o dall'apparecchio video

1 Premere il tasto PC/VIDEO del telecomando per selezionare l'ingresso.
Ad ogni pressione del tasto, l'immagine dal computer collegato al connettore RGB IN del sistema e l'immagine dell'apparecchio video collegato al jack VIDEO IN vengono alternate nella visualizzazione.



L'audio dall'ingresso selezionato viene emesso dagli altoparlanti del sistema di comunicazione video in modalità stereo, quando è collegato il cavo audio.

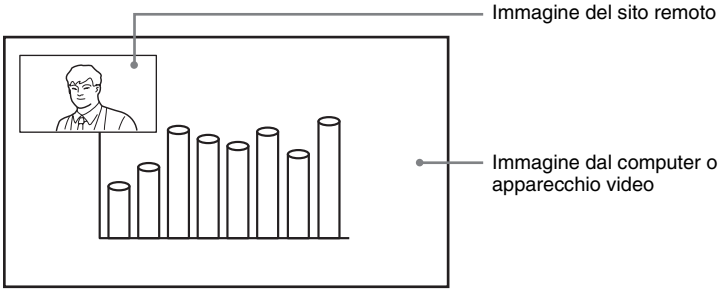
2 Regolare il volume dell'audio mediante i tasti VOLUME +/– del telecomando.

3 Regolare la qualità dell'immagine utilizzando i tasti MENU, ↑/↓ e OK sul lato destro del sistema.

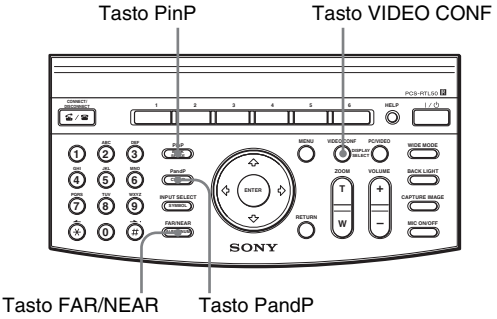
Per le regolazioni, vedere "Regolazione della qualità dell'immagine" a pagina 15.

Per visualizzare l’immagine dal computer o dall’apparecchio video durante una videoconferenza

Se si riceve una chiamata durante la visualizzazione dell’immagine dal computer o dall’apparecchio video sullo schermo, il sistema passa alla modalità Immagine nell’immagine e l’immagine del partecipante remoto viene visualizzata come una finestra.



È possibile modificare manualmente la modalità di visualizzazione utilizzando i seguenti tasti.



Modifica della posizione dell’immagine della videoconferenza nella finestra

Premere il tasto PinP del telecomando.

Visualizzazione della sola immagine della videoconferenza

Premere il tasto VIDEO CONF del telecomando.
Premere nuovamente il tasto PC/VIDEO per visualizzare solo l’immagine dal computer o dall’apparecchio video.

Visualizzazione simultanea dell'immagine della videoconferenza e dell'immagine dal computer o dall'apparecchio video

Premere il tasto PandP del telecomando.
L'immagine dal computer o dall'apparecchio video viene visualizzata sulla sinistra (immagine principale) e l'immagine della videoconferenza sulla destra (immagine secondaria).

Scambio tra l'immagine remota della videoconferenza e l'immagine locale

Premere il tasto FAR/NEAR sul telecomando e modificare l'impostazione "Immagine", "Remota" o "Locale" nel menu Controllo Immagine.

Nota

Le funzioni Immagine nell'immagine e Immagine-e-Immagine non sono disponibili quando non si comunica con il partecipante remoto.

Caratteristiche tecniche

Sistema di comunicazione video PCS-TL50

La presente unità è conforme alle raccomandazioni H.320 e H.323 ITU-T.

Immagini in movimento

Larghezza di banda di funzionamento
- Da 64 Kbps a 1920 Kbps (standard, connessione LAN)
- Da 56 Kbps a 768 Kbps (quando si installa il PCSA-B768S, connessione ISDN)
- Da 56 Kbps a 384 Kbps (quando si installa il PCSA-B384S, connessione ISDN)

Codifica
- H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/SIF interlacciata (raccomandazione ITU-T)
- Profilo semplice MPEG4 (quando si usa una rete LAN)

Elementi immagine
- CIF: 352 pixel × 288 linee
- QCIF: 176 pixel × 144 linee

Sistema di colore
- NTSC

Fermo immagine

Pixel
- 704 pixel × 480 linee

Codifica
- H.261 (Raccomandazione ITU-T) Annex. D (4CIF)
- H.263 (formato speciale di questo sistema)

Audio

Larghezza di banda
- 14 kHz (MPEG4 Audio)
- 7 kHz (G.722/G.722.1 conforme alle raccomandazioni ITU-T)
- 3,4 kHz (G.711/G.723.1/G.728/G.729 conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Velocità di trasmissione
- 56 Kbps, 64 Kbps (G.711 conforme alle raccomandazioni ITU-T)
- 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 conforme alle raccomandazioni ITU-T)
- 64 Kbps, 96 Kbps (MPEG4 Audio) (quando si usa una rete LAN)
- 24 Kbps, 32 Kbps (G.722.1, raccomandazione ITU-T) (quando si usa una rete LAN)
- 16 Kbps (G.728 conforme alle raccomandazioni ITU-T)
- 8 Kbps (G.729, conforme alle raccomandazioni ITU-T) (quando si usa una rete LAN)
- 5,3 Kbps, 6,3 Kbps (G.723.1, raccomandazione ITU-T) (quando si usa una rete LAN)

Rete

Trasmissione in multiplex
- Video, audio, dati

Formato fotogramma
- H.221 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Interfaccia
- LAN (standard), da 64 Kbps a 1920 Kbps
- ISDN (BRI), fino a 6 linee (se è stato installato il PCSA-B768S) fino a 3 linee (se è stato installato il PCSA-B384S)

Velocità di trasmissione dati
- LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps
- MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
- HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

Protocollo LAN supportato
- HTTP
- FTP
- Telnet
- RTP/RTCP
- TCP/UDP

Controllo a distanza

Controllo videocamera remota
- H.281 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Trasferimento dati
- T.120 (conforme alle raccomandazioni ITU-T)

Videocamera

Segnale video
- Standard EIA, colore NTSC

Dispositivo immagine
- CCD (Charge Coupled Device) da 1/3 di pollice
- Ca. 410.000 pixel (Effettivi: ca. 380.000 pixel)

Obiettivo
- f = 4.0 mm, F 2.0, Angolo orizzontale ca. 70°

Distanza focale
- 500 mm

Illuminazione minima
- 1 lux a F 2,0/50 IRE

Azione panoramica/inclinazione
Panoramica/inclinazione digitale
Funzione di Bilanciamento del bianco incorporata
Funzione iride elettronica incorporata

Schermo

Dimensioni 20 pollici
Rapporto di formato
16: 9
Risoluzione 1280 × 768
Luminanza 400 Cd/m^2 o superiore
Tempo di risposta
15 ms o meno
Rapporto di contrasto
500: 1
Angolo di visione
160 gradi o oltre
Numero di colori
16.700.000 colori

Controllo immagine

PinP 4 angoli
PandP Due finestre
Ingresso Interno: Comunicazione video
RGB esterno: Display computer
Video esterno: Ingresso video esterno (rilevamento automatico NTSC/PAL)
Modalità Grandangolo
Normale, Zoom, Grandangolo, Grandangolo zoom
Modalità RGB
640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, ecc.
La visualizzazione di immagini ingrandite è possibile.
Regolazioni del volume
Fisso per il sistema di comunicazione video
Regolabile dall'amplificatore sulla scheda dello schermo
Regolazioni OSD
Luminosità, tonalità, spostamento, larghezza, altezza, ecc.

Diffusore

Diffusore 3 W × 2

Microfono

Campo di frequenza
15 kHz
Caratteristiche direzionali
Direzionale ad angolo diretto

Dati generali

Alimentazione
19,5 V
Consumo di corrente
7,7 A
Temperatura di utilizzo
Da 5°C a 35°C
Umidità durante l'esercizio
da 20% a 80%
Temperatura di deposito
Da -20°C a +60°C
Umidità di deposito
da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni 528 × 445 × 110 mm (l/a/p) (supporto escluso)
528 × 445 × 265 mm (l/a/p) (supporto incluso)
Peso Circa 10 kg
Accessori in dotazione
Telecomando PCS-RTL50 (1)
Pile formato AA (R6) per il telecomando (2)
Adattatore CA PCS-AC19V8 (1)
Cavo di alimentazione (1)
CD-ROM (1)
Guida per l'uso (1)
Guida di collegamento rapido/ Guida del telecomando (1)
Garanzia (1)

Telecomando PCS-RTL50

Formato del segnale
SIRCS infrarosso
Controllo 3V DC mediante due pile formato AA (R6)
Dimensioni 168 × 19 × 88 mm (l/a/p) (escluse le parti sporgenti)
Peso Circa 180 g (pile comprese)

Adattatore PCS-AC19V8

Alimentazione
Da 100 a 240V CA, 50/60 Hz, da 2,2 A a 1,0 A
Uscita 19,5 V, 7,7A
Temperatura di utilizzo
Da 5°C a 35°C
Umidità durante l'esercizio
da 20% a 80%
Temperatura di deposito
Da -20°C a +60°C
Umidità di deposito
da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni 81 × 49 × 165 mm (l/a/p)
Peso Circa 800 g

Microfono PCS-A1 (opzionale)

Larghezza di banda
13 kHz
Caratteristiche direzionali
Omnidirezionale
Dimensioni 74 × 16 × 93 mm (l/a/p)
Peso Circa 170 g
Alimentazione
Alimentazione mediante presa

Microfono PCS-A300 (opzionale)

Larghezza di banda
13 kHz
Caratteristiche direzionali
Unidirezionale
Dimensioni 68 × 16 × 96 mm (l/a/p)
Peso Circa 200 g
Alimentazione
Alimentazione mediante presa

Unità ISDN PCSA-B384S/PCS-B384 (opzionale)

Alimentazione
19,5 V
Consumo di corrente
0,3 A
Temperatura di utilizzo
Da 5°C a 35°C
Umidità durante l'esercizio
da 20% a 80%
Temperatura di deposito
Da -20°C a +60°C
Umidità di deposito
da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni PCSA-B384S:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p)
(escluse le parti sporgenti)
PCS-B384:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p)
(escluse le parti sporgenti)
Peso PCSA-B384S: circa 400 g
PCS-B384: circa 400 g
Accessori in dotazione
Cavo di interfaccia (5 m) (1)
Istruzioni per l'uso (1)
Garanzia (1)

Unità ISDN PCSA-B768S/PCS-B768 (opzionale)

Alimentazione
19,5 V
Consumo di corrente
0,5 A
Temperatura di utilizzo
Da 5°C a 35°C
Umidità durante l'esercizio
da 20% a 80%
Temperatura di deposito
Da -20°C a +60°C
Umidità di deposito
da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni PCSA-B768S:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p)
(escluse le parti sporgenti)
PCS-B768:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p)
(escluse le parti sporgenti)
Peso PCSA-B768S: circa 400 g
PCS-B768: circa 400 g
Accessori in dotazione
Cavo di interfaccia (5 m) (1)
Istruzioni per l'uso (1)
Garanzia (1)

Data Solution Box PCSA-DSB1S/ PCS-DSB1 (opzionale)

Alimentazione
19,5 V
Consumo di corrente
1,0 A
Temperatura di utilizzo
Da 5°C a 35°C
Umidità durante l'esercizio
da 20% a 80%
Temperatura di deposito
Da -20°C a +60°C
Umidità di deposito
da 20% a 80% (senza condensa)
Dimensioni PCSA-DSB1S:
240 × 37 × 180 mm (l/a/p)
(escluse le parti sporgenti)
PCS-DSB1:
240 × 33 × 160 mm (l/a/p)
(escluse le parti sporgenti)
Peso PCSA-DSB1S: Circa 1,1 kg
PCS-DSB1: Circa 850 g
Accessori in dotazione
Cavo di interfaccia (8 m) (1)
Istruzioni per l'uso (1)
Garanzia (1)

Software MCU PCS-320M1 H.320 (opzionale)

Dimensioni 50 × 2,8 × 21,5 mm (l/a/p)
Peso Circa 4 g
Accessori in dotazione
Sigillo numero di serie (1)
Istruzioni per l'uso (1)

Software MCU PCS-323M1 H.323 (opzionale)

Dimensioni 50 × 2,8 × 21,5 mm (l/a/p)
Peso Circa 4 g
Accessori in dotazione
Sigillo numero di serie (1)
Istruzioni per l'uso (1)

Design e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

警告

为避免火灾或电击危险，请勿将本机暴露于雨水或置于潮湿环境下。

为避免电击，请勿拆卸机壳。维修事宜应仅由合格维修人员进行。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源线与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。
在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源线。

LAN 端口注意事项

为了安全起见，请不要将 LAN 端口连接到任何有过电压的网络设备。

安装电池

遥控器附带 2 节 R6（AA 型）电池。
为了避免爆炸的危险，请使用 R6（AA 型）锰电池或碱性电池。

注意

如果更换的电池型号不正确，就会有爆炸的危险。
请按照说明处理废旧电池。

本说明书主要介绍使用 ISDN 线路召开电视会议的方法，但也包括对非 ISDN 线路的说明。如果您使用 ISDN 线路，请咨询 Sony 经销商以获取更多信息。
• 在某些地区，可能不提供 ISDN 服务。

对于欧洲用户

警告

此为 A 类产品。当在居住环境中使用时，此产品可能会产生电磁干扰。在此情况下，用户会被要求采取某些适当的对策。
在有干扰存在的情况下，请联系离您最近的 Sony 维修机构。

如果您将本机弃置不用，请联系临近的 Sony 维修中心。其中内置的电池必须作为化学废弃品处理。

使用前须知

使用和存放地点

避免在以下环境中使用或存放此系统：

- 过热或过冷的地方
- 潮湿或有灰尘的地方
- 暴露在有强烈振动的环境中
- 靠近强磁性物体的地方
- 靠近有强电磁辐射的地方，如收音机或电视发射机附近
- 有噪声的地方

LCD 屏幕

- 不要将 LCD 屏幕表面暴露在阳光下，这样会损坏屏幕表面。
- 不要按 LCD 屏幕，也不要在上面划刻，不要在此系统上面放置其它物品。否则图像显示会不稳定，或者会将 LCD 面板损坏。
- 如果在寒冷的地方使用此系统，画面中会出现拖尾的现象，或者画面会变暗。这并不是系统出现了故障。当温度升高时此现象就会有所改善。
- 当连续显示静止图像时屏幕中会出现重影现象。经过一段时间后此现象会消失。
- 系统在使用过程中其屏幕和机壳温度会升高。这并非故障。

LCD 显示屏幕

- 尽管 LCD 显示屏幕是采用高精密技术生产的，但屏幕上还是时常会出现黑点或亮点 （红色、蓝色或绿色）。当您从特定角度观看屏幕时，屏幕中还会出现彩色条纹和亮度不均匀的情况。这是 LCD 屏幕的固有特性，而并非故障。

内置扬声器

扬声器会产生磁场。为了避免数据被损坏，请不要将磁带和磁盘放在扬声器附近。

清洁

- 在清洁之前，请将电源线从 AC 电源插座中拔出。
- LCD 表面带有一种特殊涂层。要清除屏幕表面的灰尘，请使用一块干燥的软布轻轻擦拭。
- 请不要使用挥发性溶剂，如酒精、苯或稀释剂，它们会损坏屏幕表面的涂层。
- 当您使用化学清洁布时，请仔细阅读附带的使用说明。
- 请不要将挥发性溶剂喷在屏幕表面上，也不要使用橡皮或塑料物品长时间接触屏幕，否则会将屏幕表面损坏。

目录

当您首次使用此系统时 5
打开系统 6
注册对方进行单键拨号 7
使用单键拨号呼叫对方 11
呼叫未注册单键拨号的对方 12
调整图像和声音 14
　调整摄像机焦距和角度 14
　调整图像质量 15
　调整音量 15
结束会议 17
　断开线路 17
显示帮助 18
系统连接 19
　使用接口 19
　连接说明 20
　通过 LAN 的系统连接 20
　通过 ISDN 的系统连接 21
用作计算机显示器 / 视频监视器 ..22
　连接到计算机 22
　连接到视频设备 22
　显示来自计算机或视频设备的图像 23
规格说明 25

附带的 CD-ROM 中含有对此系统进行了详细介绍的操作说明。请仔细阅读操作说明和操作指南。

当您首次使用此系统时

此指南简要介绍使用 PCS-TL50 会议电视终端召开点到点电视会议的基本操作。您将了解召开日常电视会议的整个操作过程。有关操作详情和召开电视会议所需的各种设置，请参见附带 CD-ROM 中的操作说明。

关于操作说明

该系统的操作说明以 PDF 格式储存在附带的 CD-ROM 中。建议您使用 Adobe® Acrobat®* Reader 5.0 （E）或 Adobe Reader 6.0 （E）来阅读。如果您的计算机上没有安装 Adobe Reader，您可以从以下网站下载最新的版本。

如何阅读操作说明

1 将标有 “会议电视终端使用手册”的 CD-ROM 放入您计算机的 CD-ROM 驱动器中。
经过很短一段时间后，计算机屏幕中会出现一个窗口，其中显示了 CD-ROM 上的文件。

2 双击名称为 “English”的 PDF 文件。
Adobe Reader 将启动，然后会显示操作说明书的封面。

单击目录中的项目跳转到相应的页面。

要安装 Adobe Reader 6.0 （E）

要在您的计算机上安装 Adobe Reader 6.0 （E），您需要下列硬件及软件：

- 带有 Intel® Pentium® 或 100% 兼容处理器的计算机
- Microsoft® Windows ®**98 SE, Windows Millennium, Windows NT ®** 4.0 Service Pack 5 或 Windows 2000 和更高操作系统
- 不小于 64 MB 的 RAM
- 不少于 70 MB 的可用磁盘空间

您可以从以下网站免费获得最新版本的 Adobe Reader。

北美版：
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

欧洲版：
http://www.adobe.com/products/acrobat/acrrcenteuro.html

日语版：
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

* Adobe 和 Acrobat 为 Adobe Systems, Incorporated 的商标。
** Windows 和 Windows NT 为美国 Microsoft Corporation 在美国和其它国家的注册商标。

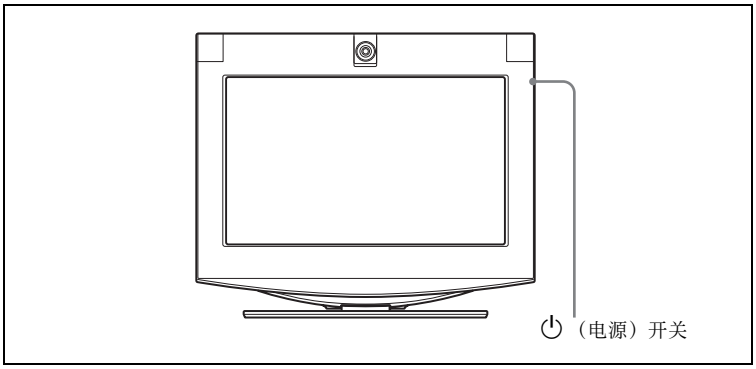
打开系统

在打开系统之前，请确定系统已经正确完成连接。

有关连接系统的详情，请参见第 19 页的 “系统连接”。

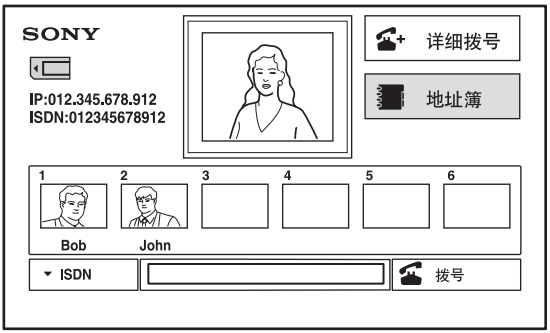
1 打开召开电视会议的设备。

2 按系统右侧的 ⏻（电源）开关。
此开关的指示灯变为绿灯，同时系统打开。



3 确保会议电视终端摄像机的挡板是打开的。
如果它是关闭的，推系统顶部的挡板开关以打开挡板。

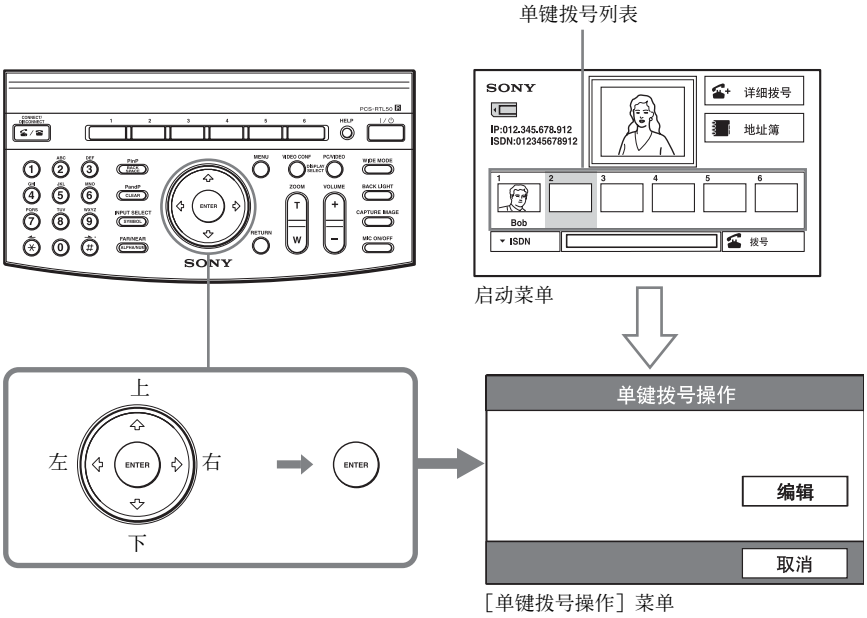
4 按遥控器上的 VIDEO CONF 按钮以显示启动菜单。



注册对方进行单键拨号

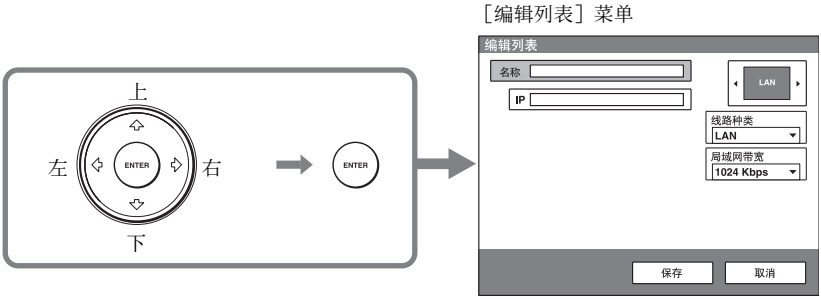
您可以在启动菜单的单键拨号列表中注册对方，然后就可以使用遥控器上的单键拨号按钮进行拨号。
本节内容向您介绍如何在启动菜单中注册用于单键拨号的对方。

1 使用遥控器上的 ↑、↓、← 或 → 按钮选择单键拨号以注册对方，然后按 ENTER 按钮。
将打开 ［单键拨号操作］菜单。

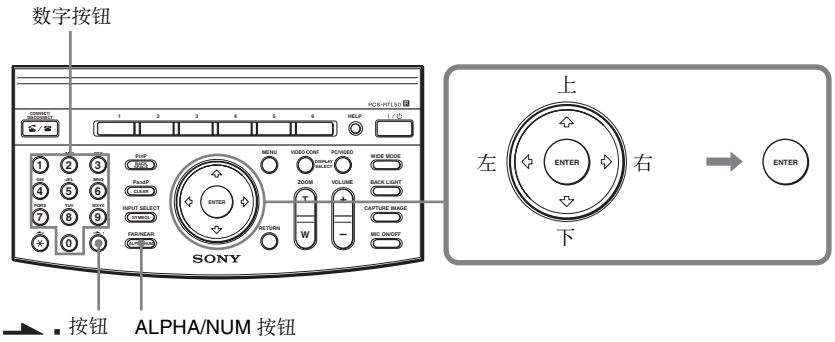


［单键拨号操作］菜单

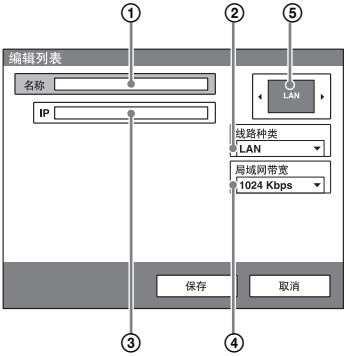
2 使用遥控器上的 ↑、↓、← 或 → 按钮选择 “编辑”，然后按 ENTER 按钮。
此时出现 ［编辑列表］菜单。



3 设置单键拨号项目。
使用 ↑、↓、← 或 → 按钮选择要设置的项目，然后按 ENTER 按钮。
您可以使用数字按钮和 . （点号）按钮输入数字。按 ALPHA/NUM （字母 / 数字）按钮选择数字按钮的输入模式。



当您通过 LAN 连接到对方时



① 输入对方的名称。

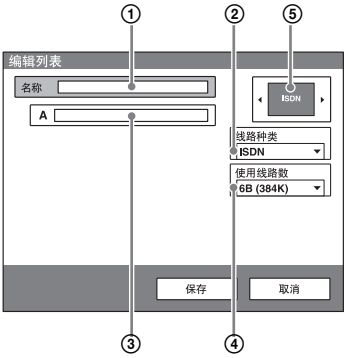
② 选择 “线路种类”，然后从显示的子菜单中选择 “LAN”。

③ 选择 IP 文本框，然后使用遥控器上的数字按钮和 .（点号）按钮输入对方的 IP 地址。

④ 选择 “局域网带宽”，然后选择您使用的带宽。

⑤ 在 “单键拨号”列表中选择要显示的静止图片。

当您通过 ISDN 连接到对方时



① 输入对方的名称。

② 选择 “线路种类”，然后从显示的子菜单中选择 “ISDN”。

③ 选择电话号码文本框，然后使用遥控器上的数字按钮输入对方的电话号码。

④ 选择 “使用线路数”，然后选择拨叫对方时使用的通道数量。

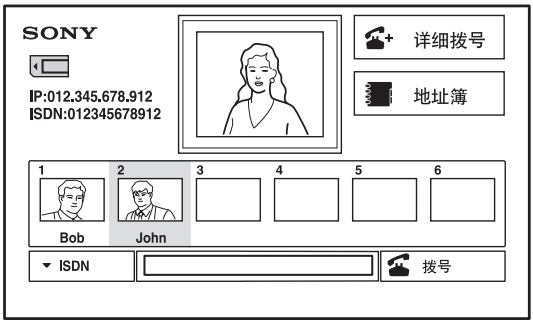
⑤ 在 “单键拨号”列表中选择要显示的静止图片。

4 使用遥控器上的 ↑、↓、← 或 → 按钮选择 “保存”，然后按 ENTER 按钮。

屏幕中出现 ［地址簿］菜单。

启动菜单单键拨号列表中的设置项目同时也注册到地址簿中。

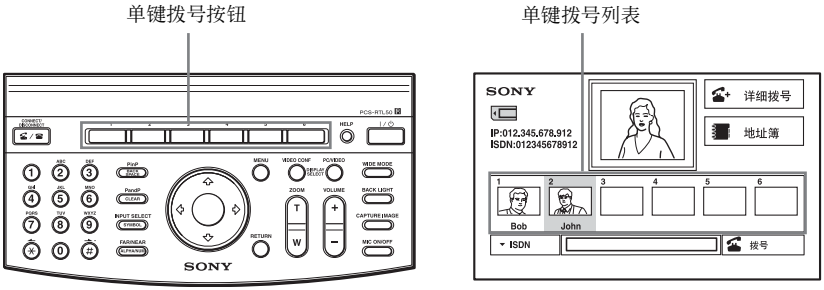
启动菜单



使用单键拨号呼叫对方

当对方已注册到单键拨号列表中时，您可以使用单键拨号功能进行呼叫。

1 按对方已注册的单键拨号按钮 （1 到 6）。

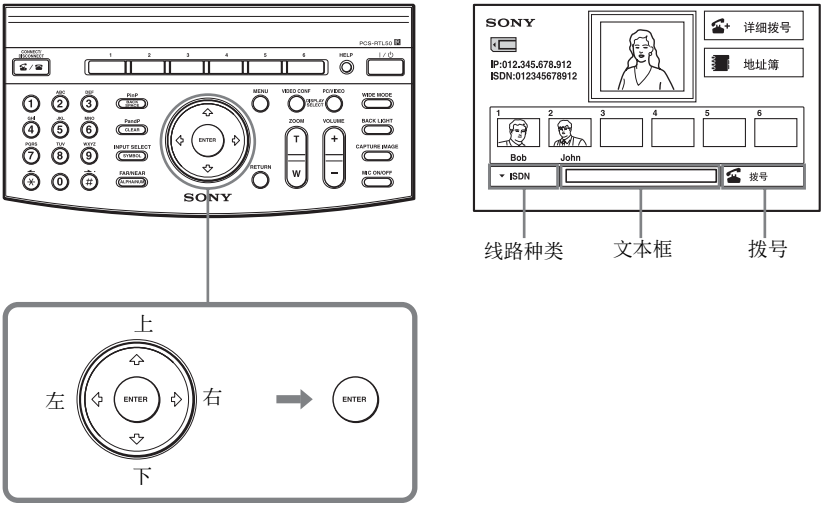


系统开始拨打所选的对方。显示屏幕上将出现 “正在拨号 （LAN）” 或 “正在拨号 （ISDN）”。
当系统连接到远端系统时，显示屏幕上出现消息 “开始会议。”。
准备就绪，现在可以开始召开电视会议。

呼叫未注册单键拨号的对方

1 从启动菜单底部的下拉菜单中选择线路种类。

按 ↑、↓、← 或 → 按钮选择启动菜单底部的线路种类按钮，然后按 ENTER 按钮以显示下拉列表。通过按 ↑ 或 ↓ 按钮选择线路种类，然后按 ENTER 按钮。



LAN：通过 LAN 连接到对方的会议电视终端。
电话：通过 ISDN 连接到对方的 ISDN 电话，用来召开电话会议。
ISDN：通过 ISDN 连接到对方的会议电视终端。

2 在文本框中输入对方的 IP 地址 （用于 LAN）或 ISDN 电话号码（用于 “ISDN”或 “电话”）。

按遥控器上的 ↑、↓、← 或 → 按钮选择文本框，然后按 ENTER 按钮。使用遥控器上的数字按钮输入数字。

3 按遥控器上的 ↑、↓、← 或 → 按钮选择 “拨号”，然后按 ENTER 按钮。或者按遥控器上的 CONNECT/DISCONNECT （ / ）按钮。

此系统开始拨打步骤 2 中输入的 IP 地址或 ISDN 电话号码。显示屏幕上将出现 “正在拨号 （LAN）”或 “正在拨号 （ISDN）”。

当系统连接到远端系统时，显示屏幕上出现消息 “开始会议。”。准备就绪，现在可以开始召开电视会议。

调整图像和声音

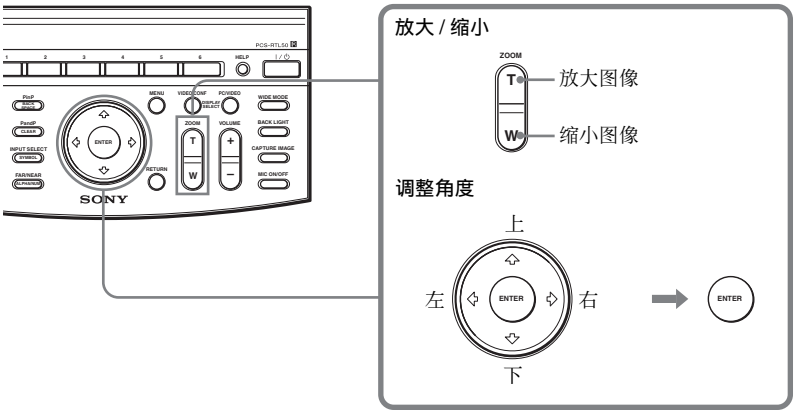
调整摄像机焦距和角度

未进行通讯时调整

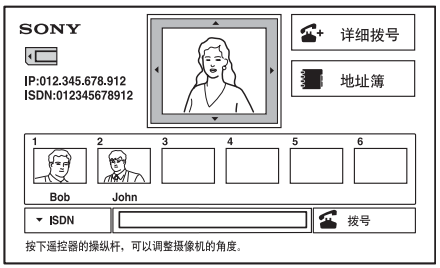
使用遥控器上的 ↑、↓、← 或 → 按钮在启动菜单中选择图像，然后按 ENTER 按钮。

按 ZOOM T/W 按钮调整缩放，或者按 ↑、↓、← 或 → 按钮调整会议电视终端摄像机角度。

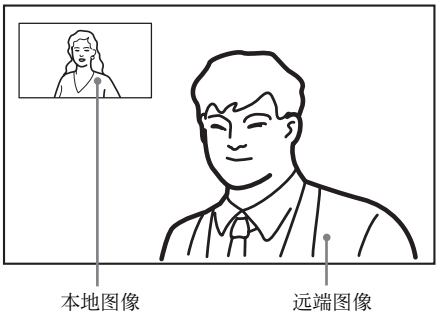
调整完成后，按 ENTER 按钮。



未通讯时



通讯时



通讯时调整

您可以使用 ZOOM T/W 和遥控器上的 ↑/↓/←/→ 按钮调整本地图像的角度和缩放图像。

请参见操作说明调整缩放和远端图像的摄像机角度。

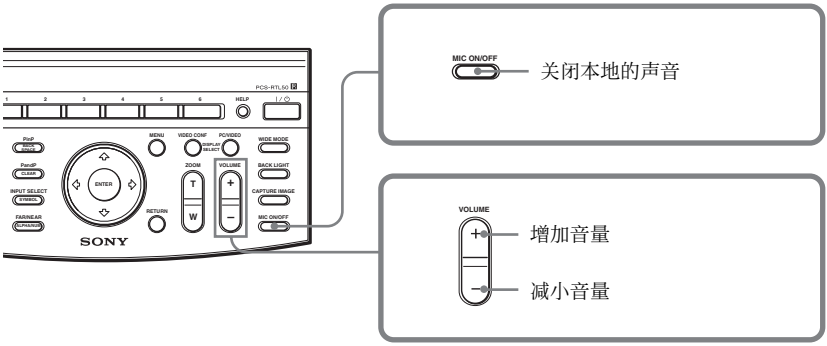
调整音量

调节接收到的对方声音音量

按遥控器上的 VOLUME +/– 按钮。

要关闭本地会议参加者发送到对方的声音

按遥控器上的 MIC ON/OFF 按钮。
显示屏幕上将出现 “MIC OFF” 指示器。要恢复声音，再次按 “MIC ON/OFF” 按钮。

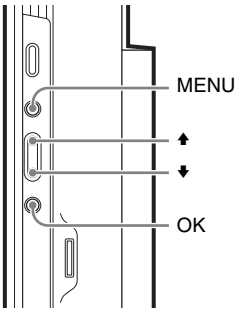


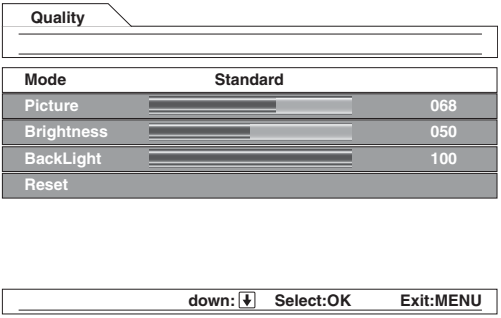
调整图像质量

您可以使用会议电视终端右侧的 MENU、▲/▼ 和 OK 按钮调整屏幕中的图像质量。

1 按系统右侧的 MENU 按钮。
此时出现 ［图像质量］菜单。

右侧





2 按 ▲ 或 ▼ 按钮选择设置项目，然后按 OK 按钮。
此时出现所选项目的调整菜单。

3 按系统右侧的 ▲ 或 ▼ 按钮调整图像质量，然后按 OK 按钮。

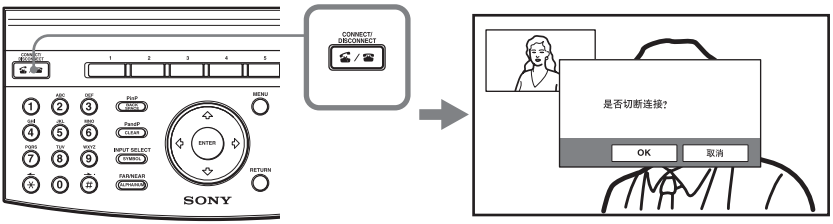
4 按 MENU 按钮退出菜单。

恢复到默认的图像质量
选择最下面的设置项目 “重置”，然后按 OK 按钮。

结束会议

断开线路

1 按遥控器上的 CONNECT/DISCONNECT (/) 按钮。
显示屏幕上将显示消息 “是否切断连接？”。



2 按遥控器上的 ← 或 → 按钮选择 “OK”，然后按 ENTER 按钮或按 CONNECT/DISCONNECT （ / ）按钮。
线路断开并恢复启动菜单。

将系统设置为待机模式

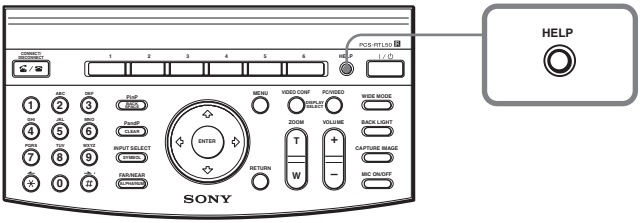
按遥控器上的 I/⏻ 按钮，此时屏幕中出现 “关闭显示并设定到待机模式？”。按 ← 或 → 按钮选择 OK，然后按 ENTER 按钮。
您可以在待机状态下接收来自对方的呼叫。

要关闭电源

按系统右侧的 ⏻ （电源）开关并持续至少 1 秒钟关闭系统，并关闭其它电视会议所使用的设备。

显示帮助

按遥控器上的 HELP 按钮，屏幕上将显示帮助或帮助画面，这些帮助可以指导您在屏幕上进行大部分的操作。



要隐藏帮助指南，再次按 HELP 按钮。

系统连接

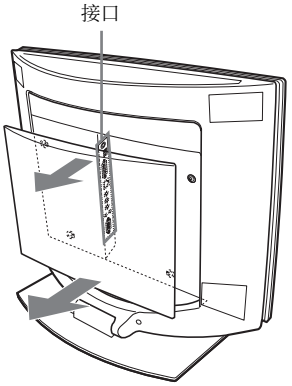
本节内容介绍了典型的系统连接。

使用接口

接口位于后盖里面。
当您使用接口时，请取下后盖，将电缆连接到接口，然后装上后盖。

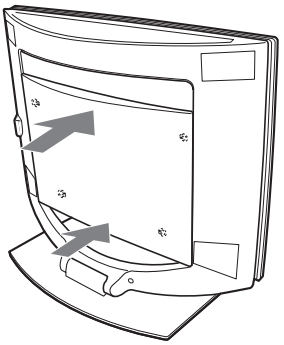
取下后盖

将后盖朝您所在的方向拉。



装上后盖

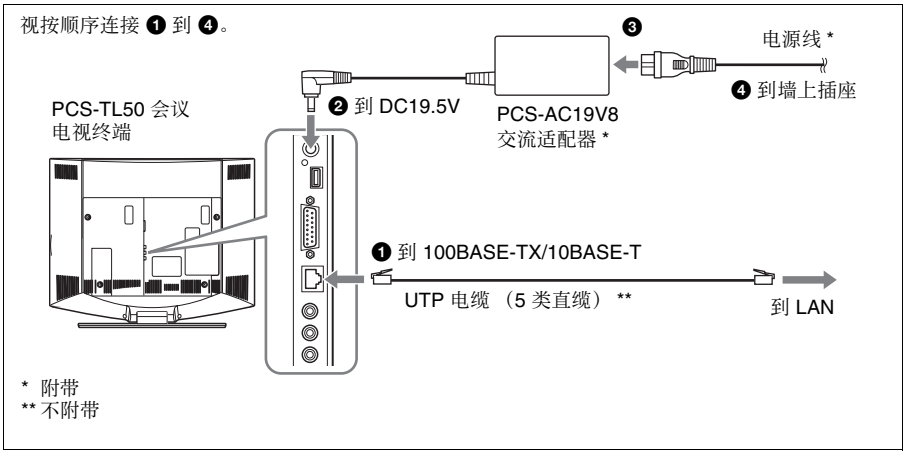
将后盖上的四个凸钉与设备背面的四个孔对齐，然后按压后盖。



连接说明

- 在开始任何连接之前，请确保关闭了所有设备。
- 仅使用此系统附带的交流适配器和电源线。请勿使用其它交流适配器或电源线。
- 安全插入交流适配器的 AC 插头和 DC 插头并确保插入到位。
- 在电源打开时不要连接 / 拔下电缆。否则会损坏会议电视终端。
- 考虑到安全性，请不要将 100BASE-TX/10BASE-T 接口与电压超过额定值的网络连接。

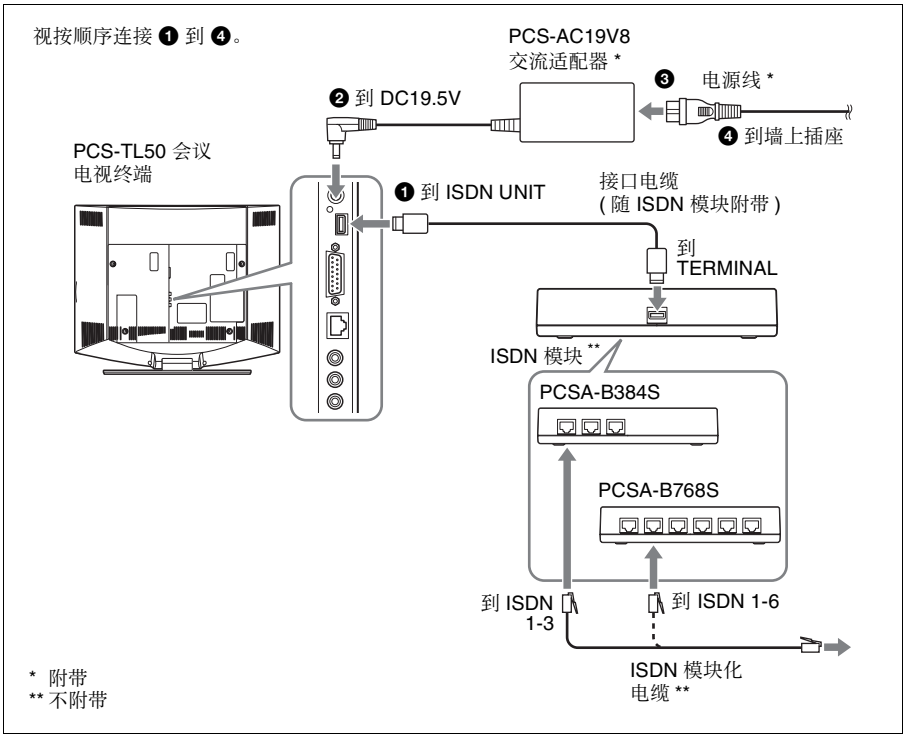
通过 LAN 的系统连接



通过 ISDN 的系统连接

注意

- 在电源打开时不要连接 / 拔下接口电缆。否则会损坏会议电视终端或 ISDN 模块。
- 当您第一次连接并使用 ISDN 模块时，会议电视终端可能会升级 ISDN 模块的软件。当屏幕中显示升级信息时，请不要关闭会议电视终端。否则会导致系统出现故障。



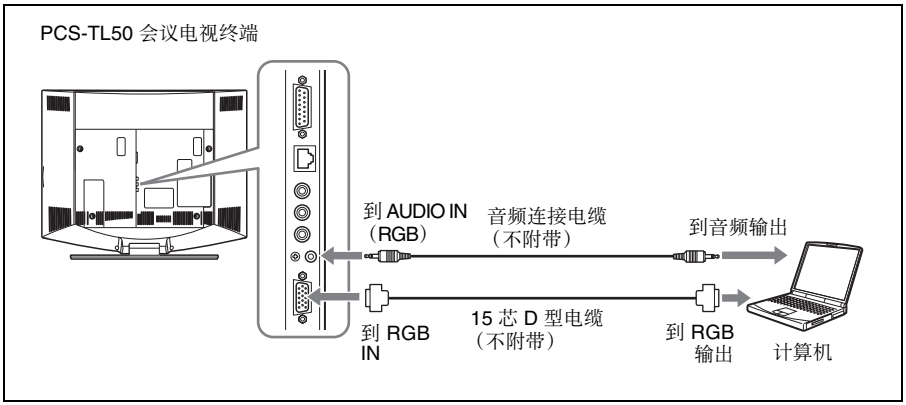
用作计算机显示器 / 视频监视器

当您没有召开电视会议时，您可以将会议电视终端的显示用作计算机显示器或视频监视器。

连接到计算机

取下会议电视终端的后盖，将其连接到计算机。

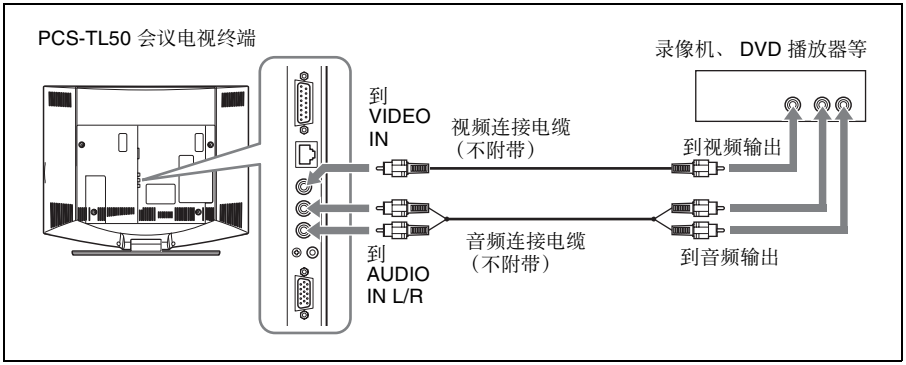
有关如何取下后盖的详情，请参见第 19 页。



连接到视频设备

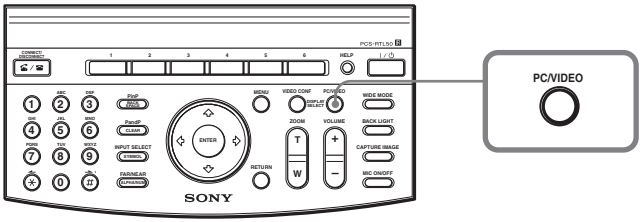
取下会议电视终端的后盖，将其连接到视频设备。

有关如何取下后盖的详情，请参见第 19 页。



显示来自计算机或视频设备的图像

1 按遥控器上的 PC/VIDEO 按钮选择输入。
每按一下此按钮，连接到此系统 RGB IN 接口的计算机图像和连接到 VIDEO IN 插孔的视频设备图像将在屏幕上交替显示。



来自所选输入的声音将从会议电视终端的扬声器输出 （当连接了音频连接电缆时）。

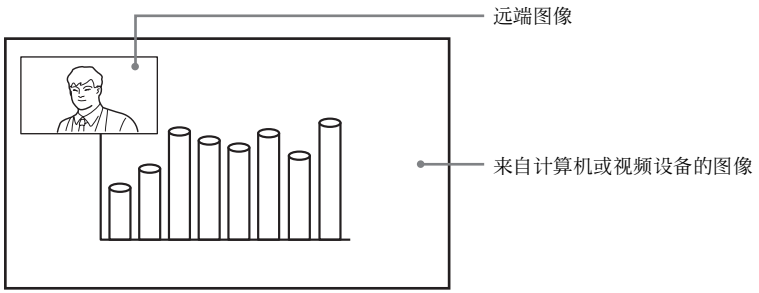
2 使用遥控器上的 VOLUME +/– 按钮调节音量。

3 使用系统右侧的 MENU、 ↑/↓ 和 OK 按钮调整图像质量。

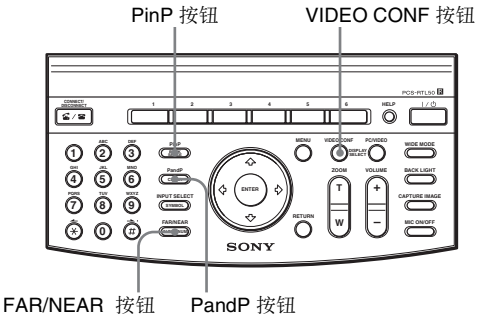
有关调整的详情，请参见第 15 页的 “调整图像质量”。

在电视会议过程中显示来自计算机或视频设备的图像

如果您在屏幕上观看来自计算机或视频设备的图像时接收到一个呼叫，系统将自动进画中画模式，来自对方的图像将显示为窗口图像。



您可以使用以下按钮手动更改显示模式。



改变电视会议窗口图像的位置

按遥控器上的 PinP 按钮。

仅显示电视会议图像

按遥控器上的 VIDEO CONF 按钮。
再次按 PC/VIDEO 按钮只显示来自计算机或视频设备的图像。

同时显示电视会议图像和来自计算机或视频设备图像

按遥控器上的 PandP 按钮。
来自计算机或视频设备的图像显示在左侧 （主图像），电视会议图像显示在右侧 （辅图像）。

更改电视会议远端图像为本地图像

按遥控器上的 FAR/NEAR 按钮并更改 ［显示控制］菜单中的 “显示” 设置 （“远端” 或 “本方”）。

注意

当没有与对方进行通讯时不能使用画中画和双画面功能。

规格说明

PCS-TL50 会议电视终端

此设备符合ITU-T的H.320和H.323建议。

活动图像

工作带宽	64 Kbps 到 1920 Kbps （标准速度， LAN 连接）
	56 Kbps 到 768 Kbps （当安装 PCSA-B768S 时， ISDN 连接）
	56 Kbps 到 384 Kbps （当安装 PCSA-B384S 时， ISDN 连接）
编码	H.261/H.263/H.263+/H.263++/ H.264/Interlaced SIF （ITU-T 建议）
	MPEG4 Simple Profile （当使用 LAN 时）
像素	CIF：352 像素 × 288 行
	QCIF：176 像素 × 144 行
彩色制式	NTSC

静止图片

像素	704 像素 × 480 行
编码	H.261 （ITU-T 建议） Annex. D （4CIF）
	H.263 （用于此系统的特殊格式）

声音

带宽	14 kHz （MPEG4 Audio）
	7 kHz （G.722/G.722.1，符合 ITU-T 的建议）
	3.4 kHz （G.711/G.723.1/G.728/ G.729, 符合 ITU-T 的建议）
传输速率	56 Kbps, 64 Kbps（G.711，符合 ITU-T 建议）
	48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps （G.722, 符合 ITU-T 建议）
	64 Kbps, 96 Kbps (MPEG4 Audio）（当使用 LAN 时）
	24 Kbps, 32 Kbps （G.722.1, 符合 ITU-T 建议）（当使用 LAN 时）
	16 Kbps （G.728，符合 ITU-T 的建议）
	8 Kbps （G.729, 符合 ITU-T 建议）（当使用 LAN 时）
	5.3 Kbps, 6.3 Kbps （G.723.1, 符合 ITU-T 建议）（当使用 LAN 时）

网络

多路复用	视频、音频、数据
帧格式	H.221 （符合 ITU-T 的建议）
接口	LAN （标准）， 64 Kbps 到 1920 Kbps
	ISDN （BRI）可到 6 条线路 （安装 PCSA-B768S 时）
	可到 3 条线路 （安装 PCSA-B384S 时）
数据传输速率	
	LSD 1.2 Kbps, 4.8 Kbps, 6.4 Kbps
	MLP 6.4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
	HMLP 62.4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps
支持 LAN 协议	
	HTTP
	FTP
	Telnet
	RTP/RTCP
	TCP/UDP

遥控

远程摄像机控制	
	H.281 （符合 ITU-T 的建议）
数据传输	T.120 （符合 ITU-T 的建议）

会议电视终端摄像机

视频信号	NTSC 制式， EIA 标准
成像元件	1/3 型 CCD （电荷耦合设备）
	约 41 万像素 （有效像素: 约 38 万像素）
镜头	f = 4.0 毫米 , F 2.0, 水平角度大约为 70°
拍摄距离	500 毫米
最小照明度	F 2.0/50 IRE 条件下 1 勒克斯
全景 / 倾斜	数字全景 / 倾斜

内置自动白平衡功能

内置电子光圈功能

显示

尺寸	20 英寸
宽高比例	16 : 9
分辨率	1280 × 768
亮度	400 Cd/m^2 或更高
响应时间	15 毫秒或更短
对比度	500 : 1
视角	160 度或更大
颜色数	16,700,000 色

显示控制器

PinP	4 个角
PandP	两个窗口
输入	内部：电视终端
	外部 RGB：计算机显示
	外部视频：外部视频输入 （NTSC/PAL 自动检测）
宽屏幕模式	正常，缩放，宽屏幕，宽屏幕缩放

RGB 模式	640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768 等可以显示缩放图像。
音量调节	固定为会议电视终端 可通过显示电路板上的放大器调节
OSD 调节	亮度，色调，移位，宽度，高度等

扬声器

扬声器	3 W × 2

麦克风

频率范围	15 kHz
方向特性	小角度定向

一般参数

电源要求	19.5 V
能耗	7.7 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	–20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% （无水汽冷凝）
尺寸	528 × 445 × 110 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含机架） 528 × 445 × 265 毫米（宽 / 高 / 厚）（含机架）
重量	大约 10 千克
随机附件	遥控器 PCS-RTL50 （1） 用于遥控器的 AA （R6）电池 （2） 交流适配器 PCS-AC19V8 （1） 电源线 （1） CD-ROM （1） 操作说明书 （1） 快速连接指南 / 遥控器指南 （1） 质保书 （1）

PCS-RTL50 遥控器

信号格式	红外 SIRCS
控制	DC 3V 2 节 AA （R6）电池
尺寸	168 × 19 × 88 毫米 （宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件）
重量	大约 180 克 （含电池）

PCS-AC19V8 适配器

电源要求	100 到 240V AC, 50/60 Hz, 2.2 A 到 1.0 A
输出	19.5 V, 7.7A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	–20°C 到 +60°C 存放湿度
存放湿度	20% 到 80% (无水汽冷凝)
尺寸	81 × 49 × 165 毫米 (宽 / 高 / 厚)
重量	大约 800 克

PCS-A1 外置麦克风 （可选）

带宽	13 kHz
方向特性	全向
尺寸	74 × 16 × 93 毫米 （宽 / 高 / 厚）
重量	大约 170 克
电源	插入式电源

PCS-A300 麦克风 （可选）

带宽	13 kHz
方向特性	单向
尺寸	68 × 16 × 96 mm 毫米（宽 / 高 / 厚）
重量	大约 200 克
电源	插入式电源

PCSA-B384S/PCS-B384 ISDN 模块 （可选）

电源要求	19.5 V
能耗	0.3 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	–20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% （无水汽冷凝）
尺寸	PCSA-B384S： 165 × 34 × 127 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件） PCS-B384： 165 × 34 × 127 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件）
重量	PCSA-B384S：大约 400 克 PCS-B384：大约 400 克
随机附件	接口电缆 （5 米）（1） 操作说明 （1） 质保书 （1）

PCSA-B768S/PCS-B768 ISDN 模块 （可选）

电源要求	19.5 V
能耗	0.5 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	–20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% （无水汽冷凝）
尺寸	PCSA-B768S： 165 × 34 × 127 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件） PCS-B768： 165 × 34 × 127 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件）
重量	PCSA-B768S：大约 400 克 PCS-B768：大约 400 克
随机附件	接口电缆 （5 米）（1） 操作说明 （1） 质保书 （1）

PCSA-DSB1S/PCS-DSB1 双流模块（可选）

电源要求	19.5 V
能耗	1.0 A
工作温度	5°C 到 35°C
工作湿度	20% 到 80%
存放温度	–20°C 到 +60°C
存放湿度	20% 到 80% （无水汽冷凝）
尺寸	PCSA-DSB1S： 240 × 37 × 180 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件） PCS-DSB1： 240 × 33 × 160 毫米（宽 / 高 / 厚）（不含投影仪组件）
重量	PCSA-DSB1S：大约 1.1 千克 PCS-DSB1：大约 850 克
随机附件	接口电缆 （8 米）（1） 操作说明 （1） 质保书 （1）

PCS-320M1 H.320 MCU 软件（可选）

尺寸	50 × 2.8 × 21.5 毫米（宽 / 高 / 厚）
重量	大约 4 克
随机附件	序列号封条 （1） 操作说明 （1）

PCS-323M1 H.323 MCU 软件（可选）

尺寸	50 × 2.8 × 21.5 毫米（宽 / 高 / 厚）
重量	大约 4 克
随机附件	序列号封条 （1） 操作说明 （1）

设计和规格如有更改，恕不另行通知。

ADVERTÊNCIA

Para evitar riscos de incêndio ou choque elétrico, não exponha o aparelho à umidade ou à chuva.

Para evitar choque elétrico, não abra o gabinete. Sempre que necessário, procure o Serviço Autorizado Sony.

ADVERTÊNCIA

Ao instalar o aparelho, inclua um dispositivo de desconexão de fácil acesso na fiação fixa ou conecte o cabo de alimentação a uma tomada que deve estar próxima ao aparelho e ser de fácil acesso.
Se ocorrer uma falha durante a operação do aparelho, utilize o dispositivo de desconexão para desligar a fonte de alimentação ou desconecte o cabo de alimentação.

ADVERTÊNCIA para porta LAN

Por motivos de segurança, não conecte a porta LAN em nenhum dispositivo de rede que possa ter uma tensão excessiva.

Instalando baterias

São fornecidas duas baterias R6 (formato AA) para o controle remoto.
Para evitar o risco de explosões, use baterias alcalinas ou de manganês R6 (formato AA).

ADVERTÊNCIA

RISCO DE EXPLOSÃO SE A BATERIA FOR SUBSTITUÍDA POR UMA DO TIPO INCORRETO.
DESCARTE AS BATERIAS USADAS DE ACORDO COM AS INSTRUÇÕES.

Este manual concentra-se no uso de linhas ISDN para a realização da videoconferência mas também aborda linhas que não sejam ISDN. Se você usa linhas ISDN, consulte seu revendedor Sony para obter mais informações.
- O serviço ISDN pode não estar disponível em algumas áreas.

Caso for descartar a unidade, consulte o Posto de Assistência Sony mais próximo. A bateria incorporada deve ser tratada como lixo químico.

Precauções

Local de operação ou armazenamento

Evite operar ou armazenar o sistema nos locais com as características a seguir:

- Muito quentes ou muito frios
- Úmidos ou empoeirados
- Expostos a forte vibração
- Próximos a fontes de forte magnetismo
- Próximos a fontes de forte radiação eletromagnética, como transmissores de TV ou rádio
- Barulhentos

Tela LCD

- Não exponha a superfície da tela LCD à luz do sol. Tal exposição pode danificar a superfície da tela.
- Não empurre ou arranhe a tela LCD nem coloque objetos sobre o sistema. A imagem pode tornar-se irregular ou o painel LCD pode ser danificado.
- Se o sistema for utilizado em um local frio, pode ocorrer uma mancha na imagem ou ela pode tornar-se escura. Isso não indica uma falha. Esses fenômenos melhoram quando a temperatura aumenta.
- Pode ocorrer o efeito "fantasma" quando imagens estáticas são exibidas continuamente. Esse efeito pode desaparecer em pouco tempo.
- A tela e o gabinete se aquecem quando o sistema está sendo utilizado. Isso não é um funcionamento incorreto.

Painel do visor LCD

- Embora o painel do visor LCD seja feito com tecnologia de alta precisão, podem aparecer pontos pretos ou brilhantes de luz (vermelho, azul ou verde) constantes na tela LCD. Faixas coloridas e brilho irregular também podem aparecer quando você exibe ângulos de visão específicos. Essa é uma propriedade estrutural do painel LCD, não sendo um funcionamento irregular.

Alto-falantes embutidos

Os alto-falantes geram magnetismo. Para evitar danos aos dados, mantenha fitas e discos magnéticos afastados dos alto-falantes.

Limpeza

- Antes de limpar, desconecte o cabo de alimentação da tomada de CA.
- A superfície da tela LCD é revestida com cobertura especial. Para remover a poeira da superfície da tela, passe cuidadosamente um pano macio e seco.
- Não use solventes voláteis, como álcool, benzina ou thinners, pois eles podem danificar os acabamentos das superfícies.
- Ao usar pano de limpeza químico, observe as instruções que o acompanham.
- Não aplique solventes voláteis, como inseticida, na tela nem deixe que objetos de borracha ou de plástico toquem a tela por muito tempo, pois podem danificar o acabamento da superfície.

Índice

Ao Usar o Sistema pela Primeira Vez 5

Ligando o Sistema 6

Registrando um Local Remoto para Discagem de Um Toque 7

Chamando um Local Remoto com o Uso da Discagem de Um Toque 11

Chamando um Local Remoto Não Registrado para Discagem de Um Toque 12

Ajustando a Imagem e o Som 14

- Ajustando o Ângulo da Câmera e o Zoom 14
- Ajustando o Volume 15
- Ajustando a Qualidade de Imagem 15

Encerrando a Conferência 17

- Desconectando a Linha 17

Exibindo a Ajuda 18

Conexões do Sistema 19

- Usando os Conectores 19
- Notas sobre conexões 20
- Conexão do Sistema via LAN 20
- Conexão do sistema via ISDN 21

Utilização como Tela de Computador ou Monitor de Vídeo 22

- Conectando a um Computador ... 22
- Conectando a um Equipamento de Vídeo 23
- Exibindo a Imagem do Computador ou Equipamento de Vídeo 23

Características técnicas 26

O CD-ROM fornecido inclui as Instruções de Operação, que fornecem informações mais detalhadas sobre este sistema. Leia as Instruções de Operação e o Guia de Operação.

Ao Usar o Sistema pela Primeira Vez

Este guia descreve resumidamente as operações básicas para uma videoconferência ponto a ponto com o uso do Sistema de Comunicação por Vídeo PCS-TL50. Você aprenderá como realizar uma conferência cotidiana, do começo até o final. Para obter informações sobre operações e sobre os vários ajustes necessários à realização de uma conferência, consulte as Instruções de Operação que se encontram no CD-ROM.

Sobre as Instruções de Operação

As Instruções de Operação do sistema encontram-se no CD-ROM, em formato PDF. Você deverá usar o Adobe® Acrobat®* Reader 5.0 (E) ou o Adobe Reader 6.0 (E) para lê-lo. Se o Adobe Reader não estiver instalado no seu computador, você poderá fazer download de sua versão mais recente nos sites descritos a seguir.

Como ler as Instruções de Operação

1 Insira o CD-ROM intitulado "Manuals for Video Communication System" (Manuais para o Sistema de Comunicação por Vídeo) na unidade de CD-ROM do computador.

Após um breve intervalo, será exibida uma janela que exibirá os arquivos existentes no CD-ROM.

2 Clique duas vezes no arquivo PDF com o nome "English" (Inglês).

O Adobe Reader será iniciado e exibirá a página de Instruções de Operação.

Clicando em um item do Índice, você irá para a página relevante.

Para instalar o Adobe Reader 6.0 (E)

Para instalar o Adobe Reader 6.0 (E) em seu computador, serão necessários os seguintes componentes de hardware e de software:

- Computador com processador Intel® Pentium® ou 100% compatível
- Microsoft® Windows®** 98 SE, Windows Millennium, Windows NT®** 4.0 Service Pack 5 ou Windows 2000 ou mais recente
- 64 MB ou mais de RAM
- 70 MB ou mais de espaço livre no disco

Você poderá obter a versão mais recente do Adobe Reader, gratuitamente, nos seguintes sites da Web.

Versão norte-americana:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

Versão européia:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

Versão japonesa:
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html

* Adobe e Acrobat são marcas comerciais da Adobe Systems, Incorporated.

** Windows e Windows NT são marcas comerciais registradas da U.S. Microsoft Corporation nos E.U.A. e em outros países.

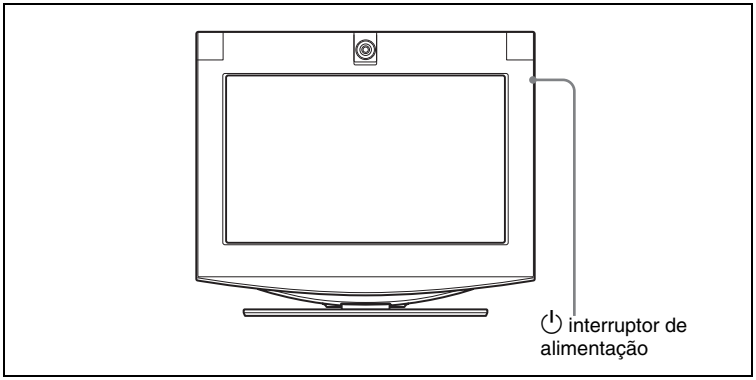
Ligando o Sistema

Antes de ligar o sistema, verifique se as respectivas conexões foram feitas corretamente.

Para obter a conexão do sistema, consulte "Conexões do sistema" na página 19.

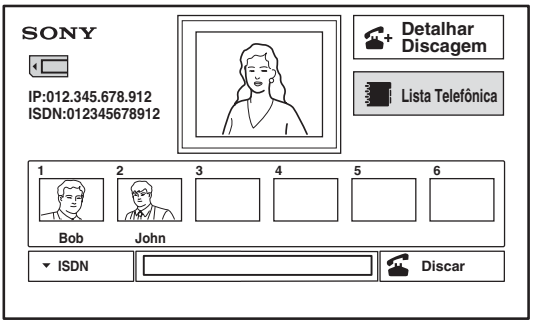
1 Ligue os equipamentos usados para a videoconferência.

2 Pressione o interruptor de alimentação ⏻ situado no lado direito do sistema.
O indicador do interruptor se acende na cor verde e o sistema é ligado.



3 Certifique-se de que o obturador da câmera esteja aberto.
Se ele estiver fechado, deslize a chave do obturador, na parte superior do sistema, para abri-lo.

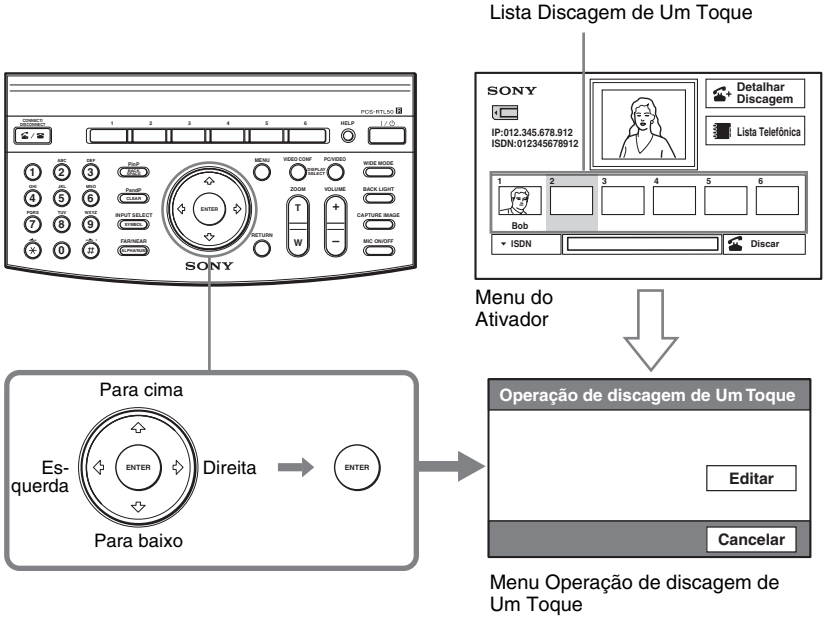
4 Pressione a tecla VIDEO CONF do controle remoto para exibir o menu do ativador.



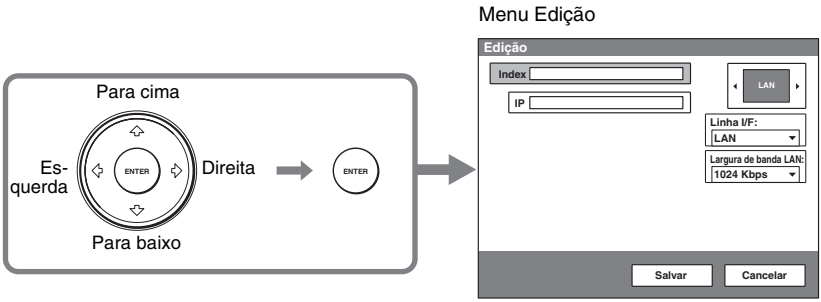
Registrando um Local Remoto para Discagem de Um Toque

Você pode registrar locais remotos na lista Discagem de Um Toque no menu de inicialização, permitindo a discagem rápida para esses locais com o uso das teclas de Discagem de Um Toque do controle remoto.
Esta seção mostra como registrar locais remotos para Discagem de Um Toque no menu do ativador.

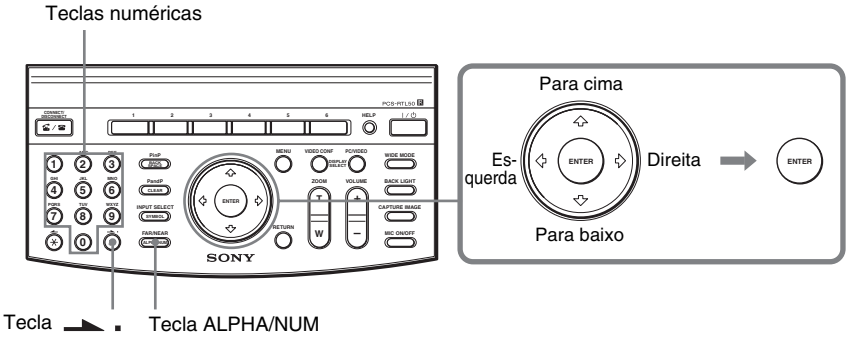
1 Use a tecla ↑, ↓, ← ou → do controle remoto para selecionar a Discagem de Um Toque para registrar um local remoto e pressione a tecla ENTER.
O menu Operação de discagem de Um Toque será aberto.



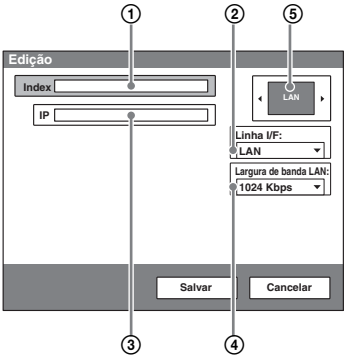
2 Use a tecla ↑, ↓, ← ou → do controle remoto para selecionar “Edição” e pressione a tecla ENTER.
O menu Edição será exibido.



3 Configure os itens para Discagem de Um Toque.
Use a tecla ↑, ↓, ← ou → para selecionar o item a ser ajustado e pressione a tecla ENTER.
Você pode usar as teclas numéricas e . (ponto) para introduzir numerais. Pressione a tecla ALPHA/NUM (alfabética/numérica) para selecionar o modo de introdução das teclas numéricas.



Quando você efetuar conexão com um local remoto via LAN



① Introduza o nome do local remoto.

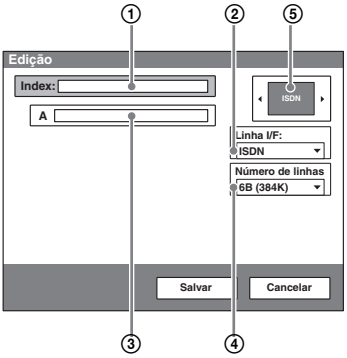
② Selecione “Linha I/F” e “LAN” no menu secundário exibido

③ Selecione a caixa de texto IP e introduza o endereço IP do local remoto usando as teclas numéricas e . (ponto) do controle remoto.

④ Selecione “Largura de banda LAN” e a largura de banda utilizada.

⑤ Selecione uma imagem estática a ser exibida na lista Discagem de Um Toque.

Quando você efetuar conexão com um local remoto via ISDN



① Introduza o nome do local remoto.

② Selecione “Linha I/F” e “ISDN” no menu secundário exibido

③ Selecione a caixa de texto de número de telefone e introduza o número do local remoto com as teclas numéricas do controle remoto.

④ Selecione “Número de linhas” e o número de canais a serem usados ao discar para o local remoto.

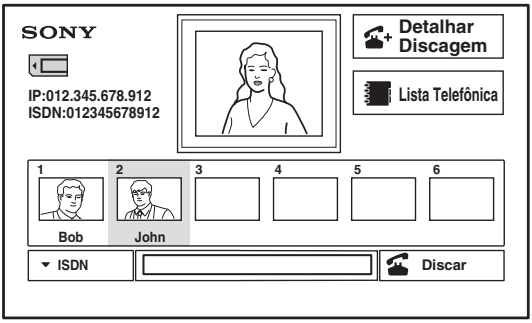
⑤ Selecione uma imagem estática a ser exibida na lista Discagem de Um Toque.

4 Use a tecla ↑, ↓, ← ou → do controle remoto para selecionar “Salvar” e pressione a tecla ENTER.

O menu Lista Telefônica será aberto.

Os itens ajustados são registrados na Lista Telefônica ao mesmo tempo que a lista Discagem de Um Toque do menu do ativador.

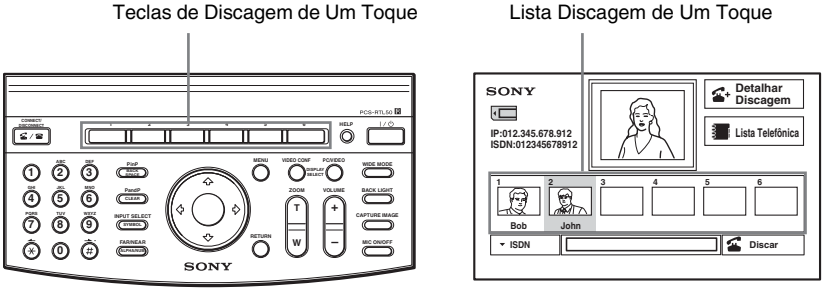
Menu do Ativador



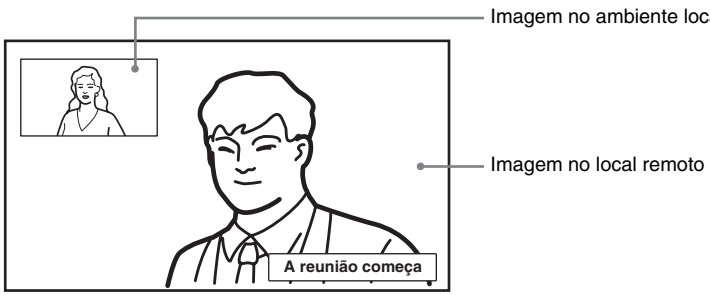
Chamando um Local Remoto com o Uso da Discagem de Um Toque

Quando o local remoto tiver sido registrado na lista Discagem de Um Toque, você poderá chamá-lo usando a função Discagem de Um Toque.

1 Pressione a tecla Discagem de Um Toque 1 a 6 relativa ao registro do local remoto.



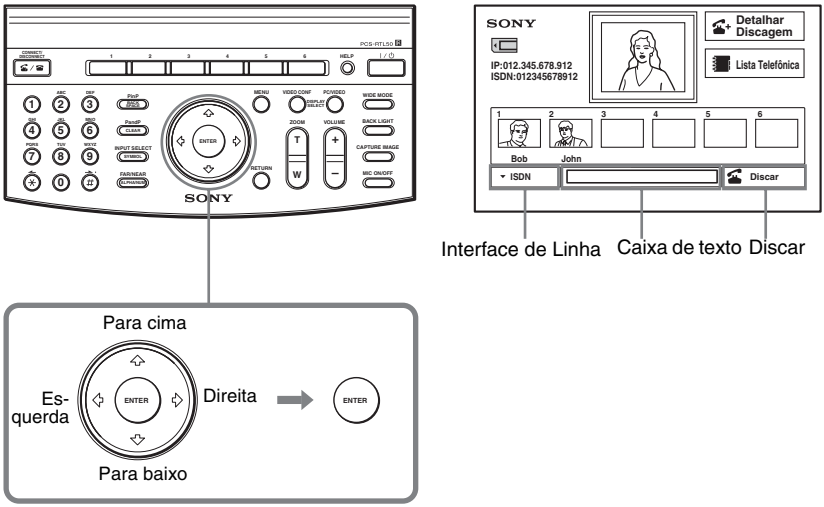
O sistema começará a discar para o local remoto selecionado. "Discagem (LAN)" ou "Discagem (ISDN)" aparecerá no visor.
Quando o sistema conectar-se com o sistema remoto, a mensagem "A reunião começa!" aparecerá no visor.
Você pode iniciar a videoconferência.



Chamando um Local Remoto Não Registrado para Discagem de Um Toque

1 Selecione a interface de linha na lista suspensa existente na parte inferior do menu do ativador.

Pressione a tecla ↑, ↓, ← ou → para selecionar o botão de interface de linha na parte inferior do menu do ativador e pressione a tecla ENTER para exibir a lista suspensa. Selecione a interface de linha pressionando a tecla ↑ ou ↓ e pressione ENTER.



LAN: Efetua conexão com o sistema de videoconferência de um local remoto via LAN.

Telefone: Efetua conexão com o telefone ISDN de um local remoto para realizar uma conferência de voz via conexão ISDN.

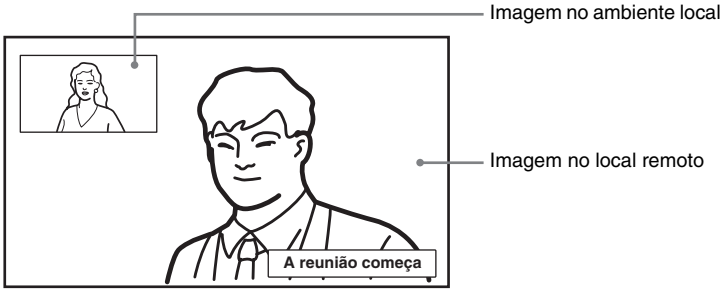
ISDN: Efetua conexão com o sistema de videoconferência de um local remoto via ISDN.

2 Insira o endereço IP (no caso de LAN) ou o número de telefone ISDN (no caso de ISDN ou Telefone) do local remoto na caixa de texto.

Pressione a tecla ↑, ↓, ← ou → do controle remoto para selecionar a caixa de texto e pressione a tecla ENTER. Insira numerais usando os botões numéricos do controle remoto.

3 Pressione a tecla ↑, ↓, ← ou → do controle remoto para selecionar "Discar" e pressione a tecla ENTER. Ou pressione a tecla CONNECT/ DISCONNECT (/) do controle remoto.

O sistema começa a discar para o endereço IP ou número de telefone ISDN introduzido na etapa 2. “Discagem (LAN)” ou “Discagem (ISDN)” aparece na tela.
Quando o sistema conectar-se com o sistema remoto, a mensagem “A reunião começa!” aparecerá no visor.
Você pode iniciar a videoconferência.

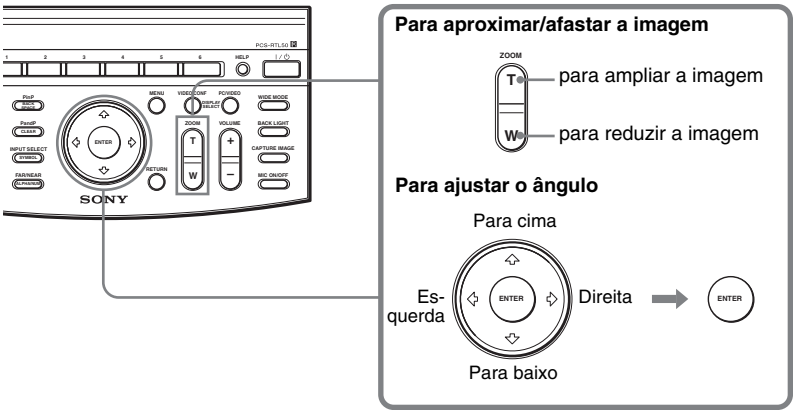


Ajustando a Imagem e o Som

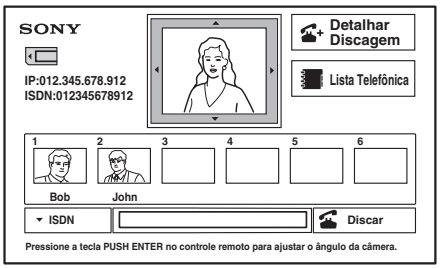
Ajustando o Ângulo da Câmera e o Zoom

Para ajustar quando não houver comunicação

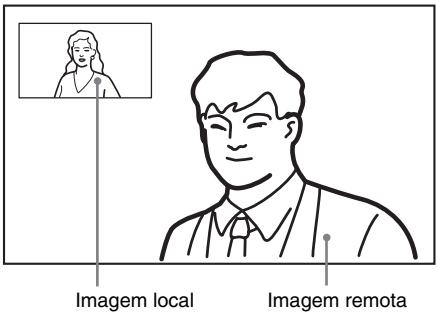
Use a tecla ↑, ↓, ← ou → do controle remoto para selecionar a imagem no menu do ativador e pressione a tecla ENTER.
Pressione a tecla ZOOM T/W para aproximar ou afastar a imagem e a tecla ↑, ↓, ← ou → para ajustar o ângulo da câmera.
Após o ajuste, pressione a tecla ENTER.



Quando não houver comunicação



Quando houver comunicação



Para ajustar quando houver comunicação

Você pode ajustar o zoom e o ângulo da imagem no ambiente local com as teclas ZOOM T/W e ↑/↓/←/→ do controle remoto.
Consulte as Instruções de Operação para ajustar o zoom e o ângulo da câmera em relação à imagem do local remoto.

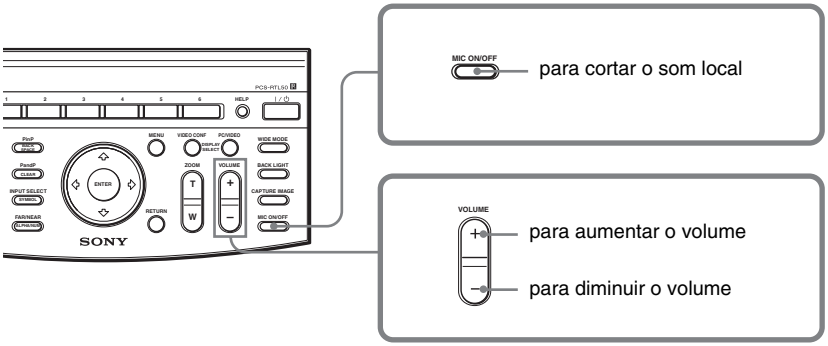
Ajustando o Volume

Para ajustar o volume do som recebido do local remoto

Pressione a tecla VOLUME +/– do controle remoto.

Para cortar o som do ambiente local enviado ao local remoto

Pressione a tecla MIC ON/OFF do controle remoto.
O indicador “MIC OFF” será exibido na tela. Para restaurar o som, pressione novamente a tecla MIC ON/OFF.

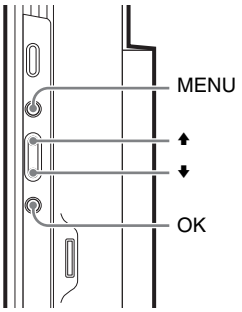


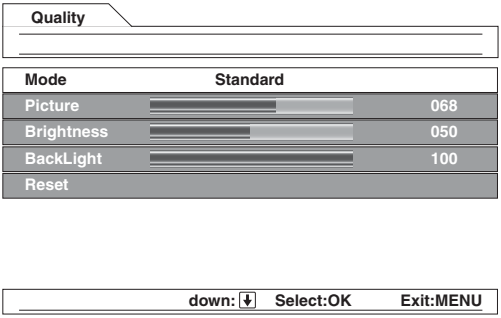
Ajustando a Qualidade de Imagem

Você pode ajustar a qualidade de imagem na tela usando as teclas MENU, ↑/↓ e OK localizadas no lado direito do Sistema de Comunicação por Vídeo.

1 Pressione a tecla MENU situada no lado direito do sistema.
O menu Qualidade de Imagem aparece.

Lado direito





2 Pressione a tecla ↑ ou ↓ para selecionar o item de ajuste e pressione a tecla OK.

O menu de ajuste do item selecionado será exibido.

3 Pressione a tecla ↑ ou ↓ localizada no lado direito do sistema para selecionar a qualidade de imagem e pressione a tecla OK.

4 Pressione a tecla MENU para sair do menu.

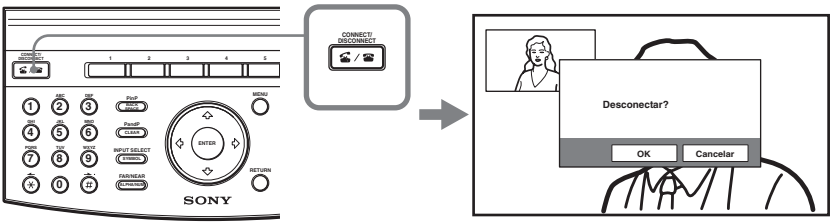
Para restaurar a qualidade de imagem padrão

Selecione “Reset”, o item de ajuste mais baixo e pressione a tecla OK.

Encerrando a Conferência

Desconectando a Linha

1 Pressione a tecla CONNECT/DISCONNECT (/) do controle remoto.
A mensagem “Desconectar?” aparecerá na tela.



2 Pressione a tecla ← ou → do controle remoto para selecionar “OK” e pressione a ENTER, ou pressione a tecla CONNECT/DISCONNECT (/).
A linha será desconectada e o menu do ativador, restaurado.

Para ajustar o sistema ao modo de espera

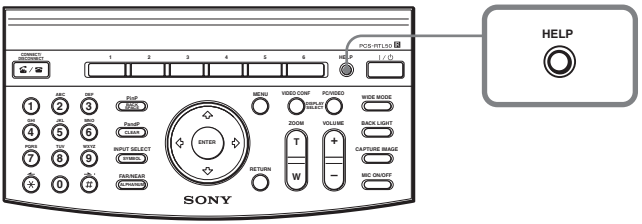
Pressione a tecla I/⏻ no controle remoto. Aparecerá a mensagem “Desligar a tela e ajustar para o Modo de espera?”. Pressione a tecla ← ou → para selecionar OK e, a seguir, pressione a tecla ENTER.
Você pode receber uma chamada de um local remoto em modo de espera.

Para desligar a alimentação

Pressione o interruptor de alimentação ⏻ localizado no lado direito do sistema durante mais de um segundo para desligar o sistema e desligue os outros equipamentos usados para a videoconferência.

Exibindo a Ajuda

Pressionando-se a tecla HELP do controle remoto, aparecerá um balão ou uma tela de ajuda para guiar a maior parte das operações na tela.



Para ocultar o guia de ajuda, pressione novamente a tecla HELP.

Conexões do Sistema

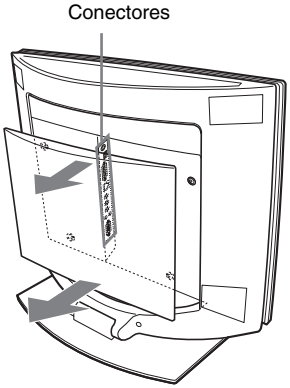
Esta seção descreve as conexões do sistema típicas.

Usando os Conectores

Os conectores estão no interior da tampa traseira.
Ao usar os conectores, remova a tampa traseira, conecte os cabos aos conectores e recoloque a tampa.

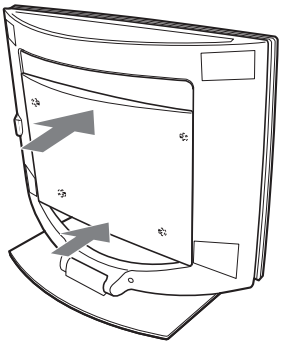
Para remover a tampa traseira

Puxe a tampa traseira na sua direção.



Para recolocar a tampa traseira

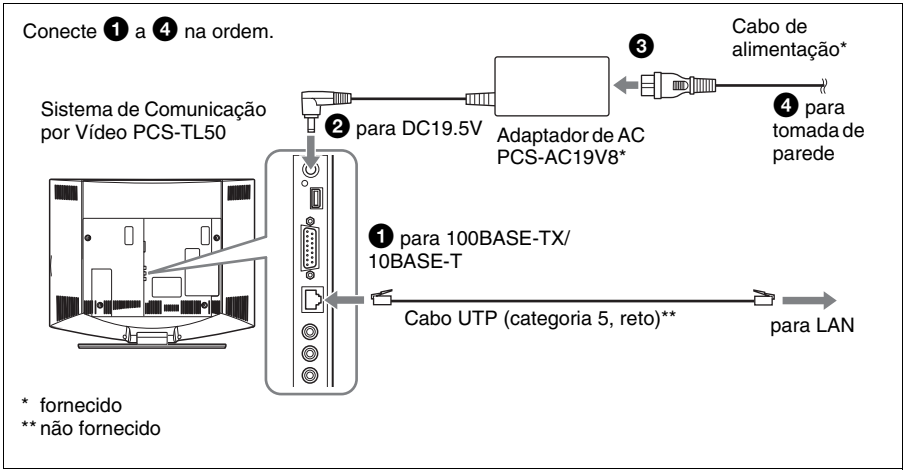
Alinhe as quatro projeções da tampa com os orifícios existentes na parte traseira da unidade e pressione a tampa.



Notas sobre conexões

- Desligue todo o equipamento antes de fazer qualquer conexão.
- Use apenas o adaptador CA e o cabo de alimentação fornecidos com este sistema. Nunca use o outro cabo de alimentação ou adaptador CA.
- Insira os plugues CA e CC do adaptador CA firmemente até onde for possível.
- Não conecte/desconecte nenhum cabo com a alimentação ligada. Isso pode danificar o Sistema de Comunicação por Vídeo.
- Para sua segurança, não conecte o conector 100BASE-TX/10BASE-T a uma rede que aplique uma voltagem excessiva via conector 100BASE-TX/ 10BASE-T.

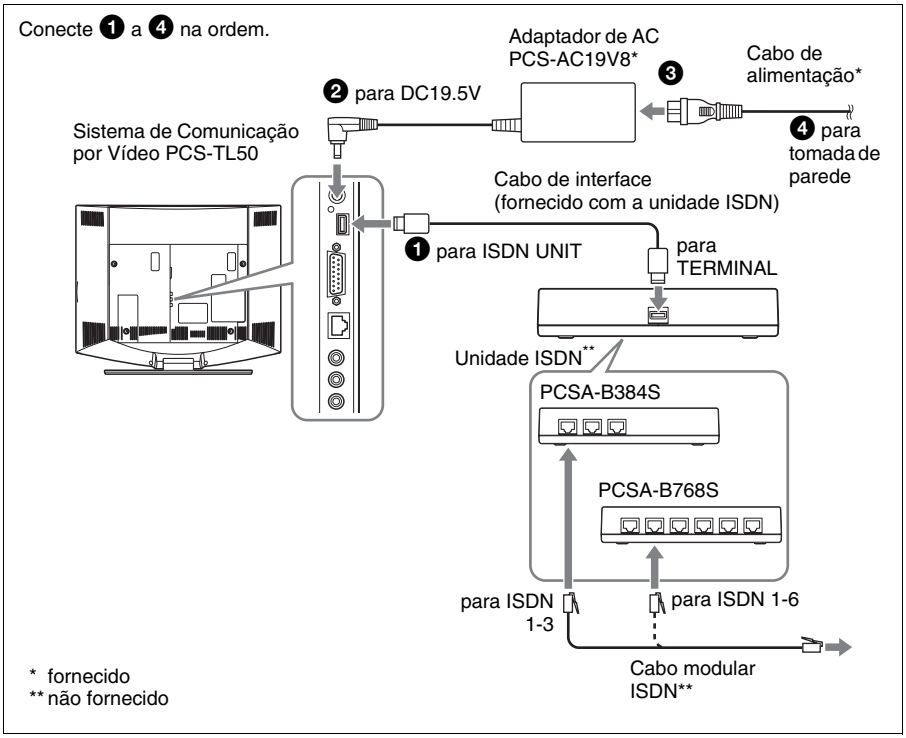
Conexão do Sistema via LAN



Conexão do sistema via ISDN

Notas

- Não conecte/desconecte o cabo de interface com a alimentação ligada. Isso pode danificar o Sistema de Comunicação por Vídeo ou a Unidade ISDN.
- Usado com a Unidade ISDN pela primeira vez, o Sistema de Comunicação por Vídeo poderá fazer automaticamente o upgrade do software da Unidade ISDN. Enquanto a mensagem de atualização estiver aparecendo na tela, tenha o cuidado de não desligar o Sistema de Comunicação por Vídeo. Caso contrário, isso poderá causar mau funcionamento do sistema.



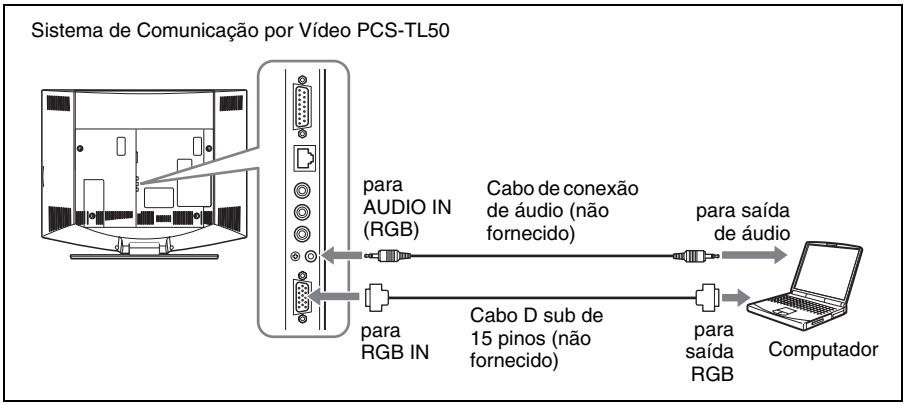
Utilização como Tela de Computador ou Monitor de Vídeo

Quando você não estiver realizando uma videoconferência, pode usar a tela do Sistema de Comunicação por Vídeo como tela de computador ou monitor de vídeo.

Conectando a um Computador

Remova a tampa traseira do Sistema de Comunicação por Vídeo e conecte um computador.

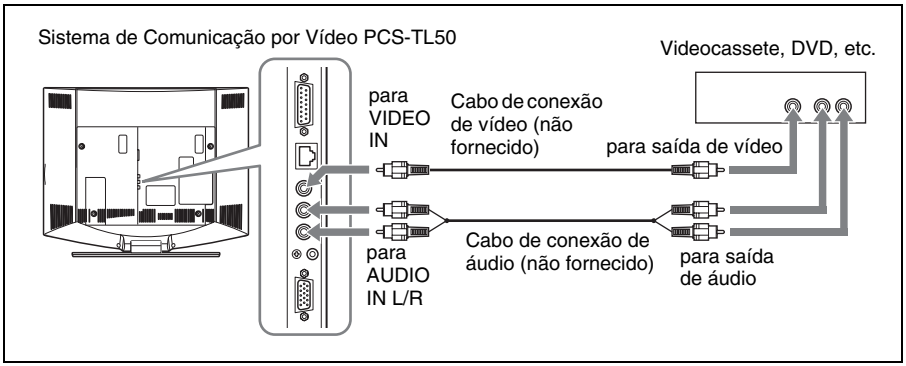
Para remover a tampa traseira, consulte página 19.


Sistema de Comunicação por Vídeo PCS-TL50
para AUDIO IN (RGB)
Cabo de conexão de áudio (não fornecido)
para saída de áudio
para RGB IN
Cabo D sub de 15 pinos (não fornecido)
para saída RGB
Computador

Conectando a um Equipamento de Vídeo

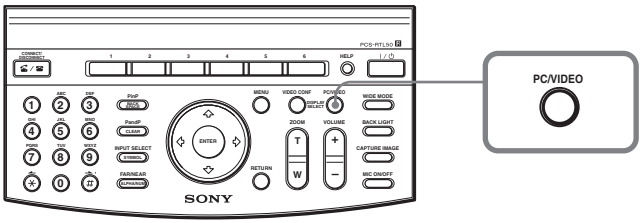
Remova a tampa traseira do Sistema de Comunicação por Vídeo e conecte um equipamento de vídeo.

Para remover a tampa traseira, consulte página 19.


Sistema de Comunicação por Vídeo PCS-TL50
Videocassete, DVD, etc.
para VIDEO IN
Cabo de conexão de vídeo (não fornecido)
para saída de vídeo
Cabo de conexão de áudio (não fornecido)
para AUDIO IN L/R
para saída de áudio

Exibindo a Imagem do Computador ou Equipamento de Vídeo

1 Pressione a tecla PC/VIDEO do controle remoto para selecionar a entrada. Cada vez que você pressionar a tecla, as imagens do computador ligado ao conector RGB IN deste sistema e do equipamento de vídeo conectado na tomada VIDEO IN serão exibidas alternadamente.



O som da entrada selecionada é ouvido nos alto-falantes do Sistema de Comunicação por Vídeo em modo estéreo (quando o cabo de áudio está conectado).

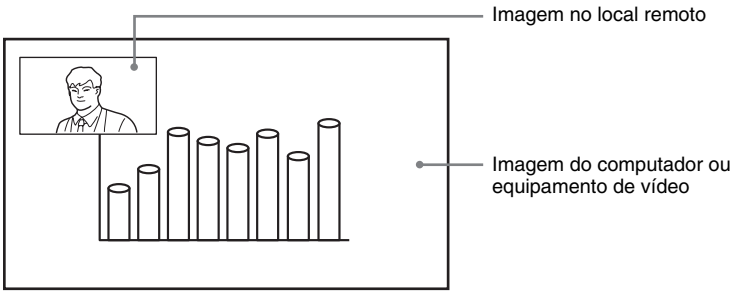
2 Ajuste o volume pressionando as teclas VOLUME +/– do controle remoto.

3 Ajuste a qualidade de imagem usando as teclas MENU, ↑/↓ e OK situadas no lado direito do sistema.

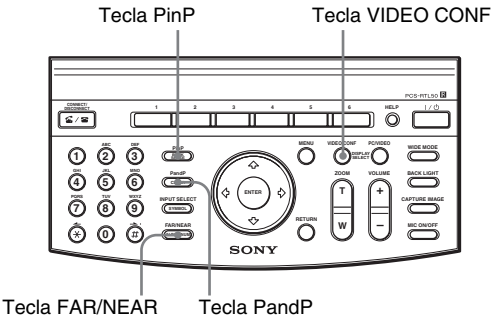
Para obter informações sobre o ajuste consulte "Ajustando a Qualidade de Imagem" na página 15.

Para exibir a imagem do computador ou equipamento de vídeo durante uma videoconferência

Se você receber uma chamada quando estiver visualizando a imagem do computador ou equipamento de vídeo na tela, o sistema entrará automaticamente no modo Picture-in-Picture e a imagem do local remoto será exibida como uma janela.



Você pode alterar o modo de exibição manualmente usando as seguintes teclas.



Para alterar a localização da imagem na janela em uma videoconferência

Pressione a tecla PinP do controle remoto.

Para exibir apenas a imagem da videoconferência

Pressione a tecla VIDEO CONF do controle remoto.
Pressione novamente a tecla PC/VIDEO para exibir apenas a imagem do computador ou equipamento de vídeo.

Para exibir simultaneamente as imagens da videoconferência e do computador ou equipamento de vídeo

Pressione a tecla PandP do controle remoto.
A imagem do computador ou equipamento de vídeo é exibida à esquerda (imagem principal) e a imagem da videoconferência é exibida à direita (imagem secundária).

Para mudar a imagem remota da videoconferência para a imagem local

Pressione a tecla FAR/NEAR do controle remoto e mude o ajuste de "Imagem" ("Remoto" ou "Local") no menu Visualização.

Nota

O recurso Picture-in-Picture não estará disponível enquanto não houver comunicação com o local remoto.

Características técnicas

Sistema de Comunicação por Vídeo PCS-TL50

Esta unidade é compatível com as Recomendações ITU-T H.320 e H.323.

Imagem com movimento

Largura de banda operacional
- 64 Kbps a 1920 Kbps (padrão, conexão LAN)
- 56 Kbps a 768 Kbps (ao instalar o PCSA-B768S, conexão ISDN)
- 56 Kbps a 384 Kbps (ao instalar o PCSA-B384S, conexão ISDN)

Codificação
- H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264/SIF Interlaçado (Recomendação ITU-T)
- MPEG4 Perfil Simples (ao usar LAN)

Resolução
- CIF: 352 pixels × 288 linhas
- QCIF: 176 pixels × 144 linhas

Sistema de cor
- NTSC

Imagem Estática

Pixels
- 704 pixels × 480 linhas

Codificação
- Anexo H.261 (Recomendação ITU-T). D (4CIF)
- H.263 (formato especial deste sistema)

Som

Largura de banda
- 14 kHz (MPEG4 Audio)
- 7 kHz (G.722/G.722.1 compatível com a Recomendação ITU-T)
- 3,4 kHz (G.711/G.723.1/G.728/G.729 compatível com a Recomendação ITU-T)

Velocidade de transmissão
- 56 Kbps, 64 Kbps (G.711 compatível com a Recomendação ITU-T)
- 48 Kbps, 56 Kbps, 64 Kbps (G.722 compatível com a Recomendação ITU-T)
- 64 Kbps, 96 Kbps (MPEG4 Audio) (ao usar LAN)
- 24 Kbps, 32 Kbps (G0,722.1 compatível com a Recomendação ITU-T) (ao usar LAN)
- 16 Kbps (G.728 compatível com a Recomendação ITU-T)
- 8 Kbps (G.729 compatível com a Recomendação ITU-T) (ao usar LAN)
- 5,3 Kbps, 6,3 Kbps (G.723.1 compatível com a Recomendação ITU-T) (ao usar LAN)

Rede

Multiplexação
- Vídeo, áudio, dados

Formato do quadro
- H.221 (compatível com a Recomendação ITU-T)

Interface
- LAN (padrão), 64 Kbps a 1920 Kbps
- ISDN (BRI), até 6 linhas (ao instalar o PCSA-B768S) até 3 linhas (ao instalar o PCSA-B384S)

Velocidade de transmissão de dados
- LSD 1,2 Kbps, 4,8 Kbps, 6,4 Kbps
- MLP 6,4 Kbps, 24 Kbps, 32 Kbps
- HMLP 62,4 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps

Protocolo LAN suportado
- HTTP
- FTP
- Telnet
- RTP/RTCP
- TCP/UDP

Controle remoto

Controle da câmera remota
- H.281 (compatível com a Recomendação ITU-T)

Transferência de dados
- T.120 (compatível com a Recomendação ITU-T)

Câmera

Sinal de vídeo
- Cor NTSC, padrões EIA

Dispositivo de imagem
- 1/3 tipo CCD (Charge Coupled Device)
- Aprox. 410.000 pixels (Efetivos: aprox. 380.000 pixels)

Lente
- f = 4,0 mm, F 2.0, Ângulo horizontal aprox. 70°

Distância focal
- 500 mm

Iluminação mínima
1 lux a F 2,0/50 IRE
Ação de pan/tilt (girar/inclinar)
Pan/tilt digital
Função de Equilíbrio Automático de Branco
embutida
Função de íris eletrônica embutida

Imagem

Tamanho 20 polegadas
Proporção 16 : 9
Resolução 1280 × 768
Luminância 400 Cd/m^2 ou mais
Tempo de resposta
15 ms ou menos
Proporção de contraste
500 : 1
Ângulo de visão
160 graus ou mais
Número de cores
16.700.000 cores

Visualização

PinP 4 cantos
PandP Duas janelas
Entrada Interna: Comunicação por Vídeo
RGB externo: Imagem do computador
Vídeo externo: Entrada de vídeo externa (detecção automática de NTSC/PAL)
Modo de abertura
Normal, Zoom, Abertura, Zoom com abertura
Modo RGB 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 768, etc.
É possível a exibição de imagem com zoom.
Ajustes de volume
Fixo para o Sistema de Comunicação por Vídeo
Ajustável pelo amplificador na placa de circuito da tela
Ajustes de OSD
Brilho, matiz, deslocamento, largura, altura, etc.

Alto-falante

Alto-falante 3 W × 2

Microfone

Faixa de freqüência
15 kHz
Característica direcional
Direcional com ângulo fechado

Geral

Requisitos de energia
19,5 V
Consumo de energia
7,7 A
Temperatura de funcionamento
5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%
Temperatura de armazenamento
–20°C a +60°C
Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)
Dimensões 528 × 445 × 110 mm (l/a/p) (sem incluir o suporte)
528 × 445 × 265 mm (l/a/p) (sem incluir o suporte)
Peso Aprox. 10 kg
Acessórios fornecidos
Controle remoto PCS-RTL50 (1)
Pilhas tamanho AA (R6) para o controle remoto (2)
Adaptador AC CS-AC19V8 (1)
Cabo de alimentação (1)
CD-ROM (1)
Guia de Operação (1)
Guia de Conexão Rápida/Guia do Controle Remoto (1)
Garantia (1)

Controle Remoto PCS-RTL50

Formato do sinal
Infravermelho SIRCS
Controle CC 3 V usando duas pilhas de tamanho AA (R6)
Dimensões 168 × 19 × 88 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
Peso Aprox. 180 g (incluindo as baterias)

Adaptador PCS-AC19V8

Requisitos de energia
100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 2,2 A a 1,0 A
Saída 19,5 V, 7,7A
Temperatura de funcionamento
5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%
Temperatura de armazenamento
–20°C a +60°C
Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)
Dimensões 81 × 49 × 165 mm (l/a/p)
Peso Aprox. 800 g

Microfone PCS-A1 (opcional)

Largura de banda
13 kHz
Característica direcional
Multidirecional
Dimensões 74 × 16 × 93 mm (l/a/p)
Peso Aprox. 170 g
Alimentação Alimentação interna

Microfone PCS-A300 (opcional)

Largura de banda
13 kHz
Característica direcional
Unidirecional
Dimensão 68 × 16 × 96 mm (l/a/p)
Peso Aprox. 200 g
Alimentação Alimentação interna

Unidade ISDN PCSA-B384S/PCS-B384 (Opcional)

Requisitos de energia
19,5 V
Consumo de energia
0,3 A
Temperatura de funcionamento
5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%
Temperatura de armazenamento
–20°C a +60°C
Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)
Dimensões PCSA-B384S:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
PCS-B384:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
Peso PCSA-B384S: Aprox. 400 g
PCS-B384: Aprox. 400 g
Acessórios fornecidos
Cabo de interface (5 m) (1)
Instruções de Operação (1)
Garantia (1)

Unidade ISDN PCSA-B768S/PCS-B768 (opcional)

Requisitos de energia
19,5 V
Consumo de energia
0,5 A
Temperatura de funcionamento
5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%
Temperatura de armazenamento
–20°C a +60°C
Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)
Dimensões PCSA-B768S:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
PCS-B768:
165 × 34 × 127 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
Peso PCSA-B768S: Aprox. 400 g
PCS-B768: Aprox. 400 g
Acessórios fornecidos
Cabo de interface (5 m) (1)
Instruções de Operação (1)
Garantia (1)

Caixa de Solução de dados PCSA-DSB1S/PCS-DSB1 (opcional)

Requisitos de energia
19,5 V
Consumo de energia
1,0 A
Temperatura de funcionamento
5°C a 35°C
Umidade para o funcionamento
20% a 80%
Temperatura de armazenamento
–20°C a +60°C
Umidade para o armazenamento
20% a 80% (sem condensação)
Dimensões PCSA-DSB1S:
240 × 37 × 180 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
PCS-DSB1:
240 × 33 × 160 mm (l/a/p) (não incluindo as partes projetadas)
Peso PCSA-DSB1S: Aprox. 1,1 kg
PCS-DSB1: Aprox. 850 g
Acessórios fornecidos
Cabo de interface (8 m) (1)
Instruções de Operação (1)
Garantia (1)

Software MCU PCS-320M1 H.320 (opcional)

Dimensões 50 × 2,8 × 21,5 mm (l/a/p)
Peso Aprox. 4 g
Acessórios fornecidos
Selo com Número de Série (1)
Instruções de Operação (1)

Software MCU PCS-323M1 H.323 (opcional)

Dimensões 50 × 2,8 × 21,5 mm (l/a/p)
Peso Aprox. 4 g
Acessórios fornecidos
Selo com Número de Série (1)
Instruções de Operação (1)

Projeto e características técnicas sujeitos a alteração sem prévia notificação.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.net/

Sony Corporation